

食育に関する県民意識調査

— 報告書 —

令和5年3月

沖縄県保健医療部 健康長寿課

目次

第1章	調査概要	
1.	調査目的	1
2.	調査項目	1
3.	調査対象	1
4.	調査時期	2
5.	調査方法	2
6.	性・年代別回収結果	2
7.	地区・市町村別回収結果	3
8.	調査結果の見方	3
第2章	調査結果	
1.	基本属性について	4
(1)	基本属性 (問34)	4
(2)	家族構成 (問35)	5
2.	「食育」への関心について	7
(1)	「食育」の認知度 (問1)	7
(2)	食育への関心度 (問2)	8
(3)	実践したい食育の内容 (問3)	9
3.	現在の食生活・生活習慣について	11
(1)	健全な食生活への関心 (問4)	11
(2)	健全な食生活の心掛け (問5)	12
(3)	栄養バランスに配慮した食生活 (問6)	13
(4)	栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと (問7)	14
(5)	朝食接種頻度 (問8)	16
(6)	朝食欠食の開始時期 (問9)	17
(7)	地域などでの共食に対する意識 (問10)	19
(8)	地域などでの共食経験 (問11)	20
(9)	家族と一緒に食べる頻度 (問36)	21
4.	新型コロナウイルス感染症の影響による食生活の変化について	23
(1)	外食利用頻度 (問12)	23
5.	健康について	27
(1)	生活習慣病の予防や改善に関する実績 (問13)	27
(2)	ふだんゆっくりよく噛んで食べているか (問14)	28
(3)	健康状態の状況 (問15)	29
(4)	日々の生活のゆとり (問16)	30
6.	次世代の健康教育について	31
(1)	くわっち～さびらの認知度 (問17)	31
(2)	くわっち～さびらの満足度 (問18)	32
7.	食文化について	33
(1)	食文化の伝承 (問19)	33
(2)	食文化の継承 (問20)	34
(3)	食文化の食事頻度 (問21)	35

8.	農林漁業体験について -----	37
	(1) 農林漁業体験への参加 (問22) -----	37
	(2) 農林漁業体験後の変化 (問23) -----	38
9.	環境への配慮について -----	39
	(1) 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶことの重要度 (問24) -----	39
	(2) 環境に配慮した農林水産物・食品の選択 (問25) -----	40
10.	地産地消・産地や生産者の意識について -----	41
	(1) 山地や生産者を意識した農林水産物・食品の選択 (問26) -----	41
	(2) 地元や沖縄県産の食品の使用重要度 (問27) -----	42
	(3) 沖縄県産の農林水産物を食べる頻度 (問28) -----	43
11.	食品ロスの削減について -----	44
	(1) 食べ残しや食品の廃棄に関する意識 (問29) -----	44
	(2) 食品ロス削減の意識(問30) -----	45
12.	食品の安全性について -----	46
	(1) 食品の安全性に関する知識 (問31) -----	46
	(2) 食品の安全性に関する判断 (問32) -----	47
13.	県の食育促進の施策について -----	48
	(1) 食育推進に関する重要度・満足度 (問33) -----	48
14.	自由意見 -----	52
	(1) 沖縄県の食育の取組みに関するご意見・ご要望 (問37) -----	52
第3章 参考資料		
	調査票 -----	63

第1章 調査概要

1. 調査目的

沖縄県では、食育基本法に基づき、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として、「沖縄県食育推進計画(第1～3次)」を作成し、地域の特性に応じた食育に取り組んできた。現行計画が令和4年度をもって終期を迎えることから、本調査で県民の食育に関する現状を把握し、第4次沖縄県食育推進計画を作成するための基礎資料とすることを目的に実施するものである。

2. 調査項目

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ①「食育」への関心 | ⑧環境への配慮 |
| ②現在の食生活・生活習慣 | ⑨地産地消・産地や生産者の意識 |
| ③新型コロナウイルス感染症の影響による食性活の変化 | ⑩食品ロスの削減 |
| ④健康 | ⑪食品の安全性 |
| ⑤次世代の健康教育 | ⑫県の食育推進の施策 |
| ⑥食文化 | ⑬家族構成と「共食」 |
| ⑦農林漁業体験 | ⑭基本属性 |

3. 調査対象

① 母集団

住民基本台帳より県内10市町村に居住する満20歳以上の男女を抽出。10市町村については、県内全体の人口の縮図となるように、主要市については県内6保健所(那覇市、北部、中部、南部、宮古、八重山)の管内から一か所ずつ選定。

町村郡については、県内直近5年間の人口動向を踏まえて、特に人口増加が著しい地域と、同じく減少が著しい地域の中から選定。(那覇市、名護市、本部町、沖縄市、うるま市、浦添市、南風原町、久米島町、宮古島市、石垣市)

② 標本数

3,800 サンプル。各市町村からの抽出数は、県全体の人口構成に応じて以下の通り比例配分した。

保健所地域	管内主要都市	5年間で人口が 増加した町村	5年間で人口が 減少した町村	抽出数(S)
那覇	那覇市(835)	-	-	835
北部	名護市(213)	-	本部町(45)	258
中部	沖縄市(709)	うるま市(620)	-	1,329
南部	浦添市(769)	南風原町(266)	久米島町(53)	1,088
宮古	宮古島市(145)	-	-	145
八重山	石垣市(145)	-	-	145
計	2,816	886	98	3,800

4. 調査時期

2022年10月21日(金)~11月13日(日)

5. 調査方法

郵送配布、郵送回収またはWEB回収

6. 性・年代別回収結果

性・年代	回収数	回収率
男性	20代	39 3.1%
	30代	79 6.2%
	40代	84 6.6%
	50代	82 6.5%
	60代	88 6.9%
	70代以上	59 4.7%
	無回答	1 0.1%
女性	20代	73 5.8%
	30代	152 12.0%
	40代	192 15.2%
	50代	148 11.7%
	60代	138 10.9%
	70代以上	87 6.9%
	無回答	1 0.1%
無回答	44 3.5%	
計	1,267 100.0%	

7. 地区・市町村別回収結果

地区・市町村		回収数	回収率
那覇	那覇市	310	24.5%
北部	名護市	76	6.0%
	本部町	12	0.9%
中部	沖縄市	244	19.3%
	うるま市	213	16.8%
南部	浦添市	96	7.6%
	南風原町	118	9.3%
	久米島町	16	1.3%
宮古	宮古島市	43	3.4%
八重山	石垣市	52	4.1%
無回答		87	6.9%
合計		1,267	100.0%

8. 調査結果の見方

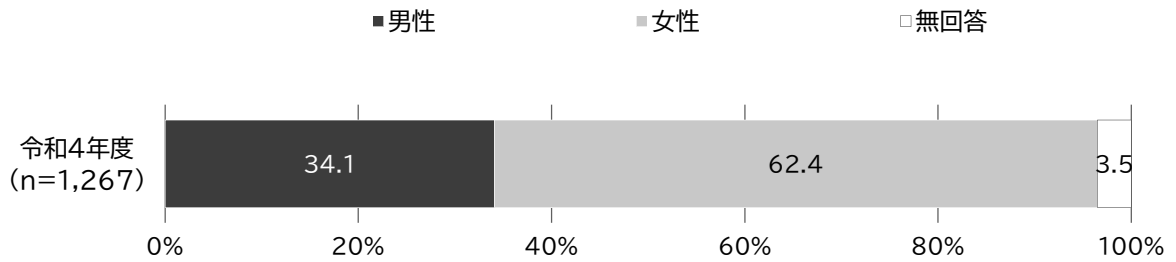
- 回答結果の割合(%)は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第 2 位で四捨五入しているため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ)であっても合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答(2つ以上の選択肢を選択できる質問)の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しているため、合計が100%を超える場合がある。
- サンプル数が僅少となる属性項目については、比較が変動しやすいため、参考程度の掲載にとどめ結果の利用には注意を要する。

第2章 調査結果

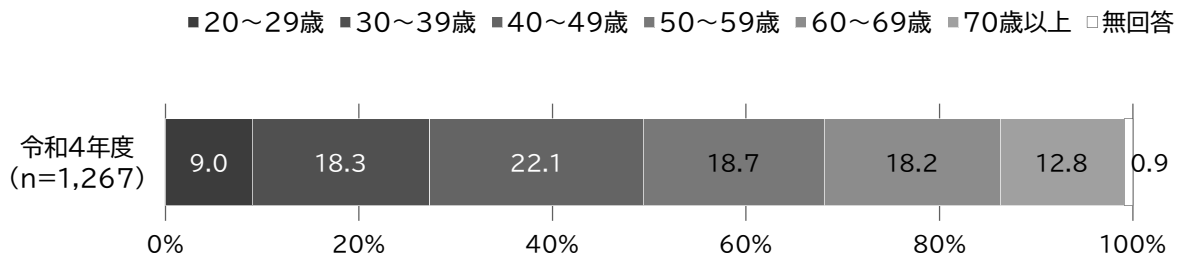
1. 基本属性について

(1) 基本属性 (問34)

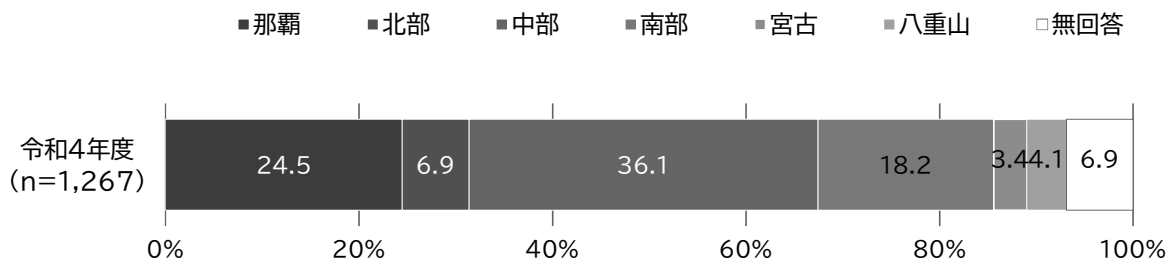
①性別



②年代

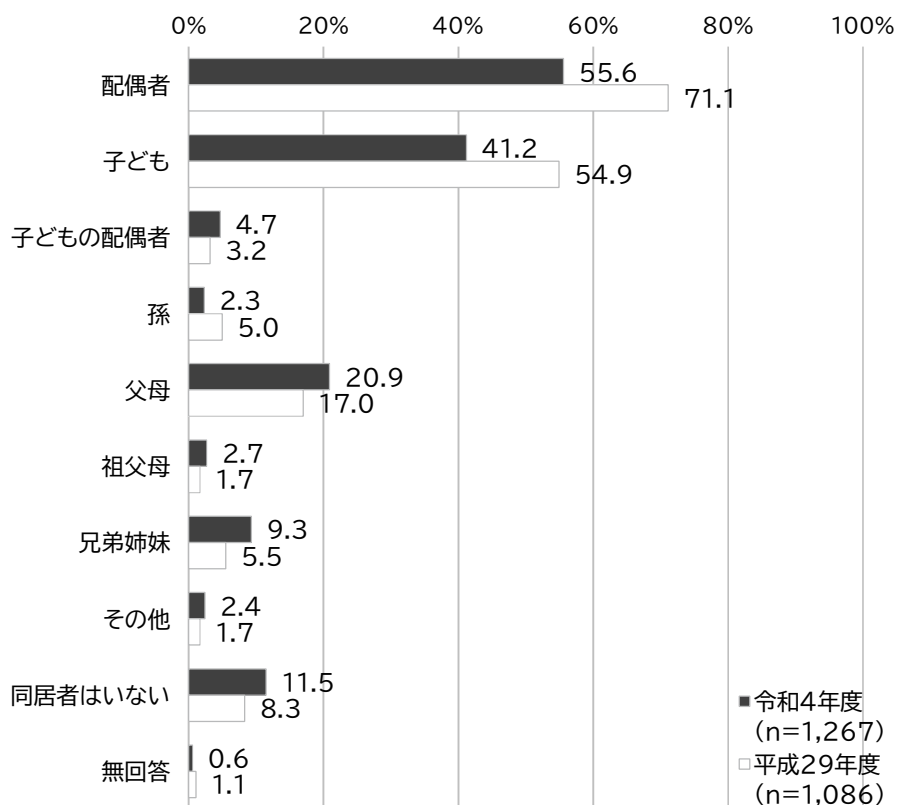


③居住地域

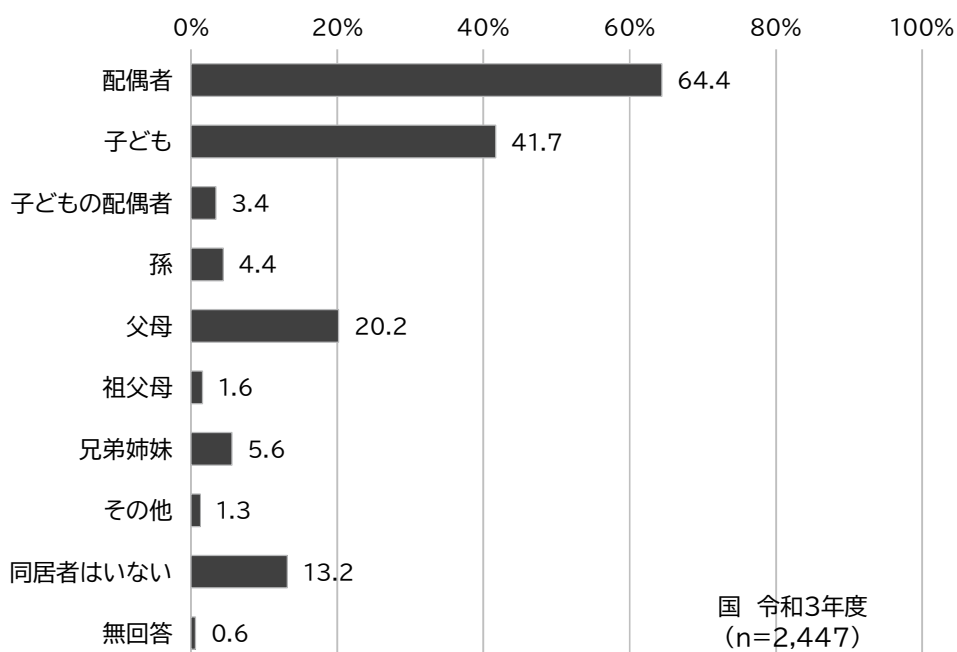


(2) 家族構成 (問35)

- 「配偶者」の割合は 55.6%となっており、平成 29 年度調査と比較すると 15.5 ポイント減少している。
- 「子ども」の割合は 41.2%となっており、平成 29 年度調査と比較すると 13.7 ポイント減少している。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



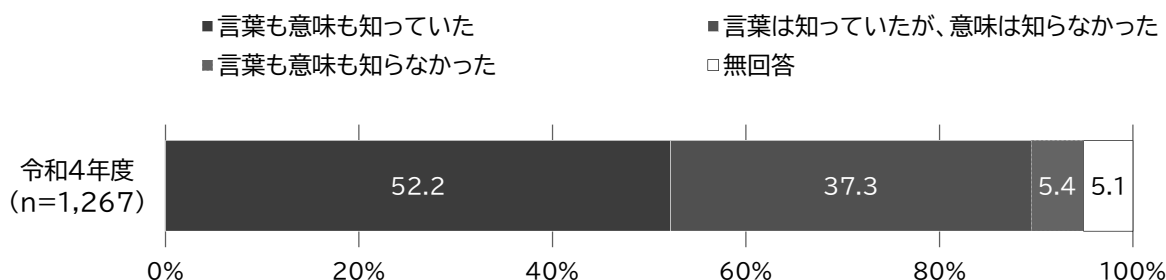
問35.あなたは現在、どなたと同居していますか。(〇はいくつでも)

		回答数	配偶者	子ども	子どもの配偶者	孫	父母	祖父母	兄弟姉妹
全体 (%)		1,267	55.6	41.2	4.7	2.3	20.9	2.7	9.3
性別	男性	432	53.9	31.7	4.2	1.4	25.7	3.0	10.4
	女性	791	56.6	46.5	4.8	2.9	19.1	2.5	8.7
年代別	20～29歳	114	15.8	10.5	1.8	0.9	62.3	13.2	28.9
	30～39歳	232	51.3	48.3	5.2	-	28.4	1.7	14.2
	40～49歳	280	62.1	66.1	3.9	0.4	22.5	2.9	5.4
	50～59歳	237	60.3	42.6	3.4	2.5	18.1	2.1	6.3
	60～69歳	231	61.0	25.5	6.5	3.5	9.5	0.9	4.8
	70歳以上	162	64.2	30.2	6.2	8.0	-	-	6.2
地域別	那覇	310	54.8	39.7	3.2	1.9	20.0	1.3	9.4
	北部	88	45.5	35.2	4.5	3.4	22.7	5.7	10.2
	中部	457	52.7	42.2	5.0	2.6	22.8	3.5	10.9
	南部	230	67.0	44.8	5.7	2.6	17.8	2.2	8.7
	宮古	43	48.8	25.6	4.7	-	25.6	2.3	11.6
	八重山	52	63.5	46.2	5.8	1.9	9.6	3.8	3.8
		その他	その他	同居者はいない	無回答				
全体 (%)		1,267	2.4	11.5	0.6				
性別	男性	432	1.4	14.8	-				
	女性	791	3.0	9.7	0.6				
年代別	20～29歳	114	8.8	10.5	-				
	30～39歳	232	3.4	8.2	0.4				
	40～49歳	280	1.4	6.4	0.4				
	50～59歳	237	1.7	11.8	0.4				
	60～69歳	231	0.4	19.0	-				
	70歳以上	162	1.9	14.2	1.2				
地域別	那覇	310	2.6	15.2	0.3				
	北部	88	3.4	14.8	-				
	中部	457	1.8	12.5	-				
	南部	230	3.0	4.3	0.9				
	宮古	43	2.3	14.0	-				
	八重山	52	1.9	11.5	-				

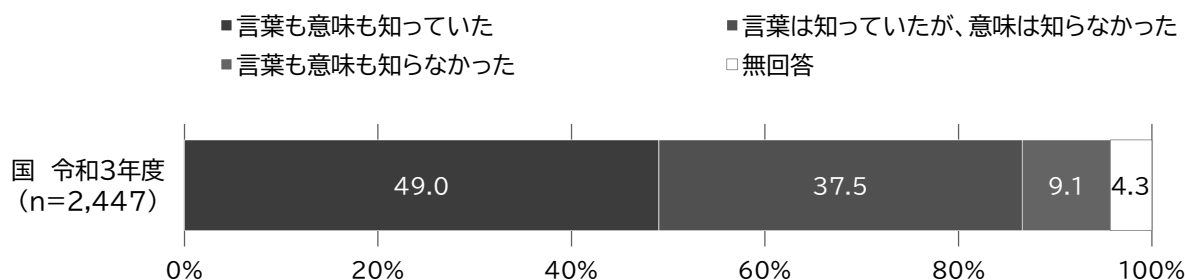
2. 「食育」への関心について

(1) 「食育」の認知度（問1）

- 食育の認知度について、「言葉も意味も知っていた」割合は 52.2%となり「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」と合わせると約 9 割となる。
- 「言葉も意味も知っていた」割合は、52.2%となっているが、国の令和 3 年度調査と比較すると、3.2 ポイント高い。



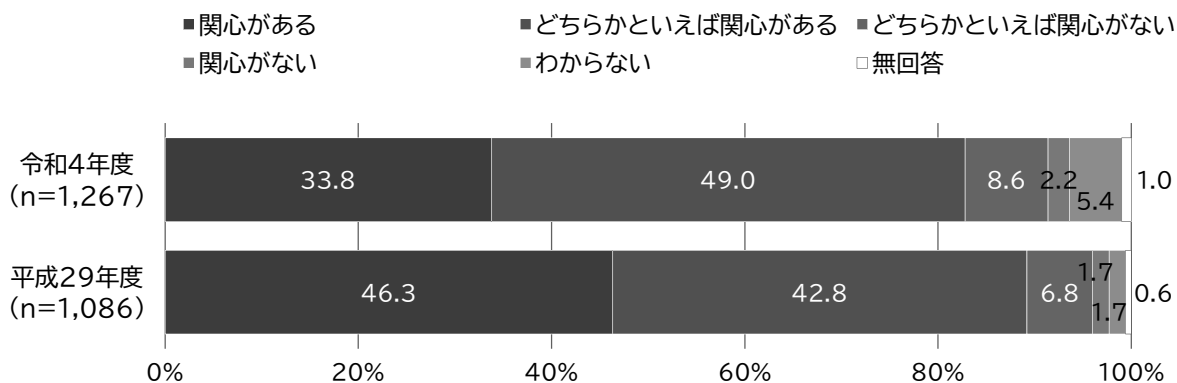
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



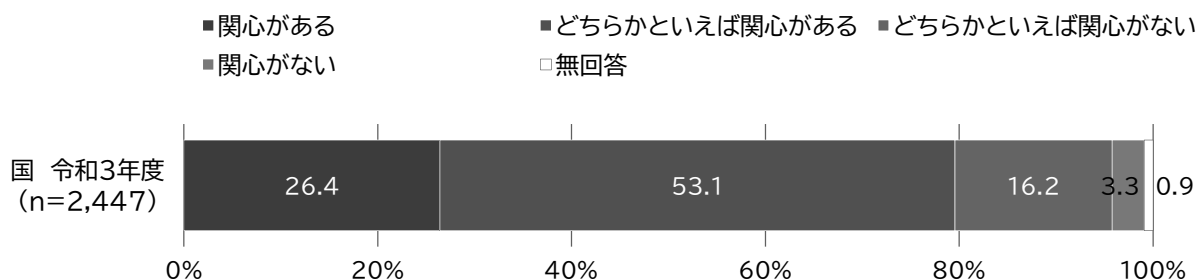
		回答数	言葉も意味も知っていた (%)	言葉は知っていたが、意味は知らなかった (%)	言葉も意味も知らなかった (%)	無回答 (%)
全体		1,267	52.2	37.3	5.4	5.1
性別	男性	432	42.1	43.1	10.4	4.4
	女性	791	58.2	34.1	2.7	5.1
年代別	20~29歳	114	50.9	37.7	8.8	2.6
	30~39歳	232	56.0	35.3	3.4	5.2
	40~49歳	280	58.2	36.1	2.9	2.9
	50~59歳	237	53.6	37.1	5.5	3.8
	60~69歳	231	48.5	37.2	6.1	8.2
	70歳以上	162	42.0	42.0	8.0	8.0
地域別	那覇	310	57.1	36.5	2.9	3.5
	北部	88	50.0	36.4	10.2	3.4
	中部	457	48.8	39.8	5.7	5.7
	南部	230	53.5	36.5	4.8	5.2
	宮古	43	60.5	27.9	4.7	7.0
	八重山	52	53.8	34.6	3.8	7.7

(2) 食育への関心度 (問2)

- 食育の関心について、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は 82.8% となっている。
- 「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は 89.1% となり、平成 29 年度調査と比較すると、6.3 ポイント減少している。



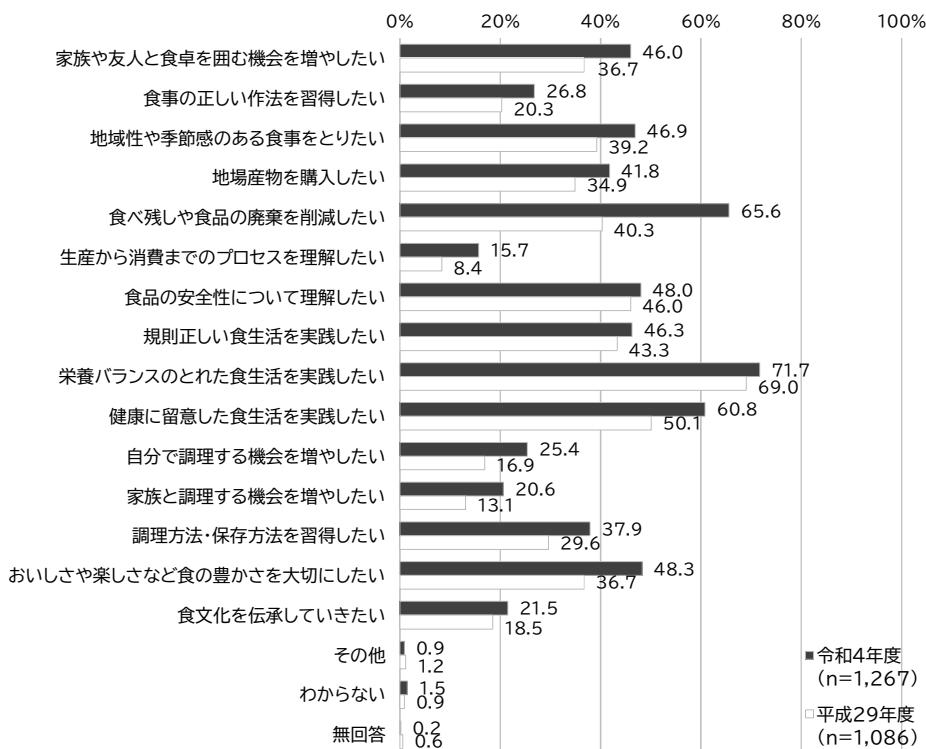
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



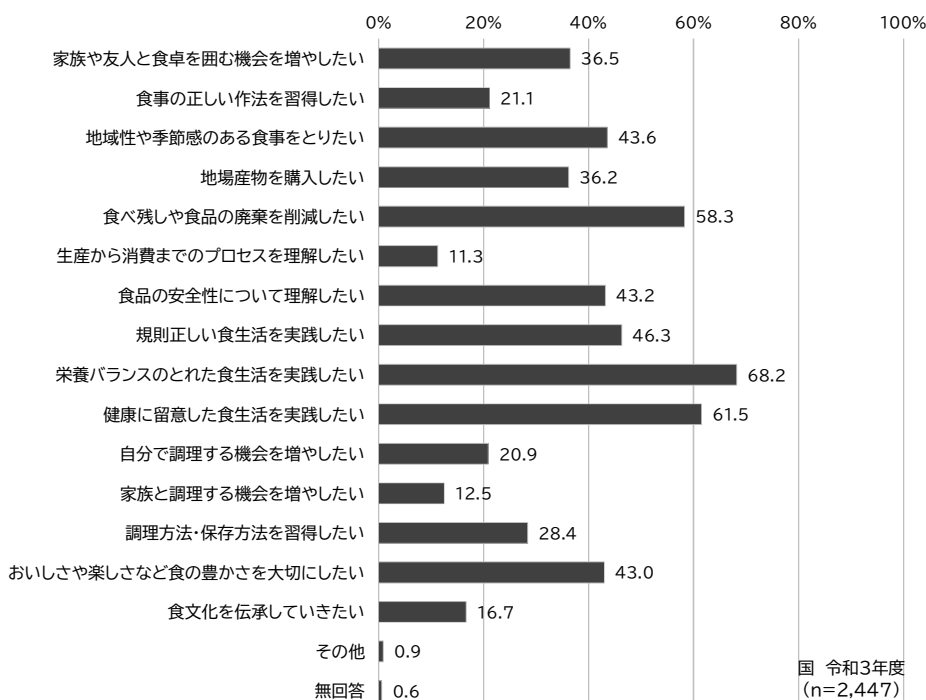
	回答数	関心度 (%)					無回答 (%)
		関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	わからない	
全体	1,267	33.8	49.0	8.6	2.2	5.4	1.0
性別							
男性	432	26.9	49.5	12.5	4.4	5.8	0.9
女性	791	36.9	49.4	6.6	0.8	5.2	1.1
年代別							
20~29歳	114	25.4	55.3	10.5	2.6	5.3	0.9
30~39歳	232	34.1	50.0	9.9	1.3	4.3	0.4
40~49歳	280	34.6	48.6	8.9	1.8	5.0	1.1
50~59歳	237	29.5	51.5	9.3	2.5	7.2	-
60~69歳	231	32.9	49.4	7.4	1.7	6.5	2.2
70歳以上	162	44.4	42.0	4.9	3.7	3.1	1.9
地域別							
那覇	310	36.1	49.7	8.4	1.0	4.5	0.3
北部	88	28.4	52.3	6.8	3.4	9.1	-
中部	457	34.6	45.7	10.5	2.2	5.5	1.5
南部	230	31.3	52.2	5.7	3.0	6.1	1.7
宮古	43	34.9	48.8	9.3	4.7	2.3	-
八重山	52	34.6	51.9	9.6	-	3.8	-

(3) 実践したい食育の内容（問3）

- 実践したい食育の内容について、「栄養バランスの取れた食生活を実践したい」の割合は71.7%で特に高くなっている。
- 「食べ残しや食品の廃棄を削減したい」は65.6%となっているが、平成29年度調査と比較すると、25.3ポイント高くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

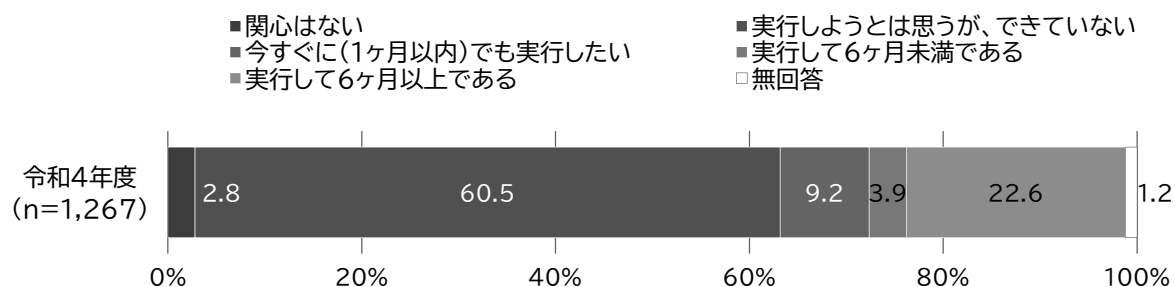


		回答数	家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい	食事の正しい作法を習得したい	地域性や季節感のある食事をとりたいたい	地場産物を購入したい	食べ残しや食品の廃棄を削減したい	生産から消費までのプロセスを理解したい	食品の安全性について理解したい	規則正しい食生活を実践したい	栄養バランスのとれた食生活を実践したい
		(%)									
全体		1,267	46.0	26.8	46.9	41.8	65.6	15.7	48.0	46.3	71.7
性別	男性	432	46.8	25.7	41.4	41.4	64.6	16.0	40.7	44.7	65.7
	女性	791	46.8	28.3	50.8	42.0	66.4	15.5	52.1	47.3	75.2
年代別	20～29歳	114	57.9	36.8	42.1	27.2	61.4	14.9	36.0	50.0	62.3
	30～39歳	232	55.6	38.4	50.0	42.2	62.5	18.1	45.3	45.7	70.7
	40～49歳	280	50.4	28.2	44.3	36.1	64.6	15.4	41.1	43.2	70.0
	50～59歳	237	46.0	22.8	49.8	42.6	64.6	14.3	48.1	42.6	71.3
	60～69歳	231	37.2	19.9	48.9	44.2	69.7	15.6	56.7	48.1	75.3
	70歳以上	162	30.9	16.7	44.4	57.4	70.4	16.7	60.5	52.5	79.6
地域別	那覇	310	43.5	27.7	50.6	46.5	65.8	16.1	49.0	44.2	71.9
	北部	88	44.3	20.5	53.4	35.2	60.2	12.5	51.1	51.1	69.3
	中部	457	46.6	25.6	43.3	37.4	66.1	16.6	50.8	48.1	72.6
	南部	230	48.7	30.4	48.3	49.6	70.9	14.3	46.5	45.7	73.9
	宮古	43	41.9	32.6	44.2	39.5	55.8	27.9	37.2	41.9	79.1
	八重山	52	50.0	32.7	50.0	44.2	63.5	17.3	46.2	46.2	61.5
		(%)									
全体		60.8	25.4	20.6	37.9	48.3	21.5	0.9	1.5	0.2	
性別	男性	56.5	24.5	16.2	29.4	44.0	18.1	0.5	2.1	0.5	
	女性	63.0	26.0	23.5	42.6	50.8	23.1	1.1	1.1	0.1	
年代別	20～29歳	44.7	43.9	20.2	38.6	45.6	17.5	0.9	1.8	-	
	30～39歳	55.6	26.7	27.6	42.2	48.7	20.3	0.9	0.9	0.4	
	40～49歳	55.0	24.3	32.5	32.9	52.5	22.5	0.4	2.1	0.4	
	50～59歳	65.8	20.3	13.9	33.3	40.5	22.8	1.3	2.1	-	
	60～69歳	68.0	21.2	10.8	41.6	48.9	22.5	0.9	0.9	-	
	70歳以上	73.5	27.2	14.8	42.6	53.7	21.0	1.2	1.2	0.6	
地域別	那覇	67.4	22.3	21.0	32.3	47.4	28.1	1.0	0.3	-	
	北部	64.8	27.3	17.0	33.0	55.7	17.0	-	1.1	-	
	中部	59.5	28.0	21.0	40.5	48.6	19.9	0.9	2.4	0.2	
	南部	57.0	29.6	23.9	41.3	49.1	22.6	1.7	1.7	0.4	
	宮古	65.1	27.9	20.9	55.8	51.2	18.6	-	-	-	
	八重山	53.8	19.2	25.0	42.3	46.2	13.5	-	1.9	-	

3. 現在の食生活・生活習慣について

(1) 健全な食生活への関心（問4）

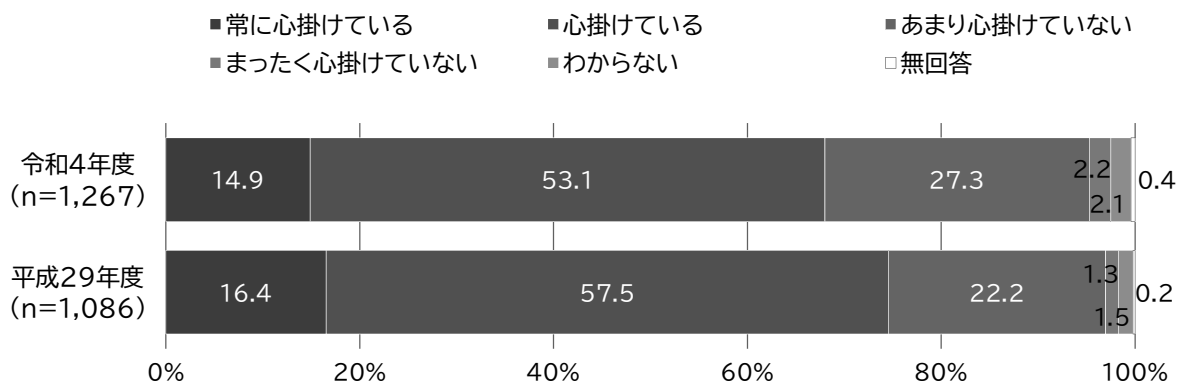
- 健全な食育の関心について、「実行しようとは思うが、できていない」の割合が 60.5%と特に高くなっている。



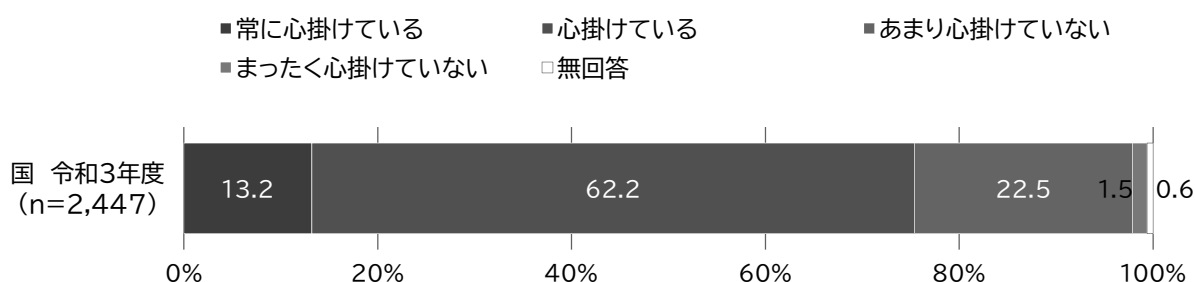
	回答数 (%)	関心						
		関心はない	実行しようとは思うが、できていない	今すぐに(1ヶ月以内)でも実行したい	実行して6ヶ月未満である	実行して6ヶ月以上である	無回答	
全体	1,267	2.8	60.5	9.2	3.9	22.6	1.2	
性別	男性	432	3.7	63.0	8.1	4.6	20.1	0.5
	女性	791	2.3	59.0	9.4	3.5	24.4	1.4
年代別	20~29歳	114	4.4	62.3	17.5	6.1	9.6	-
	30~39歳	232	3.9	63.8	6.5	5.2	20.3	0.4
	40~49歳	280	3.6	58.6	9.3	4.3	23.2	1.1
	50~59歳	237	1.7	60.3	10.1	1.7	24.9	1.3
	60~69歳	231	1.7	61.9	6.1	5.2	24.2	0.9
70歳以上	162	1.9	56.2	9.9	-	28.4	3.7	
地域別	那覇	310	1.3	56.8	7.7	4.5	29.7	-
	北部	88	3.4	69.3	11.4	1.1	13.6	1.1
	中部	457	2.6	59.7	10.3	3.7	21.9	1.8
	南部	230	3.9	61.7	10.4	3.9	18.3	1.7
	宮古	43	2.3	72.1	7.0	2.3	16.3	-
	八重山	52	1.9	59.6	7.7	1.9	28.8	-

(2) 健全な食生活の心掛け (問5)

- 「常に心掛けている」と「心掛けている」を合わせた割合は 68.0%となり、平成 29 年度調査と比較すると、5.9 ポイント低くなっている。
- 「常に心掛けている」と「心掛けている」を合わせた割合は 68.0%となり、国の令和 3 年度調査と比較すると、7.4 ポイント低くなっている。



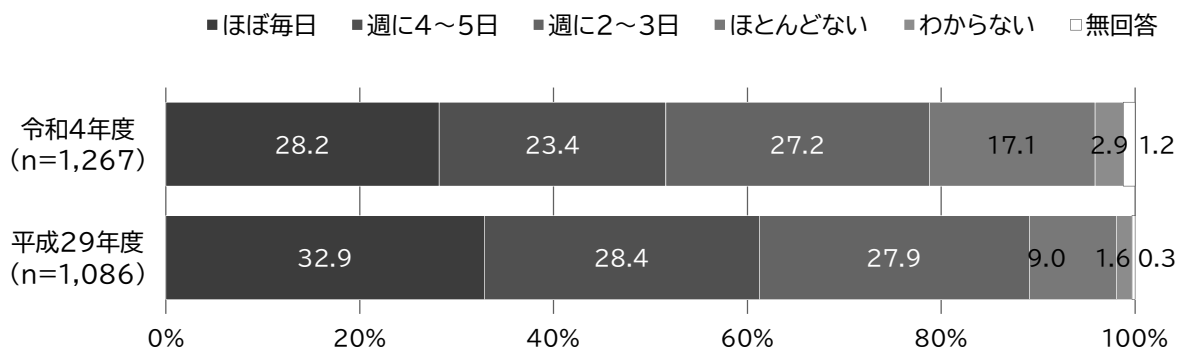
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



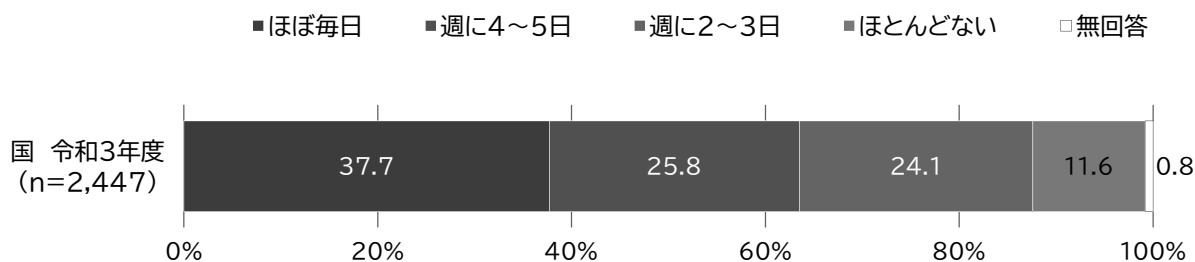
	回答数	割合 (%)					
		常に心掛けている	心掛けている	あまり心掛けていない	まったく心掛けていない	わからない	無回答
全体	1,267	14.9	53.1	27.3	2.2	2.1	0.4
性別							
男性	432	10.9	48.8	37.0	1.6	1.2	0.5
女性	791	16.9	55.8	22.5	2.0	2.4	0.4
年代別							
20~29歳	114	7.9	54.4	28.1	6.1	3.5	-
30~39歳	232	11.6	48.3	35.8	2.2	1.7	0.4
40~49歳	280	12.5	53.2	29.3	2.5	2.1	0.4
50~59歳	237	14.3	54.0	27.4	1.3	3.0	-
60~69歳	231	16.5	56.3	24.7	1.3	0.9	0.4
70歳以上	162	26.5	54.9	14.2	1.9	1.2	1.2
地域別							
那覇	310	16.8	53.5	27.1	1.3	1.3	-
北部	88	13.6	48.9	33.0	-	4.5	-
中部	457	14.7	52.1	27.4	3.5	2.0	0.4
南部	230	13.5	56.1	26.1	2.2	1.7	0.4
宮古	43	18.6	41.9	34.9	2.3	2.3	-
八重山	52	9.6	63.5	23.1	1.9	1.9	-

(3) 栄養バランスに配慮した食生活（問6）

■ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている状況について、「ほぼ毎日」の割合は28.2%となり、平成29年度と比較すると、32.9%から4.7ポイント減少している。



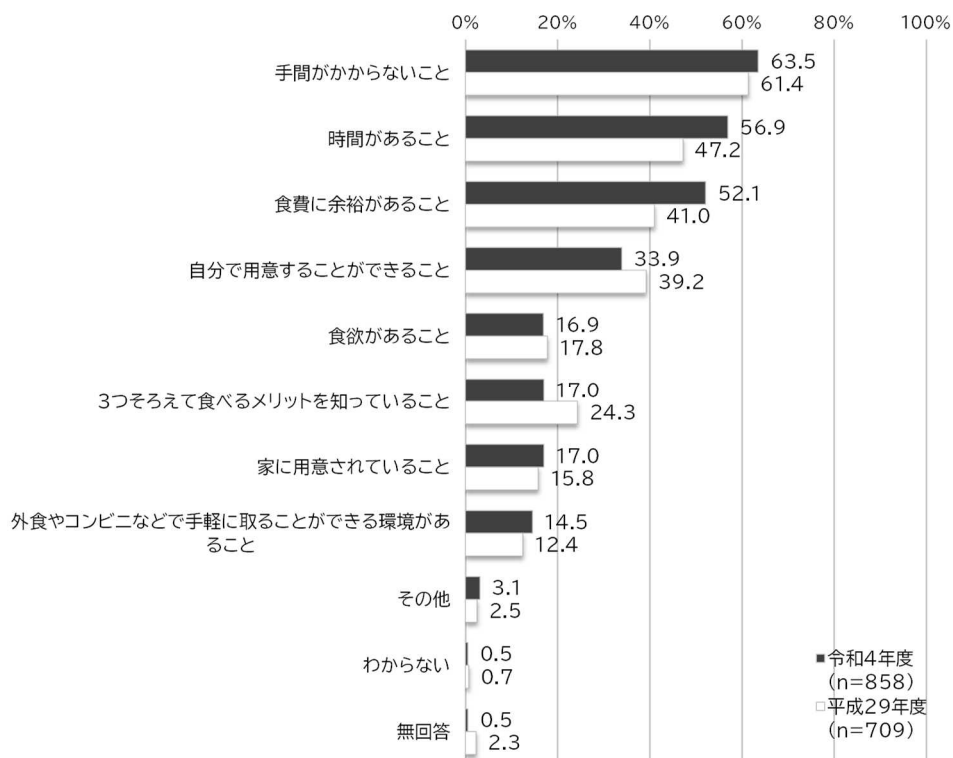
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



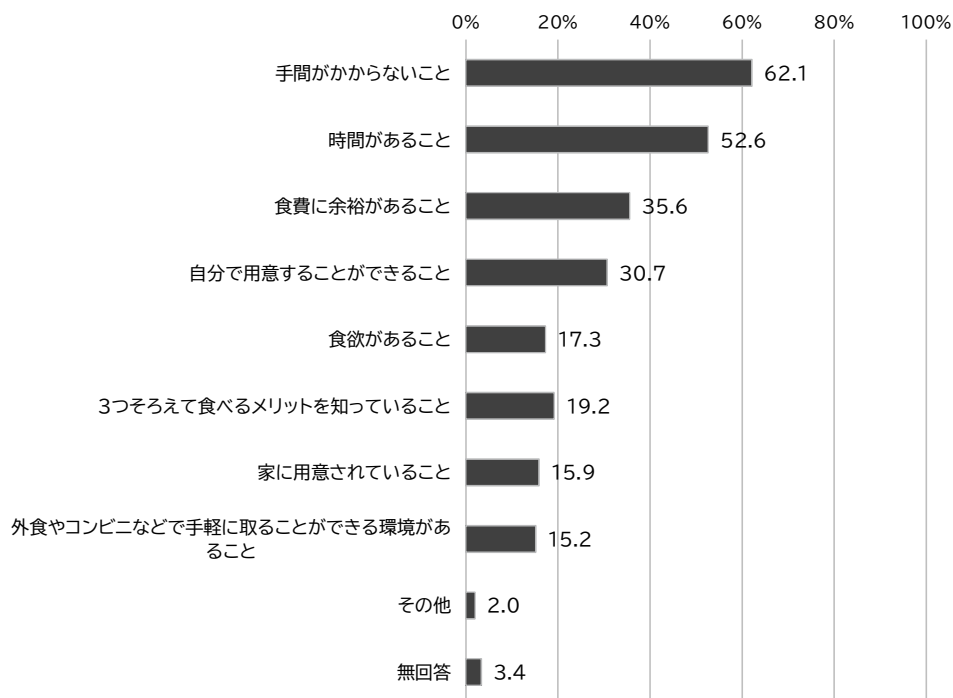
		回答数 (%)	ほぼ毎日	週に4~5日	週に2~3日	ほとんどない	わからない	無回答
全体		1,267	28.2	23.4	27.2	17.1	2.9	1.2
性別	男性	432	25.9	21.3	28.0	20.6	3.2	0.9
	女性	791	29.2	25.3	26.7	15.2	2.7	1.0
年代別	20~29歳	114	15.8	18.4	35.1	25.4	4.4	0.9
	30~39歳	232	20.7	25.0	33.6	15.9	3.9	0.9
	40~49歳	280	26.4	26.8	25.7	17.9	2.1	1.1
	50~59歳	237	28.7	20.7	26.6	20.3	3.0	0.8
	60~69歳	231	30.3	25.5	26.8	13.9	2.6	0.9
	70歳以上	162	46.3	20.4	17.3	11.7	1.2	3.1
地域別	那覇	310	31.3	22.6	26.1	17.4	2.3	0.3
	北部	88	25.0	23.9	30.7	14.8	5.7	-
	中部	457	24.9	25.6	24.7	20.4	2.8	1.5
	南部	230	30.4	23.0	30.9	13.5	1.3	0.9
	宮古	43	25.6	25.6	32.6	11.6	2.3	2.3
	八重山	52	30.8	17.3	32.7	17.3	1.9	-

(4) 栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと（問7）

■ 栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なことについて、「手間がかからないこと」、「時間があること」、「食費に余裕があること」で割合が高い。



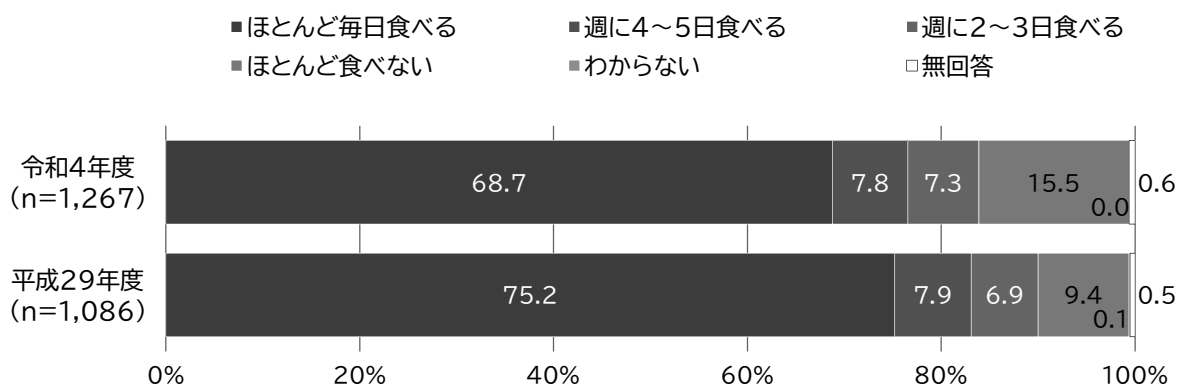
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



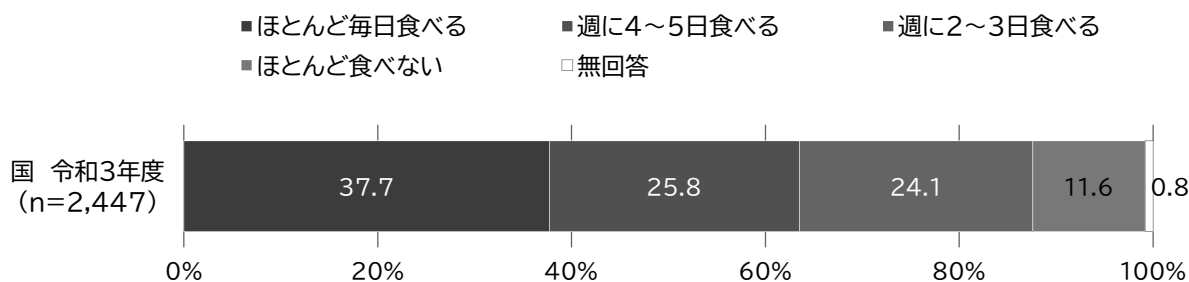
		回答数 (%)	手間がかからないこと	時間があること	食費に余裕があること	自分で用意することができること	食欲があること	3つそろえて食べるメリットを知っていること	家に用意されていること
全体		858	63.5	56.9	52.1	33.9	16.9	17.0	17.0
性別	男性	302	58.6	46.7	44.4	29.1	18.2	16.6	25.5
	女性	531	67.4	63.7	56.5	36.3	15.6	17.1	12.4
年代別	20~29歳	90	68.9	67.8	66.7	43.3	21.1	14.4	20.0
	30~39歳	173	75.1	68.8	61.8	29.5	11.0	14.5	12.7
	40~49歳	197	62.4	60.4	52.3	27.4	11.2	17.3	18.8
	50~59歳	160	69.4	57.5	49.4	33.8	18.1	15.0	12.5
	60~69歳	153	52.3	44.4	40.5	39.9	22.2	19.0	19.0
	70歳以上	80	48.8	35.0	43.8	40.0	23.8	23.8	25.0
地域別	那覇	205	59.5	52.2	44.4	30.7	21.5	18.0	12.7
	北部	61	73.8	50.8	59.0	36.1	16.4	18.0	31.1
	中部	323	62.8	61.0	54.2	35.6	17.6	16.4	15.5
	南部	155	66.5	56.8	54.8	32.3	14.8	20.6	21.9
	宮古	30	60.0	56.7	56.7	26.7	16.7	6.7	3.3
八重山	35	60.0	62.9	60.0	40.0	8.6	14.3	20.0	
			外食やコンビニなどで手軽に取ることができる環境があること	その他	わからない	無回答			
全体		858	14.5	3.1	0.5	0.5			
性別	男性	302	16.6	3.0	-	1.0			
	女性	531	13.0	3.4	0.6	-			
年代別	20~29歳	90	17.8	1.1	-	-			
	30~39歳	173	15.0	3.5	-	0.6			
	40~49歳	197	16.2	3.6	1.0	-			
	50~59歳	160	13.1	3.1	0.6	-			
	60~69歳	153	10.5	3.9	-	-			
	70歳以上	80	15.0	1.3	1.3	3.8			
地域別	那覇	205	16.6	4.9	-	-			
	北部	61	23.0	-	-	1.6			
	中部	323	12.7	3.7	0.6	0.6			
	南部	155	16.1	2.6	0.6	0.6			
	宮古	30	6.7	-	-	-			
八重山	35	14.3	2.9	2.9	-				

(5) 朝食摂取頻度 (問8)

- 朝食の摂取頻度について、「ほとんど毎日食べる」割合は68.7%で特に高くなっている。
- 「ほとんど毎日食べる」と「週に4～5日食べる」、「週に2～3日食べる」を合わせた割合は83.8%となり、平成29年度調査と比較すると、6.2ポイント減少している。



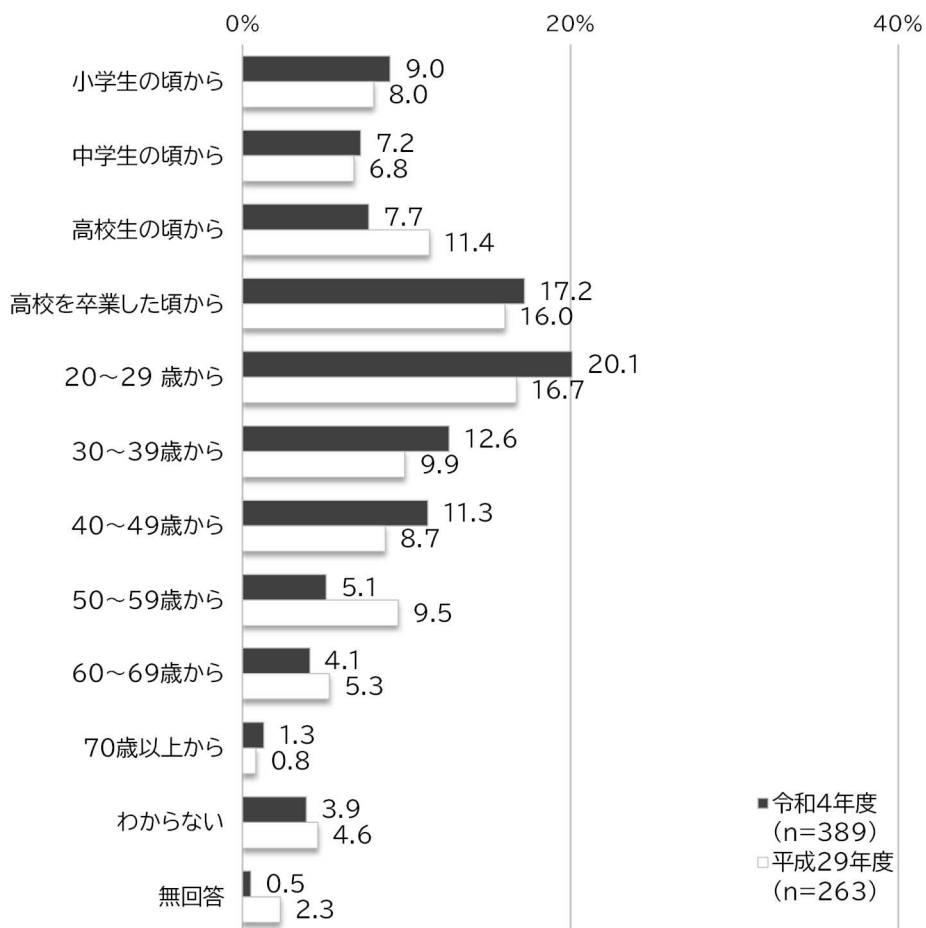
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



		回答数	ほとんど毎日食べる (%)	週に4～5日食べる (%)	週に2～3日食べる (%)	ほとんど食べない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		1,267	68.7	7.8	7.3	15.5	-	0.6
性別	男性	432	66.4	7.2	7.2	18.8	-	0.5
	女性	791	69.5	8.1	7.7	13.9	-	0.8
年代別	20～29歳	114	56.1	10.5	12.3	21.1	-	-
	30～39歳	232	57.3	12.5	9.1	20.7	-	0.4
	40～49歳	280	65.0	6.1	9.3	19.3	-	0.4
	50～59歳	237	68.8	6.3	5.5	18.6	-	0.8
	60～69歳	231	77.9	6.9	7.4	6.5	-	1.3
	70歳以上	162	84.6	6.2	1.2	7.4	-	0.6
地域別	那覇	310	69.4	7.7	8.7	13.5	-	0.6
	北部	88	72.7	6.8	4.5	15.9	-	-
	中部	457	67.2	9.2	7.0	16.0	-	0.7
	南部	230	68.3	7.8	7.4	16.1	-	0.4
	宮古	43	60.5	7.0	2.3	27.9	-	2.3
	八重山	52	63.5	1.9	7.7	26.9	-	-

(6) 朝食欠食の開始時期（問9）

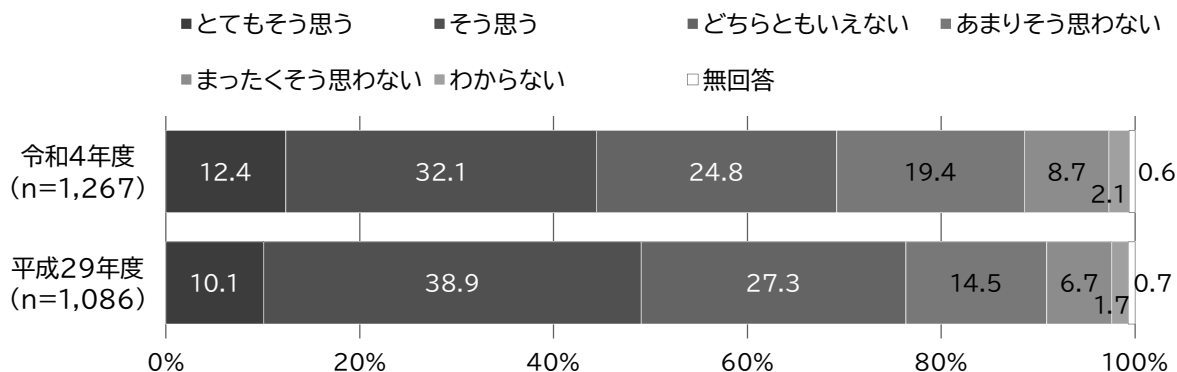
- 朝食欠食の開始時期について、20～29歳からが20.1%と最も多く、平成29年度調査と比較でも、3.4ポイントと最も増加している。



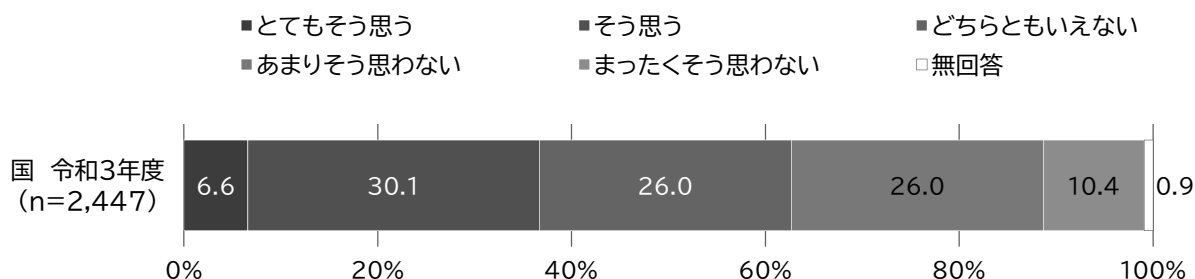
		(%)	回答数	小学生の頃から	中学生の頃から	高校生の頃から	高校を卒業した頃から	20～29歳から	30～39歳から	40～49歳から
全体			389	9.0	7.2	7.7	17.2	20.1	12.6	11.3
性別	男性		143	11.9	6.3	9.1	18.9	16.8	14.7	11.9
	女性		235	7.2	8.1	7.2	16.6	22.1	11.5	10.2
年代別	20～29歳		50	14.0	12.0	12.0	40.0	20.0	-	-
	30～39歳		98	14.3	7.1	10.2	20.4	27.6	17.3	-
	40～49歳		97	7.2	8.2	8.2	10.3	20.6	19.6	23.7
	50～59歳		72	5.6	6.9	5.6	16.7	20.8	15.3	12.5
	60～69歳		48	6.3	4.2	4.2	4.2	10.4	4.2	18.8
	70歳以上		24	-	-	-	12.5	4.2	-	12.5
地域別	那覇		93	12.9	4.3	4.3	16.1	21.5	15.1	11.8
	北部		24	4.2	16.7	4.2	25.0	12.5	8.3	16.7
	中部		147	7.5	6.8	8.2	21.1	18.4	14.3	9.5
	南部		72	6.9	6.9	12.5	11.1	29.2	6.9	9.7
	宮古		16	-	6.3	18.8	18.8	18.8	12.5	6.3
	八重山		19	21.1	5.3	-	21.1	5.3	21.1	15.8
		(%)		50～59歳から	60～69歳から	70歳以上から	わからない	無回答		
全体				5.1	4.1	1.3	3.9	0.5		
性別	男性			2.1	2.8	1.4	4.2	-		
	女性			6.8	5.1	0.9	3.8	0.4		
年代別	20～29歳			-	-	-	2.0	-		
	30～39歳			-	1.0	-	2.0	-		
	40～49歳			-	-	-	2.1	-		
	50～59歳			12.5	-	-	4.2	-		
	60～69歳			18.8	22.9	-	6.3	-		
	70歳以上			8.3	16.7	20.8	16.7	8.3		
地域別	那覇			4.3	6.5	1.1	1.1	1.1		
	北部			-	4.2	4.2	4.2	-		
	中部			5.4	3.4	1.4	4.1	-		
	南部			5.6	4.2	-	5.6	1.4		
	宮古			12.5	6.3	-	-	-		
	八重山			5.3	-	-	5.3	-		

(7) 地域などでの共食に対する意識（問10）

- 「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は 44.5%となり、国の令和 3 年度調査と比較すると、7.8 ポイント高くなっている。
- 「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は 44.5%となり、平成 29 年度調査と比較すると、4.5 ポイント減少している。



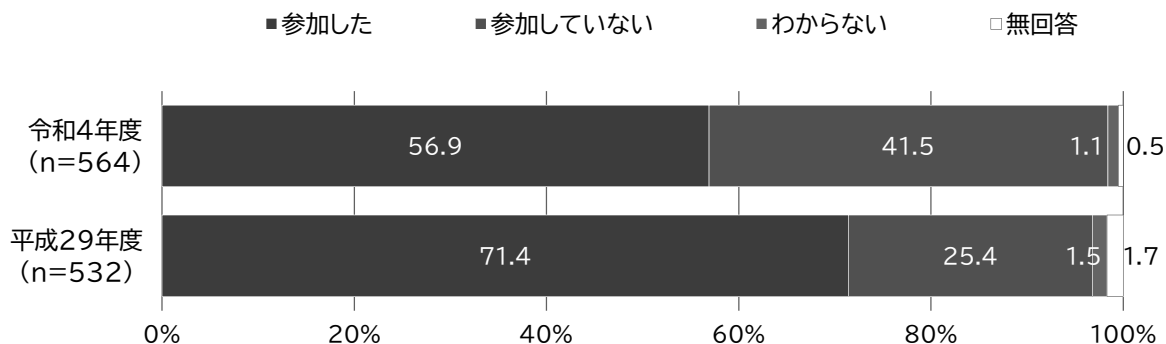
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



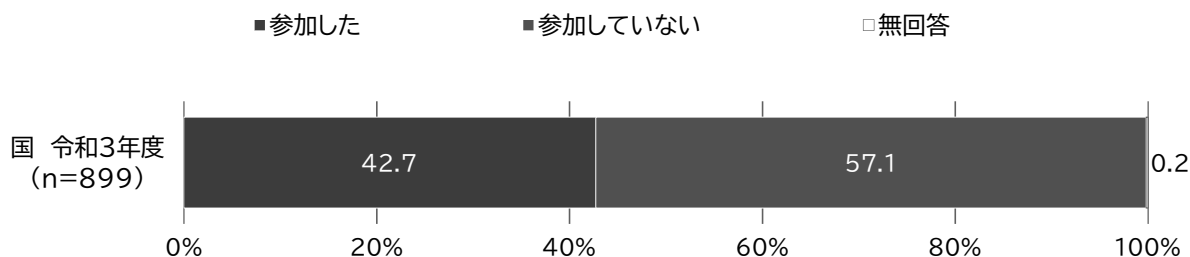
	回答数	割合 (%)						
		とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全体	1,267	12.4	32.1	24.8	19.4	8.7	2.1	0.6
性別								
男性	432	11.6	32.6	25.7	17.6	9.5	2.3	0.7
女性	791	12.8	31.7	24.8	20.2	8.2	1.8	0.5
年代別								
20～29歳	114	18.4	27.2	26.3	18.4	7.0	2.6	-
30～39歳	232	14.7	31.5	21.6	17.7	11.6	2.2	0.9
40～49歳	280	11.4	34.6	26.8	16.8	8.9	0.7	0.7
50～59歳	237	11.8	32.9	27.0	17.7	7.6	2.5	0.4
60～69歳	231	11.7	33.3	25.5	19.9	7.4	2.2	-
70歳以上	162	8.0	31.5	20.4	27.8	9.3	1.9	1.2
地域別								
那覇	310	13.9	31.6	23.9	20.0	8.4	1.9	0.3
北部	88	9.1	33.0	22.7	19.3	11.4	4.5	-
中部	457	10.7	32.8	24.7	21.0	8.8	1.5	0.4
南部	230	15.2	32.2	27.8	15.2	7.0	2.2	0.4
宮古	43	9.3	39.5	20.9	18.6	11.6	-	-
八重山	52	15.4	28.8	21.2	23.1	7.7	3.8	-

(8) 地域などでの共食経験 (問11)

- 「参加した」割合は 56.9%となっており、平成 29 年度調査と比較すると、14.5 ポイント低くなっている。
- 「参加した」割合は 56.9%となっており、国の令和 3 年度調査と比較すると、14.2 ポイント高くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

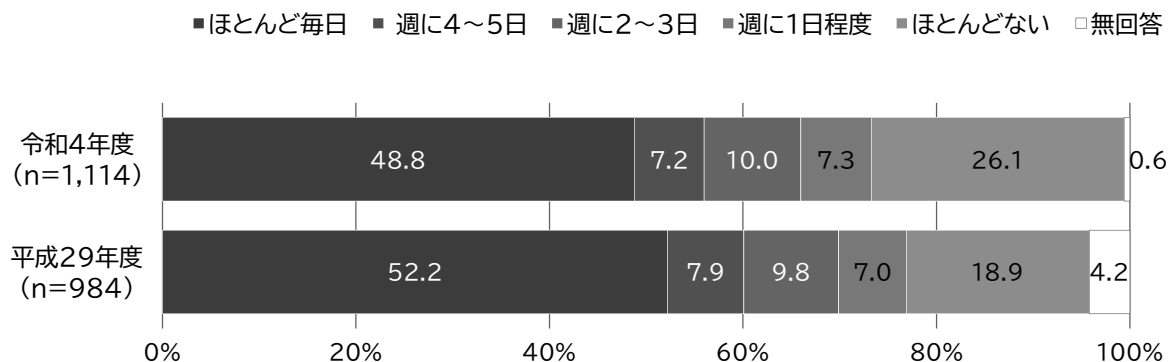


		回答数	参加した (%)	参加していない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		564	56.9	41.5	1.1	0.5
性別	男性	191	67.0	33.0	-	-
	女性	352	50.9	47.4	1.1	0.6
年代別	20~29歳	52	55.8	40.4	3.8	-
	30~39歳	107	57.9	40.2	1.9	-
	40~49歳	129	54.3	44.2	0.8	0.8
	50~59歳	106	44.3	55.7	-	-
	60~69歳	104	60.6	38.5	-	1.0
	70歳以上	64	75.0	21.9	1.6	1.6
地域別	那覇	141	53.2	44.7	0.7	1.4
	北部	37	45.9	54.1	-	-
	中部	199	56.3	41.7	2.0	-
	南部	109	61.5	37.6	0.9	-
	宮古	21	61.9	38.1	-	-
	八重山	23	65.2	34.8	-	-

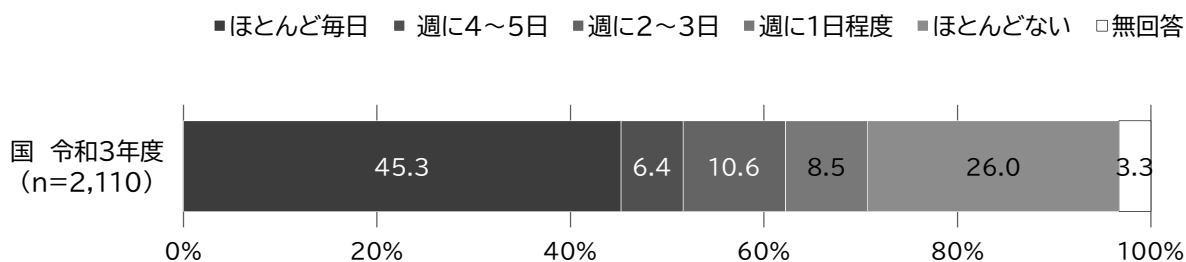
(9) 家族と一緒に食べる頻度 (問36)

- 朝食について、「ほとんど毎日」の割合が48.8%となっている。
- 夕食について、「ほとんど毎日」の割合が63.6%となっている。

朝食

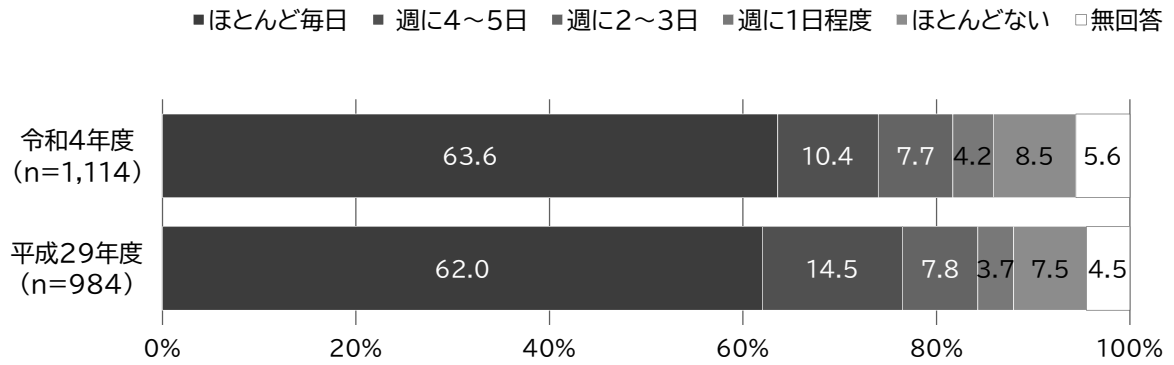


<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

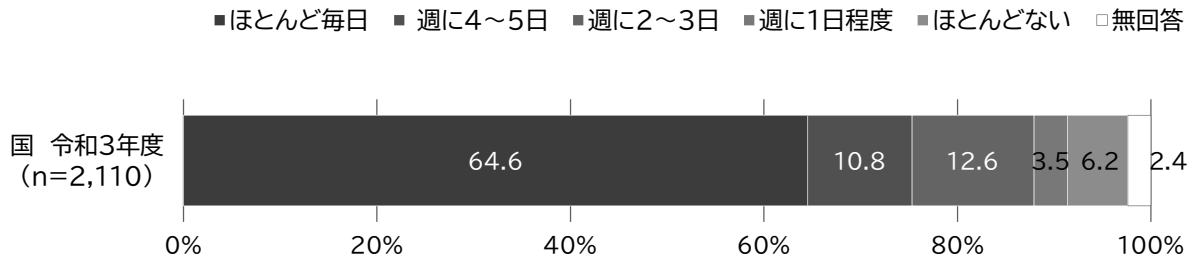


		回答数	ほとんど毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全体 (%)		1,114	48.8	7.2	10.0	7.3	26.1	0.6
性別	男性	368	43.2	7.9	10.9	7.9	29.3	0.8
	女性	709	51.8	6.9	9.6	7.1	24.4	0.3
年代別	20~29歳	102	25.5	14.7	11.8	6.9	41.2	-
	30~39歳	212	43.4	7.5	9.9	9.0	28.8	1.4
	40~49歳	261	47.9	5.7	14.9	7.7	23.4	0.4
	50~59歳	208	45.7	8.2	8.2	8.2	29.8	-
	60~69歳	187	55.1	7.0	9.1	6.4	21.9	0.5
	70歳以上	137	71.5	2.2	3.6	4.4	17.5	0.7
地域別	那覇	262	50.4	7.6	8.4	5.7	26.7	1.1
	北部	75	50.7	4.0	10.7	8.0	26.7	-
	中部	400	44.3	8.0	11.5	8.8	27.0	0.5
	南部	218	50.0	7.3	9.6	6.0	26.6	0.5
	宮古	37	48.6	5.4	10.8	10.8	24.3	-
	八重山	46	65.2	4.3	4.3	6.5	19.6	-

夕食



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



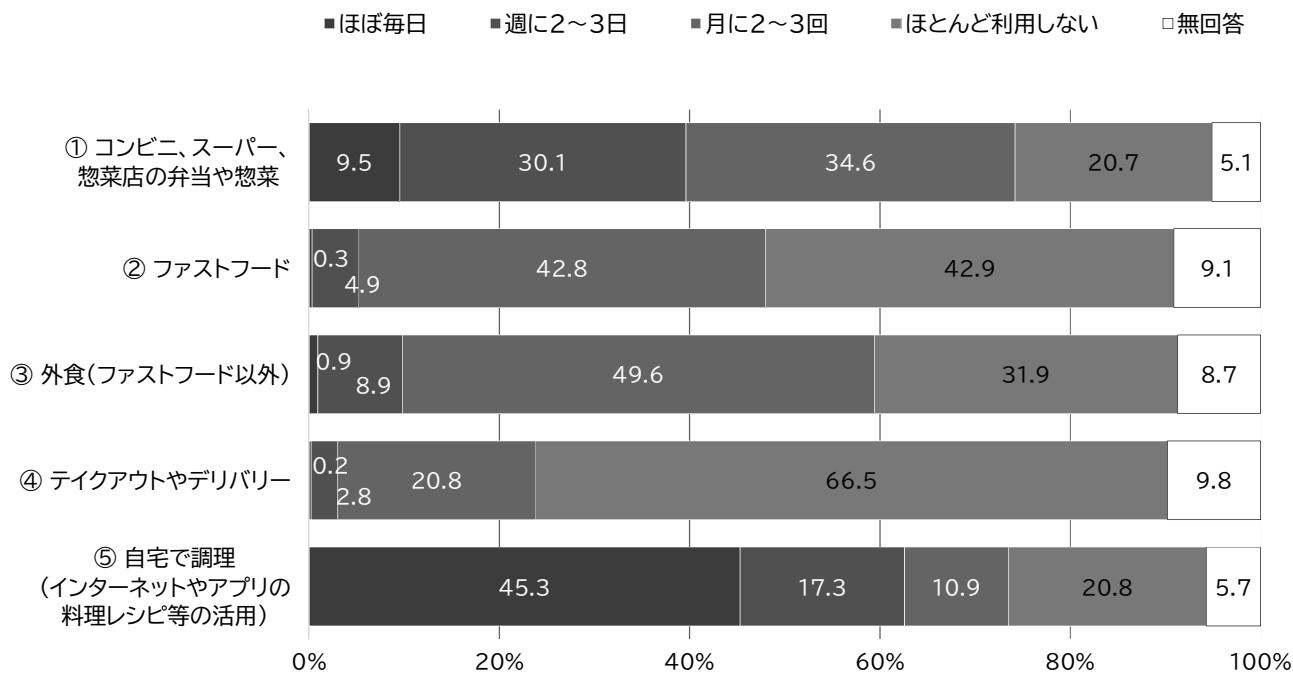
		回答数	ほとんど毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全体 (%)		1,114	63.6	10.4	7.7	4.2	8.5	5.6
性別	男性	368	59.2	12.0	9.8	4.6	9.2	5.2
	女性	709	66.6	9.6	6.5	4.1	7.8	5.5
年代別	20~29歳	102	51.0	11.8	16.7	6.9	7.8	5.9
	30~39歳	212	63.7	15.6	7.5	3.8	6.1	3.3
	40~49歳	261	66.7	10.3	8.4	4.6	6.5	3.4
	50~59歳	208	60.1	10.6	7.2	6.3	10.6	5.3
	60~69歳	187	65.2	9.1	5.3	2.7	12.3	5.3
	70歳以上	137	69.3	2.9	4.4	1.5	8.8	13.1
地域別	那覇	262	64.1	11.1	7.3	3.8	9.2	4.6
	北部	75	68.0	6.7	9.3	4.0	5.3	6.7
	中部	400	59.3	11.5	8.3	5.5	9.3	6.3
	南部	218	66.1	11.0	7.3	1.4	9.6	4.6
	宮古	37	70.3	5.4	10.8	2.7	8.1	2.7
	八重山	46	67.4	10.9	6.5	8.7	-	6.5

4. 新型コロナウイルス感染症の影響による食生活の変化について

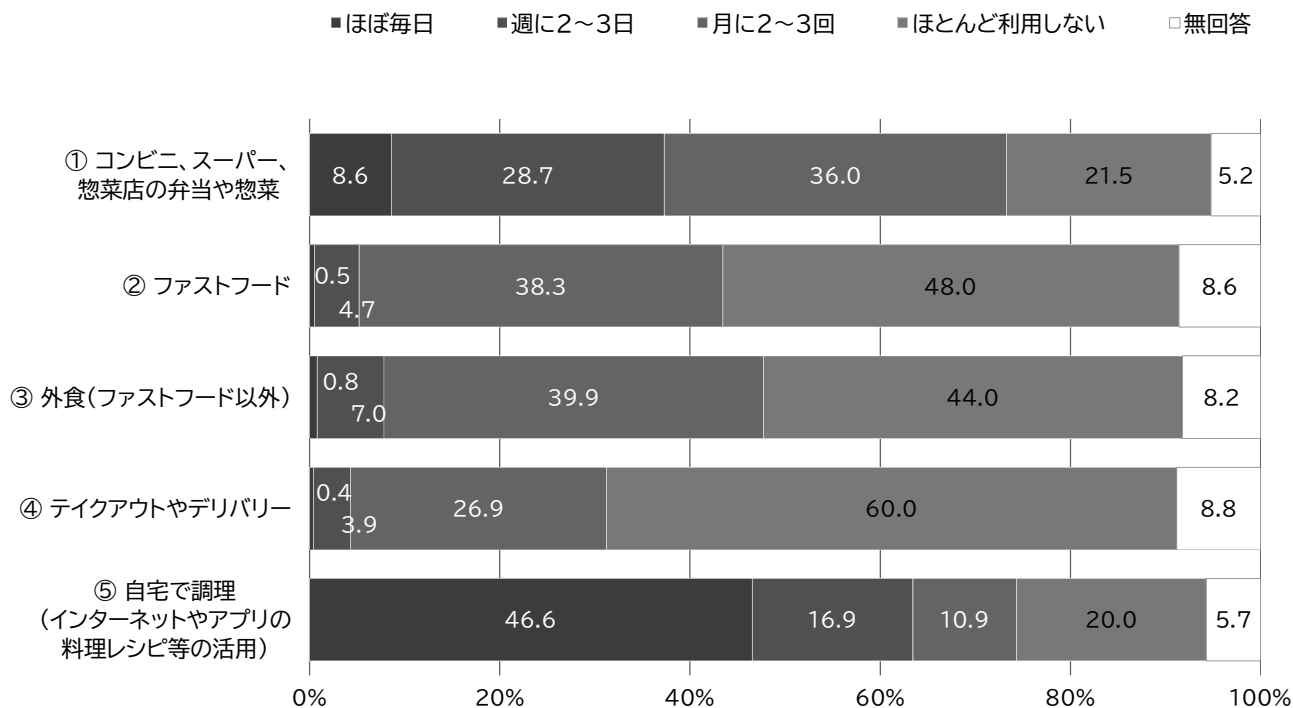
(1) 外食利用頻度（問12）

- 新型コロナウイルス感染症流行前後の食生活の変化について、外で飲食するよりも家の中で食べる機会が増えている傾向にある。

コロナ前



コロナ後



<コロナ前>①コンビニ、スーパー、惣菜店の弁当や総菜

		回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
(%)							
全体		1,267	9.5	30.1	34.6	20.7	5.1
性別	男性	432	14.6	35.9	26.2	18.8	4.6
	女性	791	6.7	27.4	39.7	21.6	4.6
年代別	20~29歳	114	7.9	40.4	29.8	20.2	1.8
	30~39歳	232	12.5	36.2	35.8	12.9	2.6
	40~49歳	280	9.6	32.9	35.0	20.0	2.5
	50~59歳	237	12.2	26.6	36.7	19.8	4.6
	60~69歳	231	7.8	24.2	35.9	25.5	6.5
	70歳以上	162	4.3	24.1	31.5	26.5	13.6
地域別	那覇	310	9.4	33.2	31.6	23.9	1.9
	北部	88	12.5	29.5	30.7	18.2	9.1
	中部	457	9.8	28.0	35.9	21.0	5.3
	南部	230	9.1	35.2	34.8	16.1	4.8
	宮古	43	7.0	25.6	39.5	18.6	9.3
	八重山	52	5.8	19.2	50.0	23.1	1.9

<コロナ前>②ファストフード

		回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
(%)							
全体		1,267	0.3	4.9	42.8	42.9	9.1
性別	男性	432	0.7	5.1	40.5	42.4	11.3
	女性	791	0.1	4.8	45.1	43.2	6.7
年代別	20~29歳	114	-	13.2	57.0	25.4	4.4
	30~39歳	232	0.4	7.8	55.6	32.8	3.4
	40~49歳	280	0.4	3.2	53.9	37.9	4.6
	50~59歳	237	0.4	3.8	43.5	45.6	6.8
	60~69歳	231	0.4	3.0	28.6	54.5	13.4
	70歳以上	162	-	1.9	16.7	58.0	23.5
地域別	那覇	310	0.3	5.5	41.9	47.4	4.8
	北部	88	-	5.7	46.6	31.8	15.9
	中部	457	0.4	5.5	46.6	38.3	9.2
	南部	230	-	4.3	42.6	45.2	7.8
	宮古	43	2.3	2.3	44.2	39.5	11.6
	八重山	52	-	5.8	26.9	61.5	5.8

<コロナ前>③外食(ファストフード以外)

		回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
(%)							
全体		1,267	0.9	8.9	49.6	31.9	8.7
性別	男性	432	2.1	10.9	42.8	33.3	10.9
	女性	791	0.4	8.1	54.5	30.7	6.3
年代別	20~29歳	114	2.6	18.4	56.1	19.3	3.5
	30~39歳	232	0.4	16.4	60.3	19.8	3.0
	40~49歳	280	0.7	7.1	60.4	27.1	4.6
	50~59歳	237	0.8	6.8	50.6	35.0	6.8
	60~69歳	231	1.3	4.8	39.8	41.6	12.6
	70歳以上	162	0.6	3.7	25.3	47.5	22.8
地域別	那覇	310	1.3	9.7	52.9	31.9	4.2
	北部	88	1.1	4.5	48.9	30.7	14.8
	中部	457	0.7	9.8	48.1	32.2	9.2
	南部	230	1.3	9.1	50.9	31.3	7.4
	宮古	43	2.3	7.0	37.2	39.5	14.0
	八重山	52	-	7.7	57.7	28.8	5.8

<コロナ前>④テイクアウトやデリバリー

		回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
(%)							
全体		1,267	0.2	2.8	20.8	66.5	9.8
性別	男性	432	0.5	3.0	20.1	64.1	12.3
	女性	791	-	2.7	21.5	68.5	7.3
年代別	20~29歳	114	-	6.1	32.5	57.0	4.4
	30~39歳	232	-	6.5	30.6	59.9	3.0
	40~49歳	280	0.4	2.5	20.7	70.7	5.7
	50~59歳	237	-	1.7	21.5	69.2	7.6
	60~69歳	231	-	0.9	13.9	71.0	14.3
	70歳以上	162	0.6	0.6	8.0	65.4	25.3
地域別	那覇	310	-	3.2	20.0	71.3	5.5
	北部	88	-	1.1	23.9	59.1	15.9
	中部	457	-	3.3	22.8	63.5	10.5
	南部	230	0.9	2.6	17.8	71.3	7.4
	宮古	43	-	-	16.3	72.1	11.6
	八重山	52	-	3.8	23.1	65.4	7.7

<コロナ前>⑤自宅で調理

		(%)	回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
全体			1,267	45.3	17.3	10.9	20.8	5.7
性別	男性		432	36.8	17.1	9.5	28.7	7.9
	女性		791	50.4	17.7	11.8	16.2	3.9
年代別	20~29歳		114	31.6	32.5	11.4	21.9	2.6
	30~39歳		232	47.0	25.4	10.3	15.5	1.7
	40~49歳		280	53.6	19.6	10.4	13.2	3.2
	50~59歳		237	51.5	14.8	9.3	21.1	3.4
	60~69歳		231	39.8	10.0	15.2	26.8	8.2
	70歳以上		162	39.5	6.2	8.6	29.6	16.0
地域別	那覇		310	43.5	22.6	12.6	17.7	3.5
	北部		88	42.0	11.4	6.8	31.8	8.0
	中部		457	46.4	16.2	12.3	19.7	5.5
	南部		230	47.4	16.1	8.7	22.6	5.2
	宮古		43	53.5	9.3	7.0	23.3	7.0
	八重山		52	57.7	13.5	7.7	15.4	5.8

<コロナ後>①コンビニ、スーパー、惣菜店の弁当や総菜

		(%)	回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
全体			1,267	8.6	28.7	36.0	21.5	5.2
性別	男性		432	13.7	32.4	27.5	21.3	5.1
	女性		791	5.9	27.1	41.2	21.5	4.3
年代別	20~29歳		114	8.8	33.3	37.7	19.3	0.9
	30~39歳		232	11.2	34.5	37.5	14.2	2.6
	40~49歳		280	7.9	32.5	36.1	21.4	2.1
	50~59歳		237	10.5	26.6	35.4	22.4	5.1
	60~69歳		231	8.2	23.8	36.8	24.7	6.5
	70歳以上		162	3.7	22.2	32.1	27.2	14.8
地域別	那覇		310	9.4	29.7	31.3	27.1	2.6
	北部		88	8.0	22.7	38.6	19.3	11.4
	中部		457	9.4	27.8	37.6	20.4	4.8
	南部		230	8.3	38.3	35.2	14.8	3.5
	宮古		43	7.0	25.6	41.9	16.3	9.3
	八重山		52	5.8	13.5	42.3	36.5	1.9

<コロナ後>②ファストフード

		(%)	回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
全体			1,267	0.5	4.7	38.3	48.0	8.6
性別	男性		432	0.7	5.3	36.3	46.3	11.3
	女性		791	0.1	4.6	39.7	49.3	6.3
年代別	20~29歳		114	-	14.9	50.9	29.8	4.4
	30~39歳		232	0.4	7.8	52.2	36.2	3.4
	40~49歳		280	-	3.6	45.7	46.1	4.6
	50~59歳		237	0.8	3.8	37.6	51.5	6.3
	60~69歳		231	0.9	1.7	26.4	58.9	12.1
	70歳以上		162	-	0.6	16.0	60.5	22.8
地域別	那覇		310	1.0	3.9	37.1	53.9	4.2
	北部		88	-	5.7	39.8	38.6	15.9
	中部		457	0.2	5.7	41.8	43.5	8.8
	南部		230	-	5.7	40.4	47.0	7.0
	宮古		43	2.3	7.0	30.2	48.8	11.6
	八重山		52	-	-	21.2	73.1	5.8

<コロナ後>③外食(ファストフード以外)

		(%)	回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
全体			1,267	0.8	7.0	39.9	44.0	8.2
性別	男性		432	1.9	9.7	37.3	40.7	10.4
	女性		791	0.3	5.6	42.4	45.9	5.9
年代別	20~29歳		114	1.8	15.8	51.8	26.3	4.4
	30~39歳		232	0.4	14.2	49.6	33.2	2.6
	40~49歳		280	0.7	3.9	45.7	45.4	4.3
	50~59歳		237	0.4	5.9	39.7	48.1	5.9
	60~69歳		231	0.9	3.5	31.2	52.4	12.1
	70歳以上		162	1.2	3.1	21.0	52.5	22.2
地域別	那覇		310	0.6	8.7	39.4	48.1	3.2
	北部		88	1.1	4.5	39.8	38.6	15.9
	中部		457	0.4	8.1	42.2	40.9	8.3
	南部		230	1.7	6.5	43.9	40.4	7.4
	宮古		43	2.3	2.3	16.3	67.4	11.6
	八重山		52	-	5.8	38.5	50.0	5.8

<コロナ後>④テイクアウトやデリバリー

		回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
(%)							
全体		1,267	0.4	3.9	26.9	60.0	8.8
性別	男性	432	0.7	4.2	24.3	59.7	11.1
	女性	791	0.1	3.8	29.1	60.6	6.4
年代別	20~29歳	114	-	7.9	35.1	52.6	4.4
	30~39歳	232	0.4	8.2	44.0	44.4	3.0
	40~49歳	280	0.7	2.5	34.3	58.2	4.3
	50~59歳	237	0.4	4.6	23.6	64.6	6.8
	60~69歳	231	0.4	0.4	14.3	72.3	12.6
	70歳以上	162	-	1.2	8.0	66.7	24.1
	那覇	310	0.6	3.9	25.2	66.5	3.9
地域別	北部	88	1.1	-	25.0	59.1	14.8
	中部	457	0.2	4.2	29.5	57.1	9.0
	南部	230	0.4	4.8	30.4	57.4	7.0
	宮古	43	-	7.0	14.0	65.1	14.0
	八重山	52	-	3.8	26.9	61.5	7.7

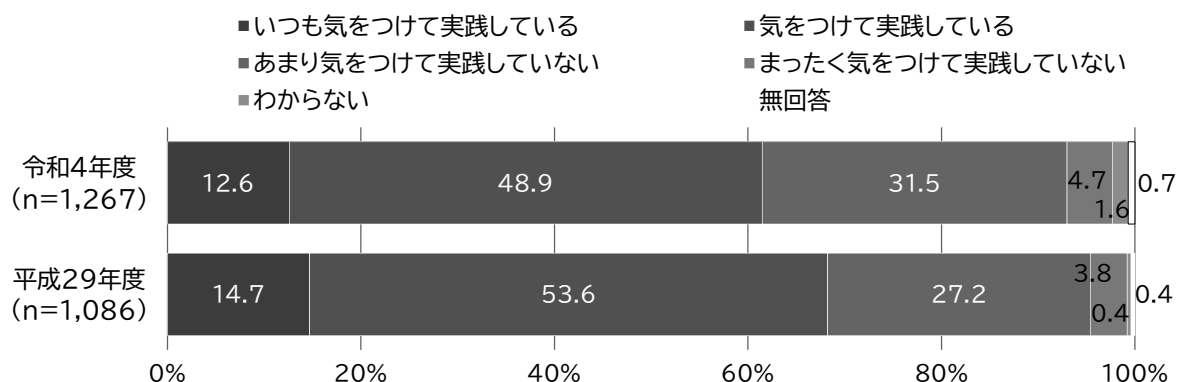
<コロナ後>⑤自宅で調理

		回答数	ほぼ毎日	週に2~3日	月に2~3回	ほとんど利用しない	無回答
(%)							
全体		1,267	46.6	16.9	10.9	20.0	5.7
性別	男性	432	40.5	14.8	10.0	27.1	7.6
	女性	791	50.3	18.3	11.5	15.9	3.9
年代別	20~29歳	114	39.5	27.2	11.4	18.4	3.5
	30~39歳	232	49.1	22.4	12.5	13.8	2.2
	40~49歳	280	55.7	17.9	11.4	12.1	2.9
	50~59歳	237	52.3	16.5	8.9	19.8	2.5
	60~69歳	231	39.4	13.0	13.0	26.8	7.8
	70歳以上	162	35.2	7.4	7.4	32.1	17.9
	那覇	310	46.1	22.6	11.9	15.8	3.5
地域別	北部	88	42.0	15.9	5.7	30.7	5.7
	中部	457	47.0	15.3	13.1	18.2	6.3
	南部	230	47.0	17.0	10.0	21.7	4.3
	宮古	43	58.1	4.7	7.0	25.6	4.7
	八重山	52	59.6	11.5	5.8	19.2	3.8

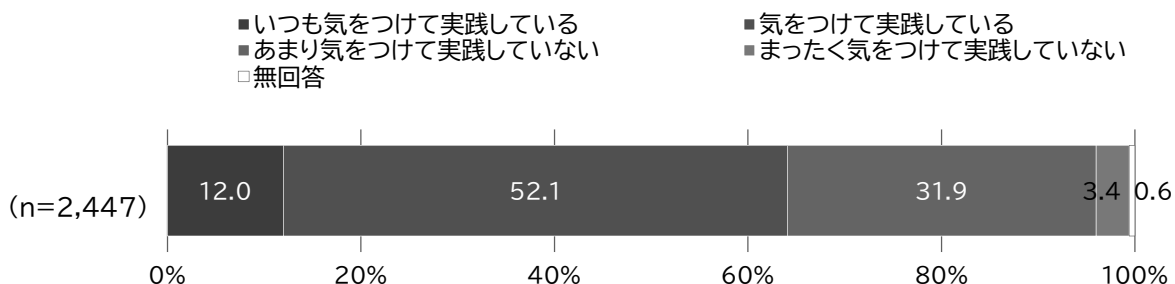
5. 健康について

(1) 生活習慣病の予防や改善に関する実績（問13）

- 生活習慣病の予防や改善に向けた食生活の実践について、「気をつけて実践している」の割合は48.9%で最も高くなっている。
- 「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」を合わせた割合は61.5%となり、国の令和3年度調査と比較すると、2.6ポイント低くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

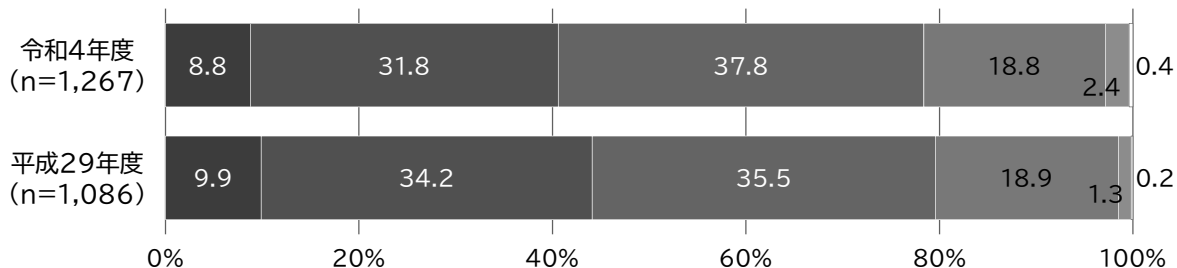


		回答数 (%)	いつも気をつけて実践している	気をつけて実践している	あまり気をつけて実践していない	まったく気をつけて実践していない	わからない	無回答
全体		1,267	12.6	48.9	31.5	4.7	1.6	0.7
性別	男性	432	11.8	42.8	35.4	7.6	1.4	0.9
	女性	791	13.1	52.5	29.5	2.9	1.6	0.4
年代別	20~29歳	114	7.0	41.2	40.4	8.8	2.6	-
	30~39歳	232	8.2	40.9	43.5	6.0	0.9	0.4
	40~49歳	280	10.7	48.9	34.3	3.6	1.4	1.1
	50~59歳	237	13.9	49.4	30.4	5.1	0.8	0.4
	60~69歳	231	13.9	56.7	22.1	3.5	3.0	0.9
	70歳以上	162	22.8	55.6	16.7	3.1	0.6	1.2
地域別	那覇	310	17.7	45.5	33.5	1.9	1.3	-
	北部	88	8.0	39.8	38.6	8.0	4.5	1.1
	中部	457	11.4	49.9	31.3	5.3	1.5	0.7
	南部	230	9.6	53.9	30.0	5.2	0.4	0.9
	宮古	43	9.3	41.9	39.5	4.7	2.3	2.3
	八重山	52	13.5	57.7	17.3	11.5	-	-

(2) ふだんゆっくりよく噛んで食べているか (問14)

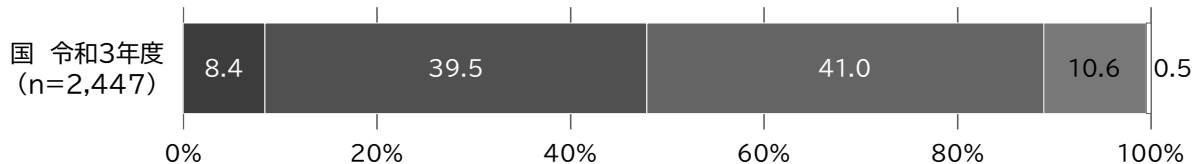
- ふだんゆっくりよく噛んで食べているかについて、「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせた割合は 40.6%となっている。
- 「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせた割合は 40.6%となり、平成 29 年度調査と比較すると、3.5 ポイント低くなっている。

- ゆっくりよく噛んで食べている
- どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない
- わからない
- どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
- ゆっくりよく噛んで食べていない
- 無回答



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

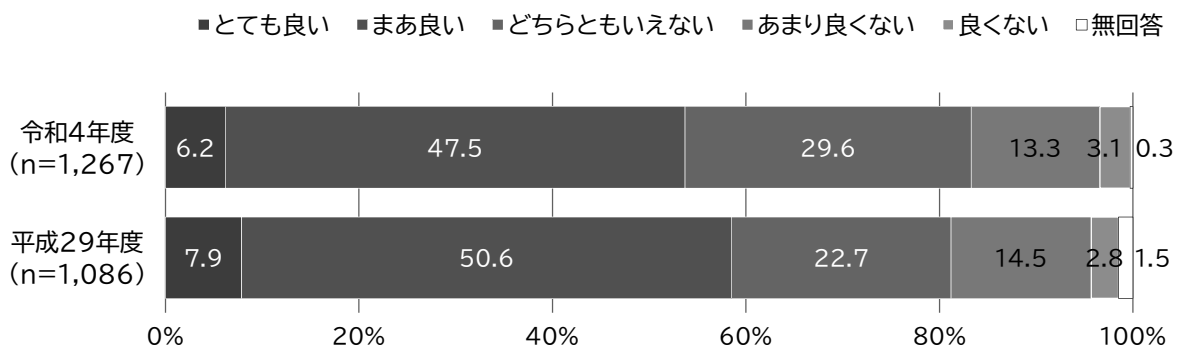
- ゆっくりよく噛んで食べている
- どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
- どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない
- ゆっくりよく噛んで食べていない
- 無回答



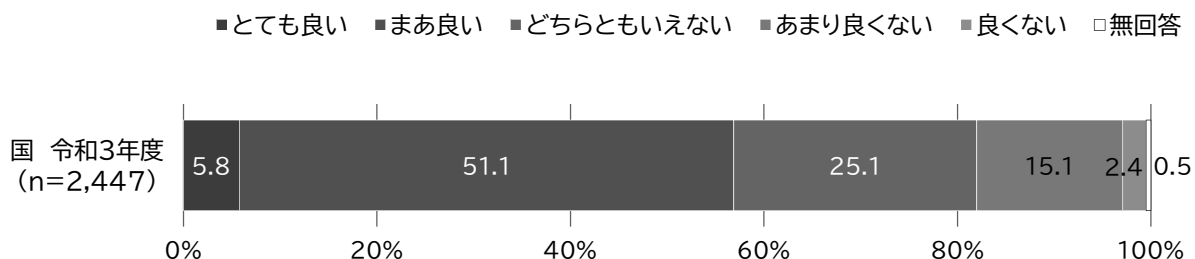
		回答数 (%)	ゆっくりよく噛んで食べている	どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている	どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない	ゆっくりよく噛んで食べていない	わからない	無回答
全体		1,267	8.8	31.8	37.8	18.8	2.4	0.4
性別	男性	432	6.9	28.7	38.7	22.7	2.5	0.5
	女性	791	9.7	33.1	37.7	16.9	2.4	0.1
年代別	20~29歳	114	10.5	43.9	28.9	13.2	3.5	-
	30~39歳	232	9.1	24.6	40.5	23.7	1.7	0.4
	40~49歳	280	5.0	26.4	45.7	19.3	3.2	0.4
	50~59歳	237	6.8	33.8	36.7	21.5	1.3	-
	60~69歳	231	7.4	35.9	35.1	17.7	3.0	0.9
	70歳以上	162	17.3	34.0	33.3	13.0	1.9	0.6
地域別	那覇	310	11.0	31.9	36.5	19.0	1.6	-
	北部	88	3.4	27.3	48.9	19.3	1.1	-
	中部	457	9.0	29.8	38.5	18.8	3.3	0.7
	南部	230	9.6	32.2	39.1	16.1	2.6	0.4
	宮古	43	4.7	48.8	23.3	23.3	-	-
	八重山	52	7.7	26.9	42.3	21.2	1.9	-

(3) 健康状態の状況 (問15)

- 「とても良い」と「まあ良い」を合わせた割合は 53.7%となり、平成 29 年度調査と比較すると、4.8 ポイント低くなっている。
- 「とても良い」と「まあ良い」を合わせた割合は 53.7%となり、国の令和 3 年度調査と比較すると、4.8 ポイント低くなっている。



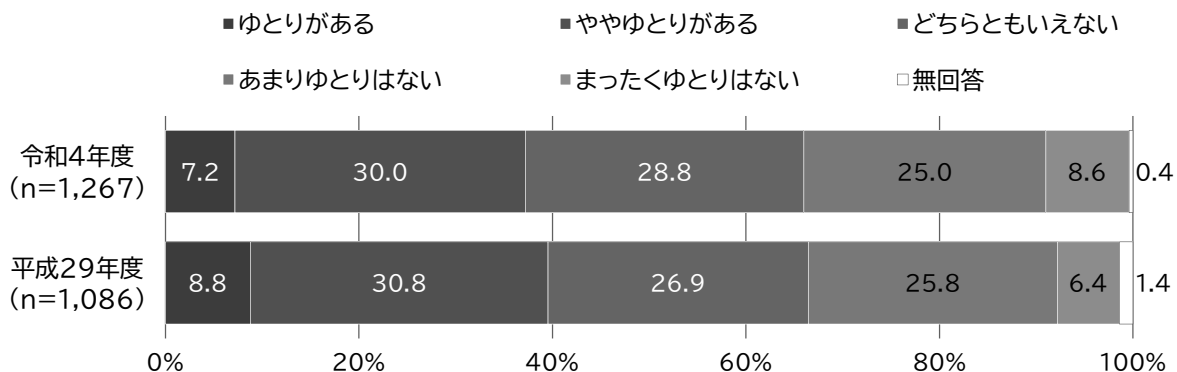
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



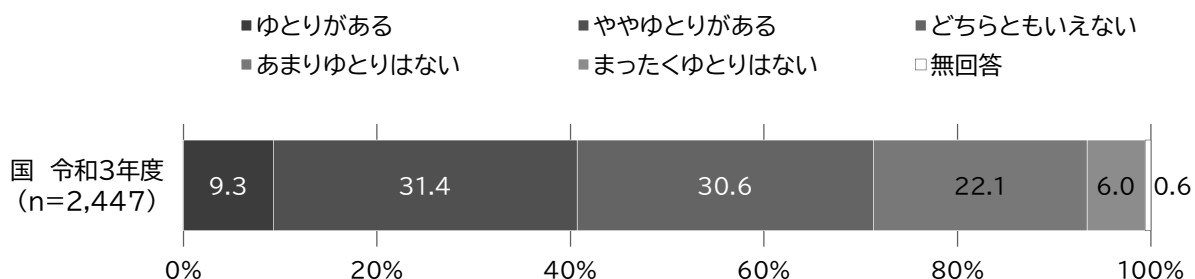
		回答数	とても良い	まあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	良くない	無回答
		(%)						
全体		1,267	6.2	47.5	29.6	13.3	3.1	0.3
性別	男性	432	6.3	45.1	27.5	16.9	3.7	0.5
	女性	791	6.3	49.1	30.6	11.4	2.5	0.1
年代別	20~29歳	114	10.5	48.2	21.1	14.9	5.3	-
	30~39歳	232	3.9	47.8	31.0	13.4	3.4	0.4
	40~49歳	280	6.4	46.1	33.9	10.4	2.9	0.4
	50~59歳	237	5.5	44.3	30.0	15.6	4.6	-
	60~69歳	231	6.9	45.9	28.6	16.9	0.9	0.9
	70歳以上	162	6.2	56.2	26.5	8.6	2.5	-
地域別	那覇	310	7.4	50.6	27.1	10.6	4.2	-
	北部	88	2.3	43.2	35.2	17.0	2.3	-
	中部	457	7.0	46.8	29.5	13.1	3.1	0.4
	南部	230	3.0	50.4	32.2	11.7	2.2	0.4
	宮古	43	4.7	46.5	20.9	25.6	2.3	-
	八重山	52	5.8	38.5	30.8	23.1	1.9	-

(4) 日々の生活のゆとり (問16)

- 「あまりゆとりがない」と「まったくゆとりはない」を合わせた割合は 33.6%となり、平成 29 年度調査と比較すると、1.4 ポイント低くなっている。
- 「あまりゆとりがない」と「まったくゆとりはない」を合わせた割合は 33.6%となり、国の令和 3 年度調査と比較すると、5.5 ポイント高くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

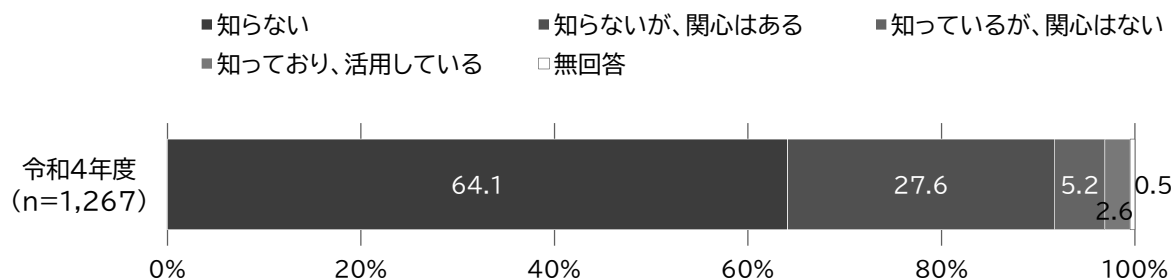


	回答数	ゆとりに関する意識 (%)					
		ゆとりがある	ややゆとりがある	どちらともいえない	あまりゆとりはない	まったくゆとりはない	無回答
全体	1,267	7.2	30.0	28.8	25.0	8.6	0.4
性別							
男性	432	7.2	35.9	28.5	19.4	8.3	0.7
女性	791	7.3	26.9	29.1	28.1	8.5	0.1
年代別							
20~29歳	114	5.3	38.6	22.8	21.1	12.3	-
30~39歳	232	3.9	20.3	30.2	35.3	9.9	0.4
40~49歳	280	4.6	25.0	29.6	28.6	11.8	0.4
50~59歳	237	5.9	33.8	30.0	24.5	5.9	-
60~69歳	231	13.4	32.0	30.3	18.2	4.8	1.3
70歳以上	162	10.5	37.7	24.7	18.5	8.6	-
地域別							
那覇	310	10.0	31.6	26.5	24.5	7.4	-
北部	88	5.7	22.7	38.6	22.7	9.1	1.1
中部	457	7.0	28.9	28.4	26.3	9.0	0.4
南部	230	4.3	33.0	30.4	22.6	9.1	0.4
宮古	43	11.6	30.2	14.0	30.2	14.0	-
八重山	52	7.7	25.0	34.6	28.8	3.8	-

6. 次世代の健康教育について

(1) くわっち～さびらの認知度（問17）

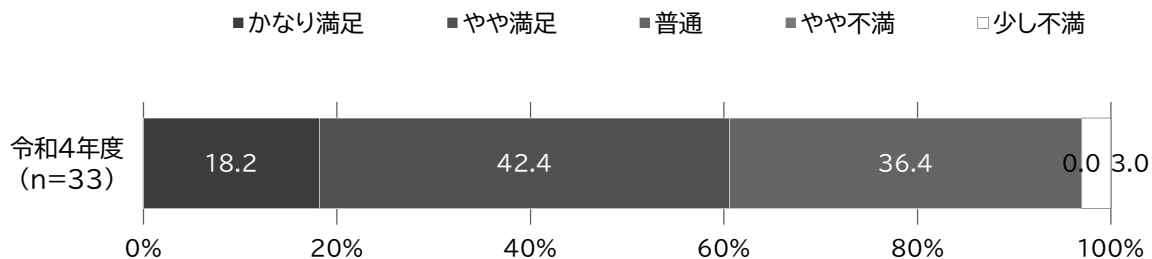
- 次世代の教育事業(くわっち～さびら)の活用について、「知らない」の割合は64.1%で最も高くなっている。



		回答数	知らない	知らないが、関心はある	知っているが、関心はない	知っており、活用している	無回答
全体 (%)		1,267	64.1	27.6	5.2	2.6	0.5
性別	男性	432	67.4	26.4	3.9	1.6	0.7
	女性	791	62.6	28.2	5.7	3.3	0.3
年代別	20～29歳	114	69.3	24.6	4.4	1.8	-
	30～39歳	232	57.3	30.2	7.8	4.3	0.4
	40～49歳	280	63.9	25.4	5.7	4.6	0.4
	50～59歳	237	65.0	27.4	4.6	3.0	-
	60～69歳	231	71.0	25.1	3.0	-	0.9
	70歳以上	162	59.9	34.6	3.7	0.6	1.2
地域別	那覇	310	64.5	26.1	7.4	1.9	-
	北部	88	61.4	31.8	2.3	3.4	1.1
	中部	457	67.8	24.3	4.8	2.4	0.7
	南部	230	58.3	34.3	3.9	3.0	0.4
	宮古	43	62.8	32.6	2.3	2.3	-
	八重山	52	59.6	25.0	7.7	7.7	-

(2) くわっち～さびらの満足度 (問18)

■ 次世代の教育事業(くわっち～さびら)の活用について、「かなり満足」と「やや満足」を合わせた割合は60.6%となっている。認知している方の満足度は高くなっている。

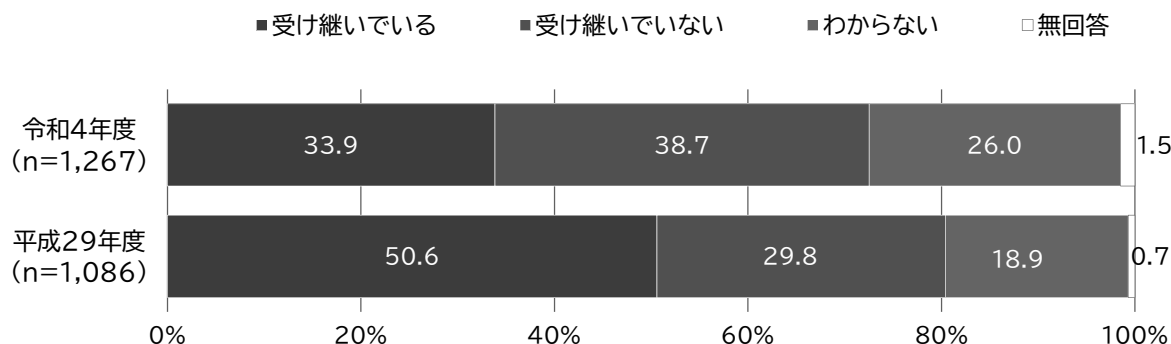


		(%)	回答数	かなり満足	やや満足	普通	やや不満	少し不満
全体			33	18.2	42.4	36.4	-	3.0
性別	男性		7	28.6	42.9	14.3	-	14.3
	女性		26	15.4	42.3	42.3	-	-
年代別	20～29歳		2	-	-	50.0	-	50.0
	30～39歳		10	20.0	30.0	50.0	-	-
	40～49歳		13	15.4	61.5	23.1	-	-
	50～59歳		7	28.6	28.6	42.9	-	-
	60～69歳		-	-	-	-	-	-
	70歳以上		1	-	100.0	-	-	-
地域別	那覇		6	16.7	66.7	16.7	-	-
	北部		3	-	-	66.7	-	33.3
	中部		11	18.2	45.5	36.4	-	-
	南部		7	14.3	57.1	28.6	-	-
	宮古		1	-	-	100.0	-	-
	八重山		4	50.0	25.0	25.0	-	-

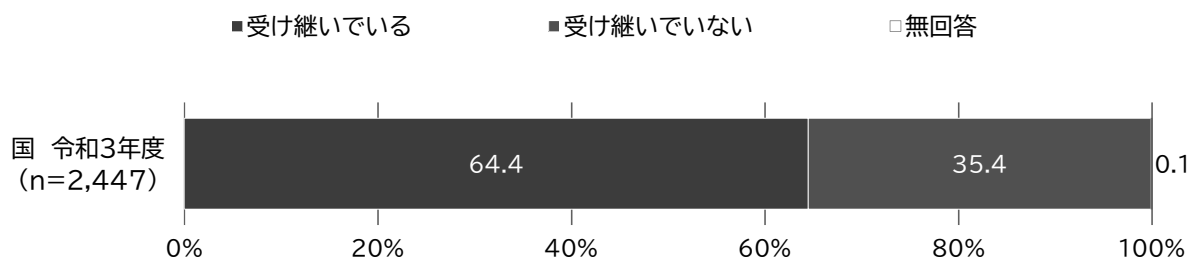
7. 食文化について

(1) 食文化の伝承 (問19)

- 郷土料理や伝統料理などの自身の伝承の有無について、「受け継いでいない」の割合は 38.7%で最も高くなっている。
- 自身の伝承の有無について平成 29 年度調査と比較すると、「受け継いでいない」の割合は 29.8%から 8.9 ポイント増加し、「受け継いでいる」の割合は 50.6%から 16.7%減少している。



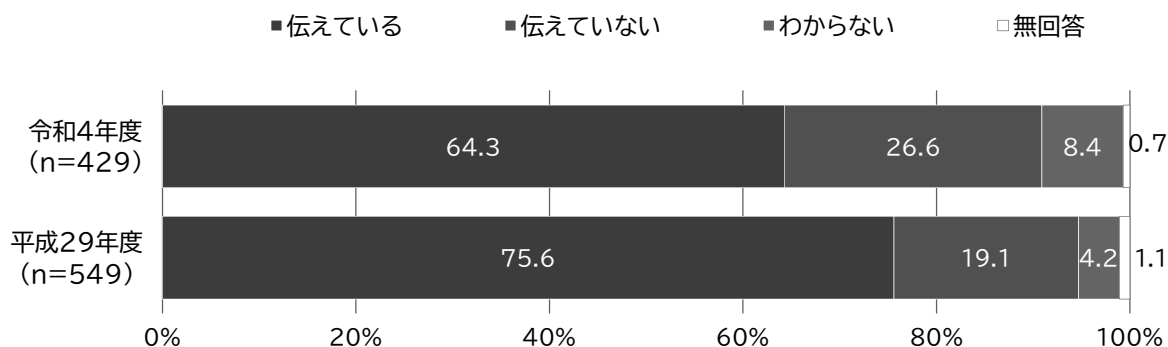
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



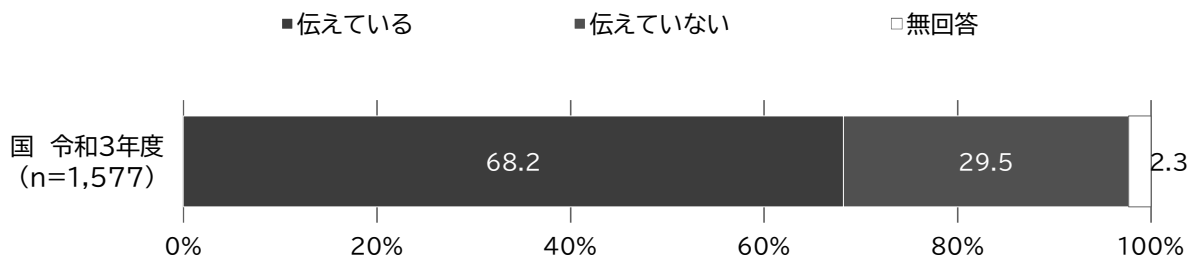
		回答数 (%)	受け継いでいる (%)	受け継いでいない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		1,267	33.9	38.7	26.0	1.5
性別	男性	432	23.6	47.9	27.8	0.7
	女性	791	39.2	33.8	25.3	1.8
年代別	20~29歳	114	39.5	31.6	28.1	0.9
	30~39歳	232	29.7	40.5	29.3	0.4
	40~49歳	280	35.0	37.1	26.4	1.4
	50~59歳	237	30.8	45.1	23.2	0.8
	60~69歳	231	35.1	41.1	22.1	1.7
	70歳以上	162	37.7	30.2	27.8	4.3
地域別	那覇	310	35.8	40.0	23.9	0.3
	北部	88	30.7	42.0	23.9	3.4
	中部	457	33.0	36.5	28.9	1.5
	南部	230	37.8	40.0	21.7	0.4
	宮古	43	27.9	37.2	32.6	2.3
	八重山	52	30.8	36.5	28.8	3.8

(2) 食文化の継承 (問20)

- 地域や次世代への伝承の有無について、「伝えている」の割合は64.3%で最も高くなっている。
- 地域や次世代への伝承の有無については、「伝えている」の割合は平成29年度調査の75.6%から11.3ポイント減少している。



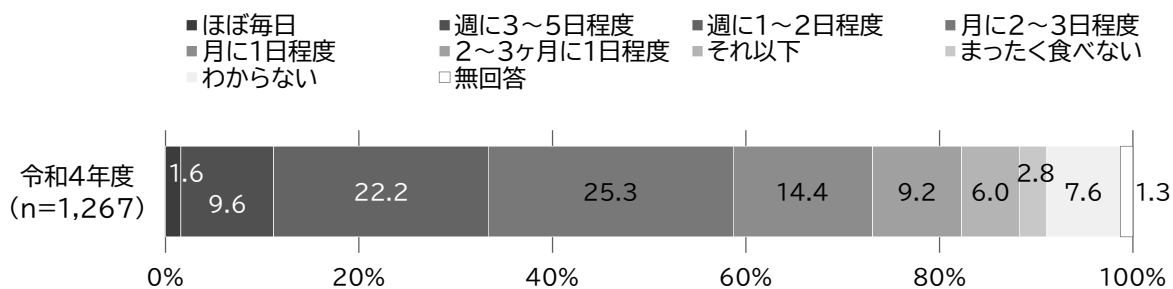
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



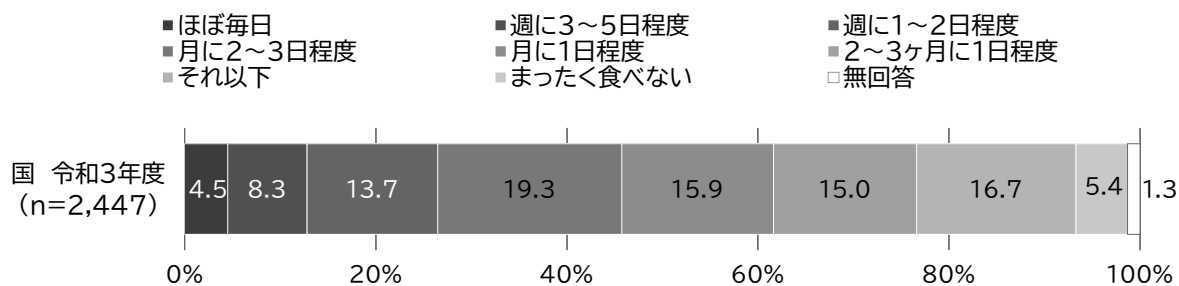
		回答数	伝えている (%)	伝えていない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		429	64.3	26.6	8.4	0.7
性別	男性	102	60.8	27.5	9.8	2.0
	女性	310	65.2	26.5	8.1	0.3
年代別	20~29歳	45	33.3	40.0	26.7	-
	30~39歳	69	59.4	24.6	15.9	-
	40~49歳	98	72.4	21.4	4.1	2.0
	50~59歳	73	76.7	17.8	5.5	-
	60~69歳	81	58.0	34.6	6.2	1.2
	70歳以上	61	72.1	27.9	-	-
地域別	那覇	111	63.1	27.0	9.9	-
	北部	27	59.3	37.0	3.7	-
	中部	151	66.2	24.5	7.9	1.3
	南部	87	67.8	21.8	10.3	-
	宮古	12	50.0	50.0	-	-
	八重山	16	50.0	37.5	12.5	-

(3) 食文化の食事頻度（問21）

- 郷土料理や伝統料理などを食べる頻度について、「月に 2～3 日程度」の割合は 25.3%で最も高くなっている。
- 国の令和 3 年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」を除き、月に 1 日以上を回答した割合が高いことから郷土料理や伝統料理を食べる頻度は高い傾向にある。



<参考> 国 令和 3 年度食育に関する意識調査

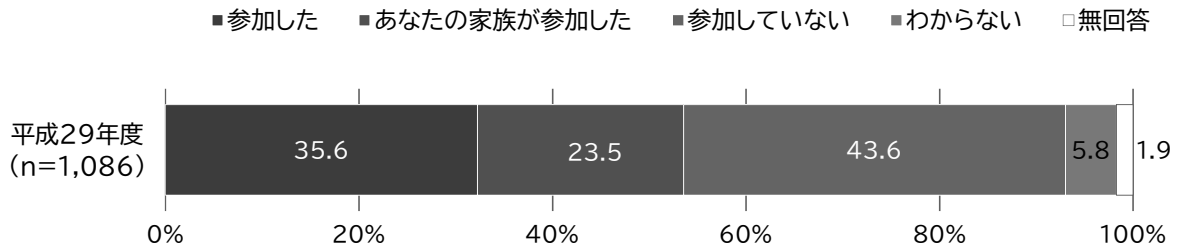
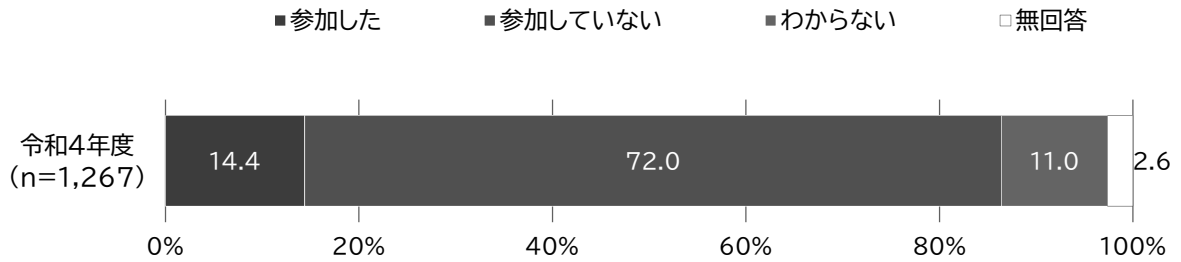


		(%)	回答数	ほぼ毎日	週に3~5日程度	週に1~2日程度	月に2~3日程度	月に1日程度	2~3ヶ月に1日程度	それ以下
全体			1,267	1.6	9.6	22.2	25.3	14.4	9.2	6.0
性別	男性		432	1.4	8.8	22.7	27.8	13.0	8.1	5.6
	女性		791	1.8	10.1	21.1	24.8	15.3	9.6	6.3
年代別	20~29歳		114	0.9	5.3	17.5	23.7	20.2	10.5	7.9
	30~39歳		232	1.3	7.3	15.1	35.3	13.8	8.2	7.8
	40~49歳		280	0.7	6.4	20.7	26.8	15.7	11.8	6.8
	50~59歳		237	1.7	9.3	25.7	23.2	13.9	9.7	5.1
	60~69歳		231	2.6	10.0	26.4	23.4	14.7	9.1	3.0
	70歳以上		162	2.5	20.4	27.2	16.0	9.9	4.9	6.8
地域別	那覇		310	1.6	9.7	19.7	27.1	14.8	12.3	6.1
	北部		88	2.3	12.5	23.9	26.1	9.1	12.5	2.3
	中部		457	1.8	10.5	24.1	24.9	14.9	7.4	4.4
	南部		230	1.3	7.8	25.7	24.3	14.8	7.8	9.1
	宮古		43	2.3	7.0	25.6	23.3	20.9	4.7	2.3
	八重山		52	1.9	7.7	15.4	26.9	5.8	15.4	11.5
		(%)	まったく食べない	わからない	無回答					
全体			2.8	7.6	1.3					
性別	男性		3.5	7.6	1.6					
	女性		2.4	7.6	1.0					
年代別	20~29歳		4.4	9.6	-					
	30~39歳		3.0	6.5	1.7					
	40~49歳		1.8	7.5	1.8					
	50~59歳		2.1	8.0	1.3					
	60~69歳		3.5	6.5	0.9					
	70歳以上		3.1	8.0	1.2					
地域別	那覇		2.6	5.8	0.3					
	北部		1.1	9.1	1.1					
	中部		3.5	7.0	1.5					
	南部		2.6	4.8	1.7					
	宮古		-	14.0	-					
	八重山		1.9	13.5	-					

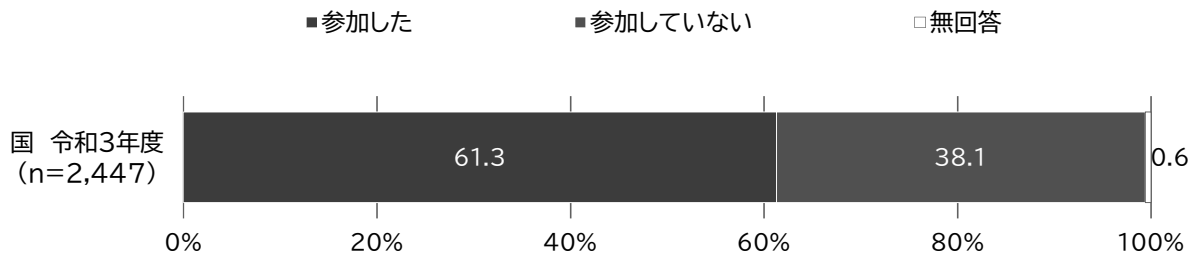
8. 農林漁業体験について

(1) 農林漁業体験への参加（問22）

- 農林漁業体験への参加について、「参加した」の割合は14.4%となっており、国の令和3年度調査と比較すると「参加した」の割合が46.9ポイント低くなっている。
- 「参加した」の割合は、平成29年度調査の「参加した」と「あなたの家族が参加した」を合わせたものと比較すると、44.7ポイント低くなっている。



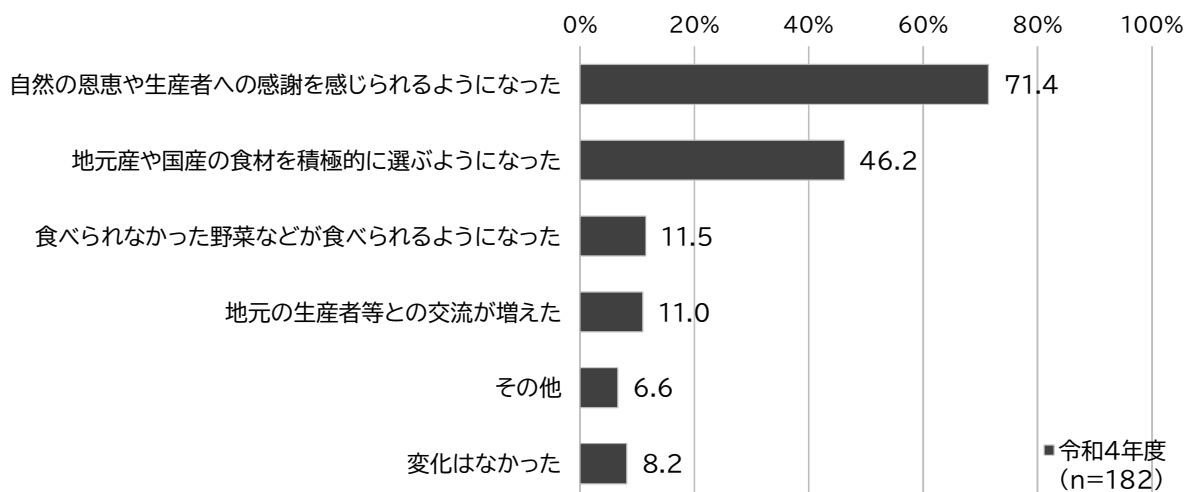
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



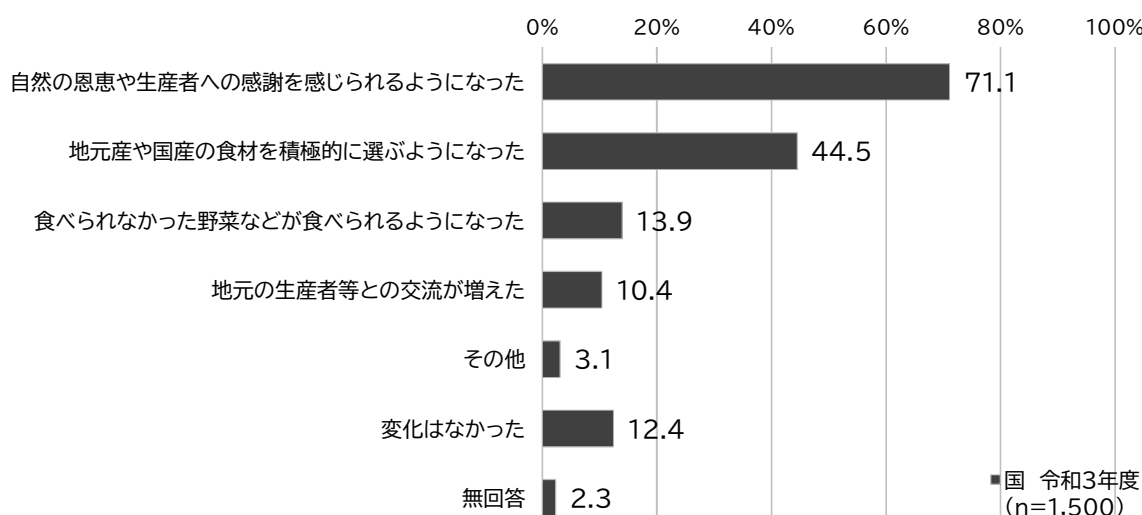
		回答数	参加した	参加していない	わからない	無回答
		(%)				
全体		1,267	14.4	72.0	11.0	2.6
性別	男性	432	14.4	73.8	9.5	2.3
	女性	791	14.4	71.2	11.9	2.5
年代別	20～29歳	114	15.8	63.2	19.3	1.8
	30～39歳	232	19.0	67.2	12.5	1.3
	40～49歳	280	13.2	71.8	13.2	1.8
	50～59歳	237	14.8	73.4	8.4	3.4
	60～69歳	231	12.6	74.5	9.5	3.5
	70歳以上	162	10.5	80.2	5.6	3.7
地域別	那覇	310	11.0	75.8	10.3	2.9
	北部	88	14.8	69.3	14.8	1.1
	中部	457	12.9	72.9	11.8	2.4
	南部	230	17.8	68.7	10.0	3.5
	宮古	43	20.9	67.4	9.3	2.3
	八重山	52	28.8	61.5	9.6	-

(2) 農林漁業体験後の変化（問23）

- 農林漁業体験への参加で、「自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった」の割合は71.4%で最も高くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

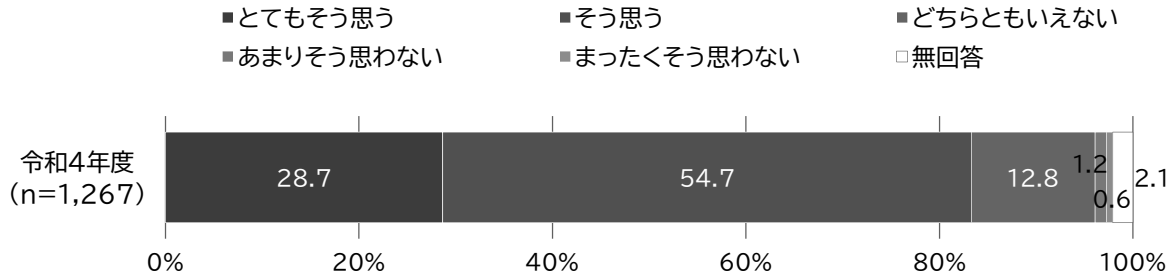


	回答数 (%)	自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった	地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった	食べられなかった野菜などが食べられるようになった	地元の生産者等との交流が増えた	その他	変化はなかった	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	182	71.4	46.2	11.5	11.0	6.6	8.2	
性別	男性	62	74.2	41.9	14.5	16.1	6.5	12.9
	女性	114	71.1	49.1	10.5	8.8	6.1	6.1
年代別	20～29歳	18	72.2	33.3	27.8	11.1	5.6	11.1
	30～39歳	44	72.7	45.5	13.6	13.6	4.5	9.1
	40～49歳	37	75.7	37.8	5.4	5.4	2.7	8.1
	50～59歳	35	62.9	42.9	8.6	11.4	17.1	8.6
	60～69歳	29	72.4	62.1	10.3	10.3	6.9	3.4
	70歳以上	17	70.6	58.8	11.8	11.8	-	11.8
地域別	那覇	34	76.5	29.4	20.6	11.8	5.9	8.8
	北部	13	69.2	46.2	15.4	23.1	-	15.4
	中部	59	64.4	49.2	11.9	6.8	6.8	11.9
	南部	41	80.5	46.3	7.3	17.1	7.3	4.9
	宮古	9	44.4	66.7	11.1	-	22.2	-
	八重山	15	80.0	46.7	6.7	6.7	-	6.7

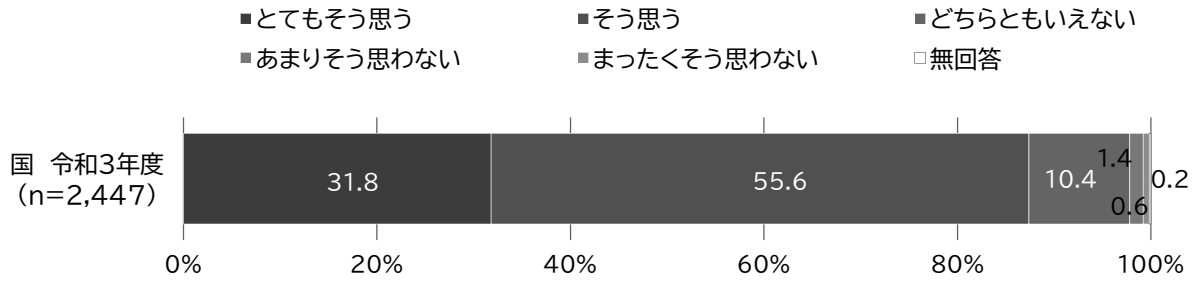
9. 環境への配慮について

(1) 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶことの重要度（問24）

- 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶことの重要度について、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた割合は83.4%となっている。



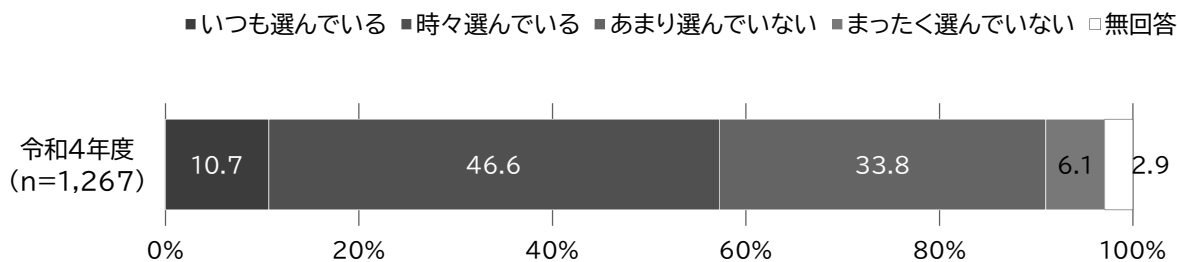
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



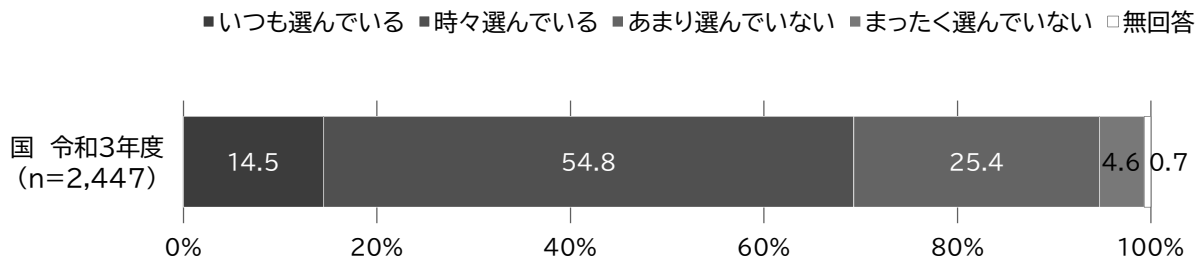
		回答数	とてもそう思う (%)	そう思う (%)	どちらともいえない (%)	あまりそう思わない (%)	まったくそう思わない (%)	無回答 (%)
全体		1,267	28.7	54.7	12.8	1.2	0.6	2.1
性別	男性	432	22.7	59.5	12.5	2.5	0.7	2.1
	女性	791	31.5	52.8	12.5	0.5	0.5	2.1
年代別	20~29歳	114	32.5	50.0	14.0	3.5	-	-
	30~39歳	232	32.8	48.7	15.1	1.3	0.9	1.3
	40~49歳	280	28.6	51.1	16.1	1.1	1.1	2.1
	50~59歳	237	23.2	59.5	12.7	1.3	0.4	3.0
	60~69歳	231	26.4	60.2	9.1	0.9	0.4	3.0
	70歳以上	162	31.5	60.5	5.6	-	-	2.5
地域別	那覇	310	26.8	59.7	9.4	1.6	1.0	1.6
	北部	88	22.7	62.5	11.4	1.1	-	2.3
	中部	457	30.6	49.2	16.4	1.3	0.2	2.2
	南部	230	33.0	51.7	10.9	1.3	0.4	2.6
	宮古	43	30.2	58.1	9.3	-	-	2.3
	八重山	52	28.8	57.7	11.5	-	1.9	-

(2) 環境に配慮した農林水産物・食品の選択（問25）

- 環境に配慮した農林水産物・食品の選択について、「いつも選んでいる」「時々選んでいる」を合わせた割合は57.3%となっている。
- 「いつも選んでいる」「時々選んでいる」を合わせた割合は国の令和3年度調査と比較すると、12.0ポイント低くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

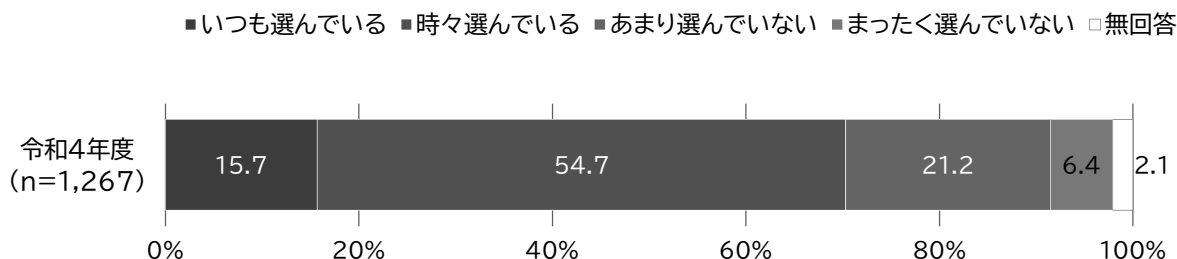


		回答数 (%)	いつも選んで いる	時々選んで いる	あまり選んで いない	まったく選んで いない	無回答
全 体		1,267	10.7	46.6	33.8	6.1	2.9
性 別	男性	432	5.8	45.6	40.0	6.3	2.3
	女性	791	12.8	47.8	30.2	6.1	3.2
年 代 別	20～29歳	114	2.6	43.9	40.4	13.2	-
	30～39歳	232	7.8	40.9	40.1	9.9	1.3
	40～49歳	280	5.0	46.1	38.6	7.1	3.2
	50～59歳	237	10.5	51.5	31.2	3.4	3.4
	60～69歳	231	16.9	48.1	28.6	2.6	3.9
	70歳以上	162	21.0	49.4	22.2	2.5	4.9
地 域 別	那覇	310	12.6	45.8	33.2	5.8	2.6
	北部	88	5.7	48.9	37.5	5.7	2.3
	中部	457	10.9	47.7	33.3	5.5	2.6
	南部	230	9.1	46.5	33.5	6.5	4.3
	宮古	43	11.6	48.8	34.9	2.3	2.3
	八重山	52	7.7	51.9	30.8	9.6	-

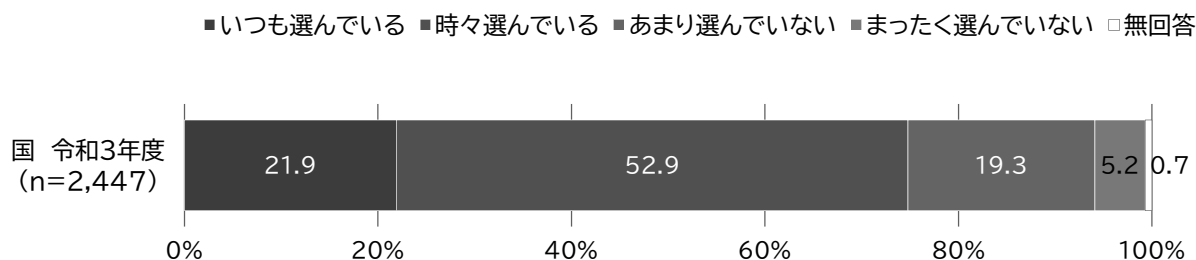
10. 地産地消・産地や生産者の意識について

(1) 山地や生産者を意識した農林水産物・食品の選択（問26）

- 山地や生産者を意識した農林水産物・食品の選択について、「いつも選んでいる」「時々選んでいる」を合わせた割合は70.4%となっている。
- 「いつも選んでいる」「時々選んでいる」を合わせた割合は国の令和3年度調査と比較すると、4.4ポイント低くなっている。



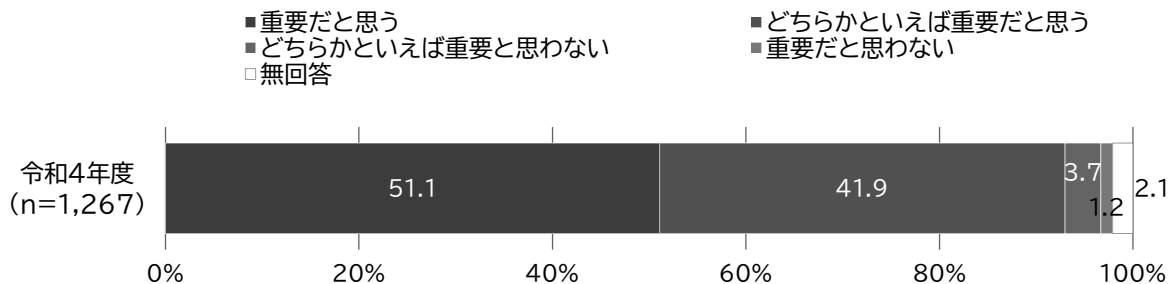
<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査



	回答数 (%)	選択頻度					無回答
		いつも選んでいる	時々選んでいる	あまり選んでいない	まったく選んでいない		
全体	1,267	15.7	54.7	21.2	6.4	2.1	
性別	男性	432	10.6	52.3	26.4	8.6	2.1
	女性	791	18.0	56.8	18.2	5.2	1.9
年代別	20~29歳	114	5.3	52.6	26.3	15.8	-
	30~39歳	232	12.1	53.9	24.1	9.1	0.9
	40~49歳	280	13.9	57.9	20.4	5.4	2.5
	50~59歳	237	16.9	56.5	18.6	5.1	3.0
	60~69歳	231	17.7	54.1	21.2	4.3	2.6
	70歳以上	162	26.5	50.0	18.5	2.5	2.5
地域別	那覇	310	18.7	51.9	22.3	5.5	1.6
	北部	88	11.4	56.8	23.9	6.8	1.1
	中部	457	14.0	55.1	22.5	6.8	1.5
	南部	230	18.7	57.0	16.1	4.8	3.5
	宮古	43	9.3	67.4	11.6	9.3	2.3
	八重山	52	11.5	53.8	25.0	9.6	-

(2) 地元や沖縄県産の食品の使用重要度（問27）

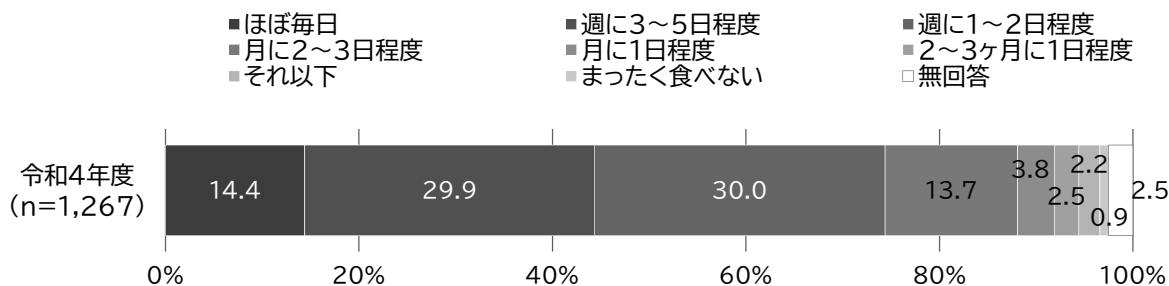
■ 地元や沖縄県産の食品の使用重要度について、「重要だと思う」「どちらかといえば重要だと思う」を合わせた割合は 93.0%となっている。



	回答数 (%)	重要度				
		重要だと思う	どちらかといえ ば重要だと思う	どちらかといえ ば重要と思わ ない	重要だと思わ ない	無回答
全体	1,267	51.1	41.9	3.7	1.2	2.1
性別						
男性	432	47.7	44.2	4.6	1.4	2.1
女性	791	52.7	41.0	3.3	1.0	2.0
年代別						
20~29歳	114	41.2	48.2	8.8	1.8	-
30~39歳	232	48.7	41.4	6.5	2.6	0.9
40~49歳	280	49.6	42.1	5.0	1.1	2.1
50~59歳	237	48.1	46.4	1.7	0.4	3.4
60~69歳	231	55.0	39.8	1.3	0.9	3.0
70歳以上	162	63.6	33.3	-	0.6	2.5
地域別						
那覇	310	53.9	39.7	3.5	1.0	1.9
北部	88	47.7	47.7	3.4	-	1.1
中部	457	50.1	42.2	4.4	1.5	1.8
南部	230	55.2	37.4	3.0	1.3	3.0
宮古	43	44.2	44.2	7.0	2.3	2.3
八重山	52	61.5	34.6	3.8	-	-

(3) 沖縄県産の農林水産物を食べる頻度（問28）

■ 県産食材を食べる頻度について、「週3～5日程度」、「週に1～2日程度」を合わせた割合は59.9%で最も高くなっている。

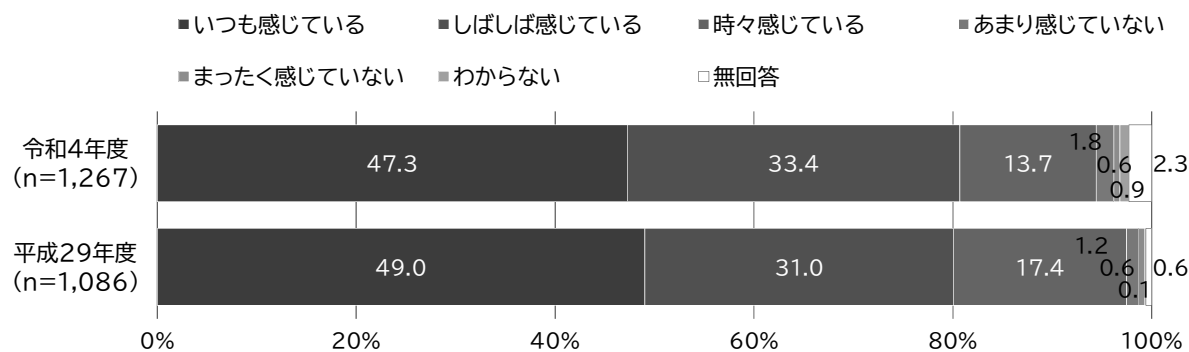


		回答数	ほぼ毎日	週に3～5日程度	週に1～2日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	2～3ヶ月に1日程度	それ以下
全体 (%)		1,267	14.4	29.9	30.0	13.7	3.8	2.5	2.2
性別	男性	432	11.1	26.9	35.6	16.7	2.5	1.2	3.0
	女性	791	15.5	32.2	27.4	12.0	4.3	3.3	1.8
年代別	20～29歳	114	8.8	15.8	32.5	16.7	10.5	6.1	7.0
	30～39歳	232	8.2	27.6	35.8	18.5	2.6	4.3	0.9
	40～49歳	280	15.0	26.8	30.7	16.1	5.0	2.1	1.8
	50～59歳	237	15.6	33.3	27.0	11.8	3.0	2.5	2.1
	60～69歳	231	16.9	33.3	27.7	12.1	2.6	0.9	2.2
	70歳以上	162	20.4	39.5	27.8	4.9	1.2	0.6	1.2
地域別	那覇	310	15.5	31.9	30.0	11.3	3.5	3.2	1.0
	北部	88	12.5	36.4	26.1	13.6	2.3	2.3	3.4
	中部	457	12.9	27.8	30.4	16.2	4.6	2.2	2.6
	南部	230	16.5	28.7	30.4	12.2	3.5	3.0	2.2
	宮古	43	18.6	27.9	25.6	18.6	2.3	2.3	2.3
	八重山	52	11.5	36.5	30.8	7.7	7.7	1.9	3.8
		まったく食べない	無回答						
全体 (%)		0.9	2.5						
性別	男性	0.9	2.1						
	女性	0.8	2.7						
年代別	20～29歳	1.8	0.9						
	30～39歳	0.9	1.3						
	40～49歳	0.4	2.1						
	50～59歳	0.4	4.2						
	60～69歳	1.7	2.6						
	70歳以上	0.6	3.7						
地域別	那覇	1.3	2.3						
	北部	-	3.4						
	中部	1.1	2.2						
	南部	0.4	3.0						
	宮古	-	2.3						
	八重山	-	-						

11. 食品ロスの削減について

(1) 食べ残しや食品の廃棄に関する意識（問29）

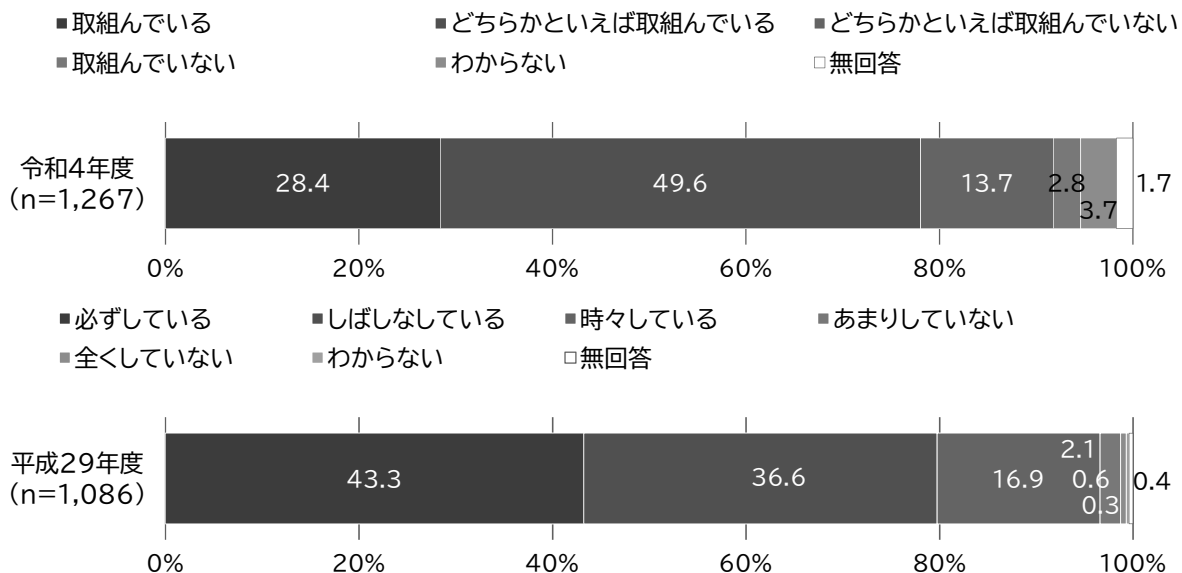
- 食べ残しや食品の廃棄に関する意識について、「いつも感じている」「しばしば感じている」「時々感じている」を合わせた割合は 94.4%で、平成 29 年度調査と比較すると 3.0 ポイント減少している。



		回答数	いつも感じている (%)	しばしば感じている (%)	時々実感じている (%)	あまり感じていない (%)	まったく感じていない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		1,267	47.3	33.4	13.7	1.8	0.6	0.9	2.3
性別	男性	432	43.3	33.3	14.8	3.5	1.2	1.6	2.3
	女性	791	49.7	33.2	12.8	1.0	0.4	0.6	2.3
年代別	20～29歳	114	50.0	30.7	15.8	1.8	0.9	0.9	-
	30～39歳	232	46.1	35.3	14.7	1.7	1.3	-	0.9
	40～49歳	280	45.0	34.6	14.6	2.5	0.4	0.7	2.1
	50～59歳	237	43.9	37.1	11.8	1.7	0.8	1.7	3.0
	60～69歳	231	50.2	30.3	13.0	1.3	0.4	0.9	3.9
	70歳以上	162	53.1	28.4	12.3	1.2	-	1.9	3.1
地域別	那覇	310	46.1	36.5	11.3	2.3	0.6	0.6	2.6
	北部	88	44.3	33.0	18.2	-	2.3	2.3	-
	中部	457	48.6	34.1	12.9	2.0	0.4	0.2	1.8
	南部	230	48.7	28.7	14.8	2.2	0.4	2.6	2.6
	宮古	43	62.8	16.3	18.6	-	-	-	2.3
	八重山	52	55.8	25.0	13.5	1.9	1.9	-	1.9

(2) 食品ロス削減の意識(問30)

■ 食品ロス削減を意識した取組みについて、「取組んでいる」「どちらかといえば取組んでいる」を合わせた割合は78.0%で、平成29年度調査と比較すると1.9ポイント減少している。



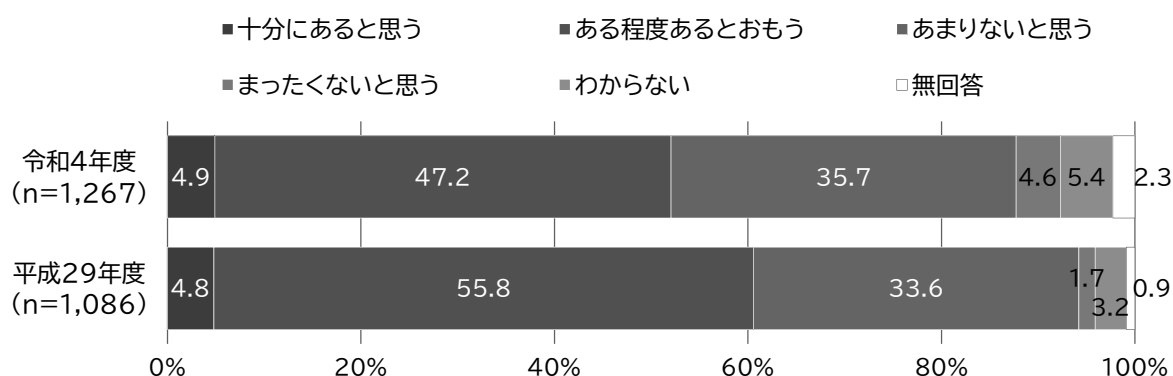
※令和4年度と平成29年度の選択肢の表記は異なる

		回答数 (%)	取組んでいる	どちらかといえ ば取組んでいる	どちらかといえ ば取組んでいな い	取組んでいない	わからない	無回答
全体		1,267	28.4	49.6	13.7	2.8	3.7	1.7
性別	男性	432	28.2	45.4	15.7	3.9	4.6	2.1
	女性	791	28.1	52.5	12.8	2.0	3.2	1.5
年代別	20~29歳	114	28.1	43.9	14.9	7.0	6.1	-
	30~39歳	232	26.3	50.9	15.9	2.6	3.4	0.9
	40~49歳	280	23.6	51.8	16.8	2.1	3.9	1.8
	50~59歳	237	25.3	49.4	16.5	3.8	2.5	2.5
	60~69歳	231	32.5	49.4	9.5	1.7	4.3	2.6
	70歳以上	162	38.9	48.1	6.8	1.9	2.5	1.9
地域別	那覇	310	29.0	50.6	11.6	3.2	3.9	1.6
	北部	88	25.0	53.4	15.9	2.3	3.4	-
	中部	457	28.4	51.4	12.9	2.6	3.1	1.5
	南部	230	28.3	47.0	13.0	3.5	5.7	2.6
	宮古	43	41.9	39.5	16.3	-	-	2.3
	八重山	52	32.7	34.6	28.8	1.9	1.9	-

12. 食品の安全性について

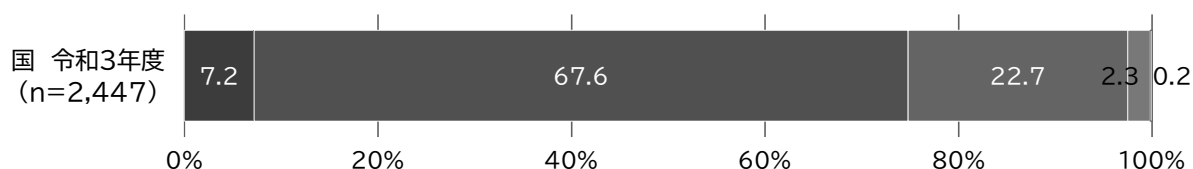
(1) 食品の安全性に関する知識（問31）

- 「十分にあると思う」「ある程度あると思う」を合わせた割合は 52.1%となり、平成 29 年度調査と比較すると、8.5 ポイント低くなっている。
- 「十分にあると思う」と「ある程度あると思う」を合わせた割合は国の令和 3 年度調査と比較すると、は 22.7 ポイント低くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

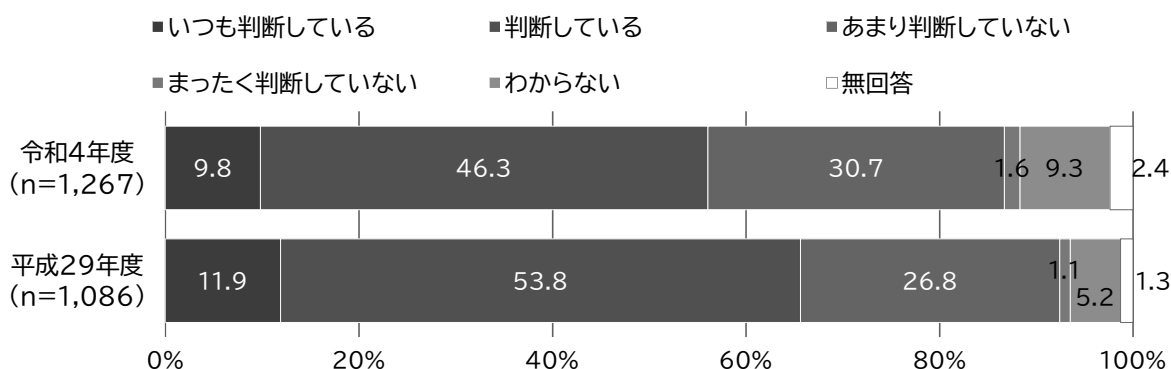
- 十分にあると思う ■ ある程度あるとおもう ■ あまりないと思う ■ まったくないと思う □ 無回答



	回答数	割合 (%)						
		十分にあると思う	ある程度あるとおもう	あまりないと思う	まったくないと思う	わからない	無回答	
全体	1,267	4.9	47.2	35.7	4.6	5.4	2.3	
性別	男性	432	6.0	42.8	36.6	6.5	5.6	2.5
	女性	791	4.0	49.8	35.7	3.4	5.1	2.0
年代別	20～29歳	114	3.5	38.6	42.1	6.1	7.9	1.8
	30～39歳	232	5.6	39.2	43.5	7.3	3.4	0.9
	40～49歳	280	3.9	40.4	43.2	6.4	3.6	2.5
	50～59歳	237	3.8	49.4	34.6	3.8	5.9	2.5
	60～69歳	231	4.3	57.1	26.8	1.7	6.9	3.0
	70歳以上	162	9.3	58.0	22.2	1.9	6.2	2.5
地域別	那覇	310	5.2	47.7	35.5	4.2	4.8	2.6
	北部	88	8.0	42.0	39.8	3.4	6.8	-
	中部	457	5.0	47.5	35.4	4.6	5.5	2.0
	南部	230	4.8	49.1	33.5	3.9	5.7	3.0
	宮古	43	4.7	48.8	37.2	2.3	4.7	2.3
	八重山	52	1.9	50.0	34.6	13.5	-	-

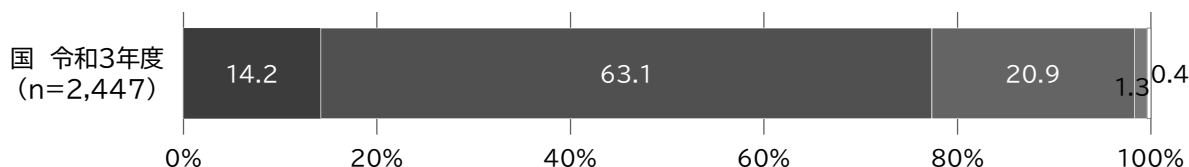
(2) 食品の安全性に関する判断 (問32)

- 「いつも判断している」「判断している」と合わせた割合は 56.1%となり、平成 29 年度調査と比較すると、9.6 ポイント低くなっている。
- 「いつも判断している」と「判断している」を合わせた割合は国の令和 3 年度調査と比較すると、21.2 ポイント低くなっている。



<参考> 国 令和3年度食育に関する意識調査

- いつも判断している ■ 判断している ■ あまり判断していない ■ まったく判断していない □ 無回答



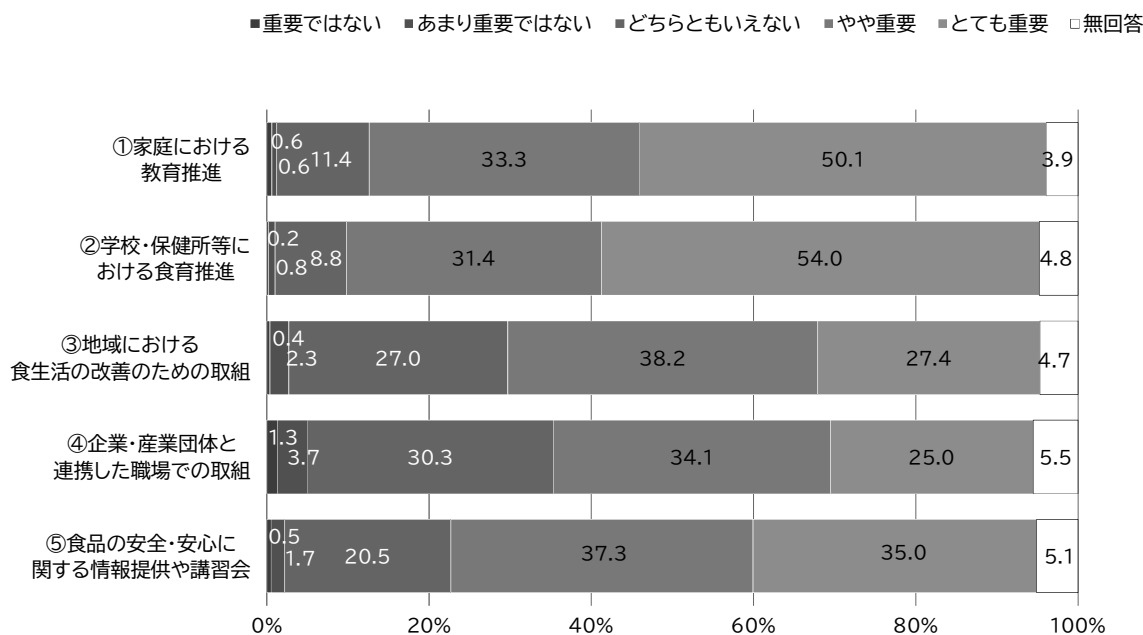
	回答数 (%)	いつも判断している	判断している	あまり判断していない	まったく判断していない	わからない	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	1,267	9.8	46.3	30.7	1.6	9.3	2.4
性別							
男性	432	9.5	43.5	34.7	2.1	7.4	2.8
女性	791	9.6	47.8	28.8	1.1	10.5	2.1
年代別							
20~29歳	114	7.9	40.4	38.6	1.8	11.4	-
30~39歳	232	7.8	44.4	34.9	1.3	10.8	0.9
40~49歳	280	8.2	40.7	35.4	3.2	10.4	2.1
50~59歳	237	8.0	46.8	32.1	0.4	9.7	3.0
60~69歳	231	10.8	54.1	23.4	0.9	6.9	3.9
70歳以上	162	17.3	50.6	20.4	1.9	6.2	3.7
地域別							
那覇	310	10.3	47.7	30.0	1.0	8.7	2.3
北部	88	12.5	35.2	38.6	2.3	10.2	1.1
中部	457	10.7	46.4	30.0	2.0	8.8	2.2
南部	230	8.3	50.4	26.1	1.7	10.9	2.6
宮古	43	2.3	65.1	25.6	-	4.7	2.3
八重山	52	7.7	40.4	34.6	1.9	13.5	1.9

13. 県の食育促進の施策について

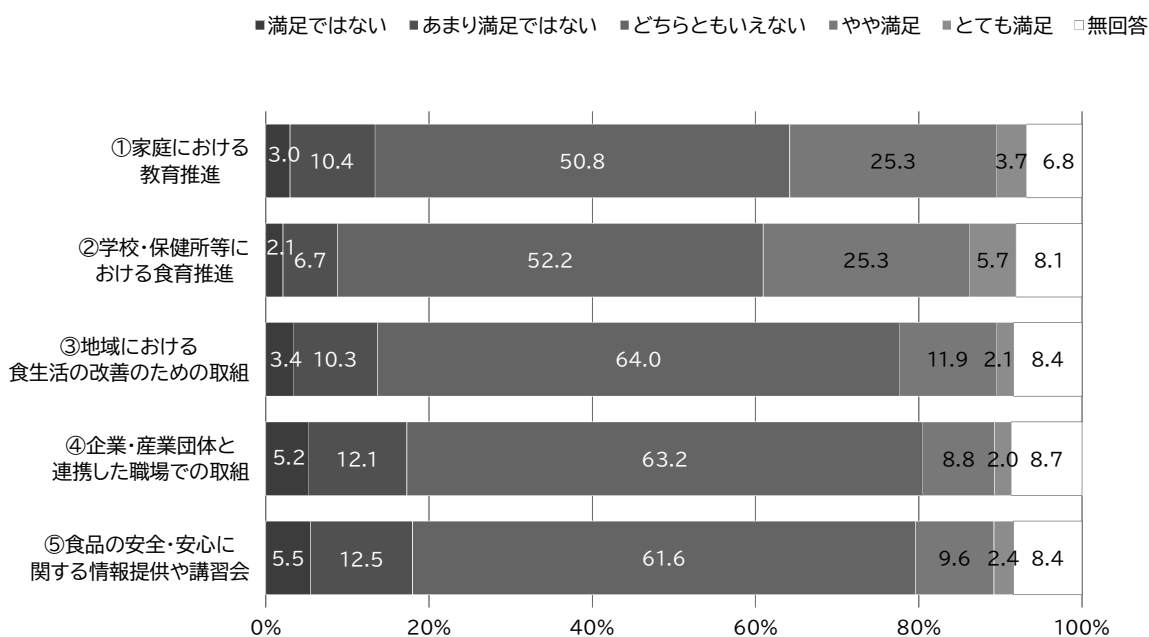
(1) 食育推進に関する重要度・満足度（問33）

- 食育推進に関して、「学校・保健所等における食育推進」の重要度が最も高く、「とても重要」「やや重要」を合わせた割合は85.4%となっている。
- 食育推進に関する全項目で「とても重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっているが、満足度では、「どちらともいえない」が最も高くなっている。

重要度



満足度



<重要度>①家庭における教育推進

(%)	回答数	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要	とても重要	無回答
全体	1,267	0.6	0.6	11.4	33.3	50.1	3.9
性別							
男性	432	0.7	0.9	14.8	35.4	44.9	3.2
女性	791	0.4	0.4	9.5	32.9	53.4	3.5
年代別							
20~29歳	114	0.9	-	10.5	39.5	49.1	-
30~39歳	232	0.9	1.3	10.8	33.2	52.2	1.7
40~49歳	280	-	0.7	11.4	36.1	50.0	1.8
50~59歳	237	1.3	-	10.1	31.6	53.2	3.8
60~69歳	231	-	0.9	13.0	31.2	49.8	5.2
70歳以上	162	0.6	-	13.0	30.9	45.7	9.9
地域別							
那覇	310	0.6	0.3	11.0	31.6	54.2	2.3
北部	88	-	-	12.5	31.8	52.3	3.4
中部	457	0.7	1.1	12.5	35.2	47.5	3.1
南部	230	0.4	0.9	10.4	30.4	54.8	3.0
宮古	43	-	-	11.6	30.2	53.5	4.7
八重山	52	1.9	-	7.7	36.5	50.0	3.8

<重要度>②学校・保健所等における食育推進

(%)	回答数	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要	とても重要	無回答
全体	1,267	0.2	0.8	8.8	31.4	54.0	4.8
性別							
男性	432	0.2	1.9	10.6	31.9	50.7	4.6
女性	791	0.1	0.3	7.7	31.4	56.6	3.9
年代別							
20~29歳	114	0.9	1.8	6.1	27.2	64.0	-
30~39歳	232	-	1.7	10.8	30.2	55.2	2.2
40~49歳	280	-	0.7	8.2	34.6	54.6	1.8
50~59歳	237	0.4	-	10.1	34.6	50.6	4.2
60~69歳	231	-	0.4	8.2	29.4	55.4	6.5
70歳以上	162	-	0.6	7.4	29.6	48.8	13.6
地域別							
那覇	310	-	1.3	6.8	31.9	57.1	2.9
北部	88	-	1.1	6.8	39.8	48.9	3.4
中部	457	0.2	0.7	10.1	30.4	54.9	3.7
南部	230	-	0.4	8.7	29.1	57.4	4.3
宮古	43	-	-	4.7	39.5	48.8	7.0
八重山	52	1.9	-	11.5	36.5	44.2	5.8

<重要度>③地域における食生活の改善のための取組

(%)	回答数	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要	とても重要	無回答
全体	1,267	0.4	2.3	27.0	38.2	27.4	4.7
性別							
男性	432	0.5	2.3	29.9	39.1	23.8	4.4
女性	791	0.4	2.3	25.3	38.4	29.7	3.9
年代別							
20~29歳	114	0.9	1.8	16.7	42.1	38.6	-
30~39歳	232	0.4	2.6	26.3	39.2	29.3	2.2
40~49歳	280	0.4	2.9	30.0	40.4	25.0	1.4
50~59歳	237	0.4	2.5	32.1	37.6	23.2	4.2
60~69歳	231	0.4	2.6	25.1	36.8	29.0	6.1
70歳以上	162	-	-	25.3	34.6	25.9	14.2
地域別							
那覇	310	0.3	1.9	29.7	38.1	27.1	2.9
北部	88	1.1	1.1	31.8	33.0	27.3	5.7
中部	457	0.2	2.4	25.2	40.7	28.0	3.5
南部	230	-	2.6	25.7	38.7	28.7	4.3
宮古	43	-	4.7	32.6	30.2	25.6	7.0
八重山	52	1.9	-	21.2	42.3	30.8	3.8

<重要度>④企業・産業団体と連携した職場での取組

(%)	回答数	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要	とても重要	無回答
全体	1,267	1.3	3.7	30.3	34.1	25.0	5.5
性別							
男性	432	1.6	5.1	30.3	34.5	23.8	4.6
女性	791	1.3	2.9	30.5	34.4	26.0	4.9
年代別							
20~29歳	114	0.9	3.5	16.7	41.2	37.7	-
30~39歳	232	1.3	1.7	30.6	35.3	28.9	2.2
40~49歳	280	2.1	5.4	32.5	33.9	24.3	1.8
50~59歳	237	1.7	3.4	33.3	37.1	19.8	4.6
60~69歳	231	1.3	4.3	31.2	31.2	25.1	6.9
70歳以上	162	-	3.1	30.9	27.8	20.4	17.9
地域別							
那覇	310	0.6	3.5	30.6	36.1	25.2	3.9
北部	88	3.4	3.4	31.8	34.1	20.5	6.8
中部	457	1.5	4.4	29.3	33.9	26.9	3.9
南部	230	1.3	3.0	28.3	36.1	27.0	4.3
宮古	43	-	4.7	27.9	32.6	25.6	9.3
八重山	52	1.9	3.8	38.5	26.9	23.1	5.8

<重要度>⑤食品の安全・安心に関する情報提供や講習会

(%)	回答数	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要	とても重要	無回答
全体	1,267	0.5	1.7	20.5	37.3	35.0	5.1
性別							
男性	432	0.5	2.3	24.5	38.2	30.1	4.4
女性	791	0.5	1.1	18.8	37.4	37.5	4.6
年代別							
20～29歳	114	0.9	1.8	17.5	39.5	40.4	-
30～39歳	232	0.4	1.7	24.6	38.4	32.8	2.2
40～49歳	280	0.7	2.1	21.1	42.1	32.1	1.8
50～59歳	237	0.4	1.3	23.2	38.4	32.1	4.6
60～69歳	231	0.4	1.7	17.7	35.5	38.5	6.1
70歳以上	162	-	-	16.7	28.4	38.9	16.0
地域別							
那覇	310	-	1.6	20.3	41.9	32.6	3.5
北部	88	-	2.3	23.9	39.8	29.5	4.5
中部	457	0.9	1.3	20.6	35.7	37.6	3.9
南部	230	0.4	2.2	20.0	33.5	39.6	4.3
宮古	43	-	-	14.0	46.5	32.6	7.0
八重山	52	1.9	3.8	15.4	36.5	36.5	5.8

<満足度>①家庭における教育推進

(%)	回答数	満足ではない	あまり満足ではない	どちらともいえない	やや満足	とても満足	無回答
全体	1,267	3.0	10.4	50.8	25.3	3.7	6.8
性別							
男性	432	2.3	11.1	53.2	24.3	3.5	5.6
女性	791	3.0	10.4	50.6	25.8	3.9	6.3
年代別							
20～29歳	114	2.6	12.3	50.0	24.6	7.0	3.5
30～39歳	232	3.0	13.4	50.0	24.1	6.0	3.4
40～49歳	280	3.2	13.9	51.4	25.4	2.9	3.2
50～59歳	237	3.0	11.8	50.2	26.6	3.0	5.5
60～69歳	231	2.2	5.6	56.7	22.9	2.6	10.0
70歳以上	162	4.3	4.3	45.7	27.8	2.5	15.4
地域別							
那覇	310	1.9	10.3	55.2	24.8	2.6	5.2
北部	88	5.7	6.8	54.5	17.0	8.0	8.0
中部	457	2.2	10.5	51.0	26.9	4.4	5.0
南部	230	4.8	11.7	47.4	27.4	3.0	5.7
宮古	43	7.0	7.0	51.2	14.0	7.0	14.0
八重山	52	3.8	21.2	36.5	32.7	-	5.8

<満足度>②学校・保健所等における食育推進

(%)	回答数	満足ではない	あまり満足ではない	どちらともいえない	やや満足	とても満足	無回答
全体	1,267	2.1	6.7	52.2	25.3	5.7	8.1
性別							
男性	432	2.1	8.1	56.7	21.8	4.6	6.7
女性	791	2.0	6.2	50.3	27.6	6.3	7.6
年代別							
20～29歳	114	-	8.8	55.3	23.7	8.8	3.5
30～39歳	232	4.7	9.5	48.3	26.3	6.9	4.3
40～49歳	280	1.4	6.4	47.1	33.2	8.6	3.2
50～59歳	237	1.7	7.6	58.6	22.8	2.5	6.8
60～69歳	231	2.2	4.8	57.1	22.1	3.0	10.8
70歳以上	162	1.2	3.7	49.4	19.8	4.3	21.6
地域別							
那覇	310	1.3	6.8	56.8	25.2	3.9	6.1
北部	88	2.3	5.7	52.3	23.9	8.0	8.0
中部	457	1.8	6.1	52.5	25.6	7.2	6.8
南部	230	2.2	7.0	48.3	31.7	3.9	7.0
宮古	43	4.7	14.0	44.2	14.0	7.0	16.3
八重山	52	3.8	11.5	55.8	19.2	3.8	5.8

<満足度>③地域における食生活の改善のための取組

(%)	回答数	満足ではない	あまり満足ではない	どちらともいえない	やや満足	とても満足	無回答
全体	1,267	3.4	10.3	64.0	11.9	2.1	8.4
性別							
男性	432	3.2	13.4	62.7	12.0	1.6	6.9
女性	791	3.7	8.5	65.6	12.1	2.3	7.8
年代別							
20～29歳	114	3.5	10.5	64.9	15.8	1.8	3.5
30～39歳	232	6.0	12.1	60.8	14.2	2.6	4.3
40～49歳	280	3.2	8.9	67.9	14.6	2.1	3.2
50～59歳	237	3.0	11.4	68.8	7.6	2.1	7.2
60～69歳	231	2.6	11.7	63.6	9.1	1.7	11.3
70歳以上	162	1.9	6.8	56.2	11.1	1.9	22.2
地域別							
那覇	310	3.2	9.4	70.6	10.0	0.6	6.1
北部	88	5.7	9.1	60.2	12.5	3.4	9.1
中部	457	2.4	10.7	63.0	13.8	2.8	7.2
南部	230	3.5	11.3	62.2	13.9	2.2	7.0
宮古	43	9.3	14.0	55.8	4.7	-	16.3
八重山	52	5.8	15.4	61.5	9.6	-	7.7

<満足度>④企業・産業団体と連携した職場での取組

	(%)	回答数	満足ではない	あまり満足ではない	どちらともいえない	やや満足	とても満足	無回答
全体		1,267	5.2	12.1	63.2	8.8	2.0	8.7
性別								
男性		432	6.5	15.0	61.1	8.8	1.6	6.9
女性		791	4.7	10.5	65.2	9.1	2.1	8.3
年代別								
20～29歳		114	4.4	13.2	63.2	14.0	1.8	3.5
30～39歳		232	6.9	16.4	57.8	12.5	2.2	4.3
40～49歳		280	4.6	12.5	69.3	8.9	1.4	3.2
50～59歳		237	6.3	9.3	70.9	4.2	2.1	7.2
60～69歳		231	4.8	12.1	62.3	6.5	2.2	12.1
70歳以上		162	3.1	8.6	52.5	9.9	2.5	23.5
地域別								
那覇		310	4.2	12.9	67.1	7.7	1.0	7.1
北部		88	6.8	10.2	56.8	14.8	1.1	10.2
中部		457	5.3	12.7	63.2	8.8	3.1	7.0
南部		230	5.2	12.2	62.6	10.4	2.6	7.0
宮古		43	9.3	11.6	55.8	7.0	-	16.3
八重山		52	7.7	15.4	63.5	5.8	-	7.7

<満足度>⑤食品の安全・安心に関する情報提供や講習会

	(%)	回答数	満足ではない	あまり満足ではない	どちらともいえない	やや満足	とても満足	無回答
全体		1,267	5.5	12.5	61.6	9.6	2.4	8.4
性別								
男性		432	5.8	13.7	62.3	10.0	1.6	6.7
女性		791	5.6	11.6	62.5	9.4	2.9	8.1
年代別								
20～29歳		114	5.3	11.4	64.0	14.0	1.8	3.5
30～39歳		232	6.9	18.5	58.2	9.5	2.6	4.3
40～49歳		280	5.7	11.8	63.9	12.1	2.1	4.3
50～59歳		237	6.8	11.0	68.4	5.1	1.7	7.2
60～69歳		231	4.3	10.8	63.6	7.8	3.0	10.4
70歳以上		162	2.5	9.9	50.6	11.1	3.7	22.2
地域別								
那覇		310	3.9	15.5	64.8	7.7	1.0	7.1
北部		88	5.7	10.2	63.6	10.2	1.1	9.1
中部		457	4.8	12.7	61.1	10.9	4.2	6.3
南部		230	8.7	9.1	62.2	10.0	3.0	7.0
宮古		43	7.0	18.6	51.2	7.0	-	16.3
八重山		52	9.6	19.2	55.8	7.7	-	7.7

14. 自由意見

(1) 沖縄県の食育の取組みに関するご意見・ご要望（問37）

NO.	性別	年代	意見
1	男性	20代	家庭環境もありますが、子どもなどは家族と食卓を囲むだけでなく、友達、地域の方達との食事もある環境を整えてあげる事で、食への楽しみも増えていくと思います。コミュニティの増設、手作り料理の増設を図り、コンビニ、スーパーとは違う、食の味も、伝える事が大切だと考えます。まずは、子ども達への配慮が今後の未来への繋がりになると思います。
2	男性	20代	スーパーやコンビニ等で地元の野菜やお肉などメインに販売できたら価格もなるべくおさえられて、とても良いですね。
3	女性	20代	自分は沖縄調理師専門学校で沖縄の郷土料理について学んでいた事があります。皆もよく知っているサーターアンダギーや中味汁、沖縄の本当の正月料理やウミヘビなど他では見たり食べたりできないものを学びました。本当はそういった料理をスーパーや食堂などで提供することができれば、もっと沖縄の食文化、食育に貢献できるのでは？とこのアンケートを通して感じました。よくみんなに言ってるのは「ウミヘビ？薬膳みたいでおいしかったよ」です。
4	女性	20代	食育に関する事は、小学校の頃からよく聞かされていましたが、正直、朝食をとる時間や用意する事が難しく、とれたとしても1週間に1回～2回あるかないか程度です。今の子ども達も食欲があまりないor偏食が多いように思えます。朝は時間がない、用意しても食べてくれないのが現実な気がします。カロリーメイトやゼリー飲料では、ダメなのかな？とふと思います。(個人的なイメージですが…)誰でも簡単に、そして栄養が少しでも摂れるレシピなど学校や本を通してけると少しはよくなるのかな？と思ったりしています。できるだけ実践してみたいです。
5	男性	20代	学校では取り組んでいても、社会では浸透していないと感じる。
6	女性	20代	お仕事の際はコンビニなどの弁当は買わず、できる限り自炊を心がけています。
7	女性	20代	特にありませんがこのアンケートが届いて、食育の取組みについて考えてみようと思いました。
8	女性	20代	講演会等あれば参加してみたいです。また、沖縄の郷土料理を作ってみたいのでレシピとかあればみてみたい。
9	男性	20代	理想的な献立や料理の調理法など、もっと目につく場所に積極的に掲示して頂けると、日々の食育の参考になるので大変ありがたいです。
10	男性	20代	日本、沖縄、添加物に防腐剤など身体に悪いものばかりで苦しいです！食育の取組みを向上させたいならまぜものを少なくすることからよろしくをお願いします。
11	女性	20代	小学生(たぶん5年生)のときの書道の課題が「食育」でした。
12	女性	20代	問36に関して、コロナ予防のため両親とは一緒に食事を取らないようにしています。
13	女性	20代	食を大事にし、食べ物に感謝をし、栄養のあるバランス等を取り組む。
14	男性	20代	講話や授業等も必要だが、一番は見て触れることが一番理解度が高まるし、脳の発達にもいいので児童個人参加型、児童グループ(友達同士)参加型、親子参加型など様々な参加方法及び募集方法でスタンプラリーやウォークラリー体験会等のイベントを行った方がいいと思う。屋内、屋外や賞品(子供が喜ぶものと親等が喜ぶものがあればよし)等、工夫して行うことで積極的な参加が見込めれると思う。
15	女性	20代	沖縄県が取り組んでいる食育が分からないです。大学生に向けた食育活動をおねがいしたい。生活習慣の乱れで、健康的な食事が摂れていない気がします。
16	女性	20代	小学生(～高校)をみていると、朝食を抜いている子が多く感じます。食べていてもパンやおにぎり等…成長期でもあるので、朝食の大切さを子供だけでなく親にも知ってもらうことが大切なのかなと思います。残食をしないことも大事ではありますが、それぞれ食べられる量もあるので、個々に合う給食量の提供も重要だと考えてます。近年給食センターが増え、配食の学校が多くなり、実際に調理現場がみれなくなっています。もっと興味をもってもらう為、作っているようすをビデオや見学をして子供達にみってもらうのもいいのかなと思います。
17	女性	20代	給食を充実させて、できればもう少しゆっくり食べさせてほしい。学校での貴重な食育の場なのに、「とりあえず間に合うように食べる」というふうになっているのがもったいないように思う。
18	女性	20代	最近発見した「ツルムラサキ」もっと皆に知ってもらいたいのもっと宣伝してほしい。
19	男性	20代	この、アンケートも良いですが一番は、施設にいったる子供にアンケートが必要だと思います。
20	女性	20代	大人でも分かりやすい食育の勉強会などの機会があったら参加してみたいと思います。
21	女性	20代	貧困家庭で十分な食事が摂れない問題などにもっと力を注いで欲しいと思います。
22	女性	20代	各地域のマルシェなどで、地域の食材や飲食店を知ることができるイベントやってるのは聞くことがありますが、開催後にしか知ることができなかつたりするので情報をもっと発信されているといいなと思う。また、子供たちがそれを通して食べ物・食事に対して興味を持てるイベントが増えるといいです。
23	男性	20代	行政と地域企業の協力で盛り上げてほしい。行政側から働きかけてくれると企業も動きやすい。その際双方にメリットがあるような活動につながると地域経済も盛り上がると思う。行政には収益など営利の意識を持った組織、人物を企業には公的性を意識した考えで動ける人物を担当にできると食育への取り組みも継続的にいけると強く感じています。
24	男性	20代	食事の栄養バランスを意識してから、(運動もしているのではっきりはわかりませんが)心身の調子が良くなった気がします。食育増進頑張ってください。

NO.	性別	年代	意見
25	男性	20代	私は今大学4年で小学校教諭を目指しているものなのですが、食育と言ってもこれといって行いなさいという資料などはあまりない気がして、私自身は食育を大事にしたいと思うので、もう少し小学生にも分かりやすく伝えることが出来る資料、取り組みなどがあればいいと思います。
26	男性	20代	大人になるとなかなかそういった機会に取り組みめる時間や費用があまり無いので、ぜひ子ども達にはもっと学んでほしい。
27	男性	20代	野菜等の値段が高いため、買い控えてしまう傾向があります。
28	女性	20代	給食を通して郷土料理や食材に関する知識を得られる機会を増やして欲しい。 栄養バランスはもちろんですが、金銭的負担がかからず便利に添加物や農薬に頼らない食の文化を広めたらまた沖縄県の健康、長寿が上がるのではないかと思います。食品ロスがたくさんある一方、貧困家庭や子供の貧困、ホームレスなどの経済的弱者がコロナ渦のなかでもかなり増加していると思います。せっかく収穫出来たのに品質的には問題ないが見た目などの理由からお店に出せない食品や各スーパーや飲食店で賞味期限が迫った食品を回収し、経済的弱者に届ける事業を県で行ってほしい。また、そういった食品を集めて安く販売するイベントやバザールなどを週末などに開催するのもかなり助かりますし、食育認知度アップにも繋がるのではないかと思います。
29	女性	20代	特に沖縄の将来を担う子供たちには特に、健康的な食事で発育+脳の働きを活性化させることが大事だと思うので持ちの親に対する食育は徹底すべきだと思います。また、親がご飯を作ってくれなかったり、貧困で栄養バランスを考えた食事が作れない家庭やその子供にもどうにか救済措置があればと思います。
30	女性	20代	特に沖縄の将来を担う子供たちには特に、健康的な食事で発育+脳の働きを活性化させることが大事だと思うので持ちの親に対する食育は徹底すべきだと思います。また、親がご飯を作ってくれなかったり、貧困で栄養バランスを考えた食事が作れない家庭やその子供にもどうにか救済措置があればと思います。
31	男性	30代	地産地消への取り組みを宜しくお願いします。パンは無駄な経費です。それにお金をかけるのなら他に使って下さい。
32	女性	30代	学校給食の時間に「黙食」というのをやっているのと娘から聞きました。コロナ禍では難しいと思いますが、本来、食事は楽しく食べることだと思います。子どもたちには、食事は楽しんで食べることが出来るような指導に変えてほしいです。
33	女性	30代	取り戻せ！！健康長寿沖縄！！このアンケートが来てまた食育について考えるきっかけになりました。ありがとうございます。
34	男性	30代	食料食材をもっとPRすべき。
35	女性	30代	私自身、沖縄の郷土料理があまり好きではなく関心がありません。もう少し、関心が持てる様なイベント等が近くであれば参加して関心が持てるのではと思います。
36	女性	30代	親の食育へのこだわりが子供にも影響を与えると思う。一日一食は必ず家族皆で食事をとることの大切さを家庭でも学校教育でも子供達に指導することを希望します。一人親の多い沖縄県には大きな課題といえるでしょう。
37	女性	30代	県産食材を給食だけではなく、家庭で取り入れやすい運動をしてほしい。給食に頼りすぎている。家庭での取り組みが大事だと思います。給食、家庭の連携をとり、自分の体について考えていく機会を増やしていきたい。
38	女性	30代	米・めん類・パン等の炭水化物や、ファストフードは安く、肉・魚・野菜類の価格が高い状況のままでは、県民の食育は離れていくと思います。漁業・畜産・農業生産者さんの所得を底上げ、安定させる→国内生産量を増やす。→今よりも安い価格で国民の食卓にならぶようにする。多少、頑張ってもこの循環にしていけないと海外に頼る一方だと思います。ただ、この循環を作る中身を考えるのは政治家さんのお仕事ですので国会で眠ってる政治家はスリッパで叩き起こしたいです。
39	男性	30代	移住者に対して、何か教えてもらえる場があれば、もう少し地元の方とつながりができるかなと思います。
40	男性	30代	学校給食で生産者について学んだりフードロスについてもっと知る機会があるといい。給食の残りが未だに多いのが気になる。こども食堂や、困窮している方(子供に限らず)に渡せたり提供できないかと思う。
41	男性	30代	ちゃんとした栄養バランスを取りながら食事をしたいです。
42	女性	30代	「太っている=悪」という考え方にならないように気をつけて欲しい。やせていても内臓脂肪すごい人もいるし、逆に大柄な人でも健康体な人もいるので、見た目へのマイナスイメージがつかないようにして欲しい。沖縄の食育について「昔は長寿1位から今は…」や「肥満県沖縄」など、入り方からネガティブなのでポジティブな入り方にして欲しい。現状のマイナスな面はもちろん伝えないといけない事なのですが、これだと、食育受ける側はネガティブな状態から食育スタートになるので、身につくにくいと思います。将来なりたい仕事や今あこがれている人をイメージしてもらって、そうなる為には健康な体づくりが必要→どうするのか？の入り方だとポジティブな状態からスタートできるし、自分の事として考えやすくなるかと思えます。例えですが…。自分の1日の献立を考えて、実際に作って食べる…みたいな事が体験できると、大人になってからも役立つと思います。
43	女性	30代	食生活学習教材「くわっち～さびら」を子供が持ってきていましたが、とても読みやすく、子供と一緒に考えるいいきっかけになり感謝しています。食事に気を使ったり、食育を含めた食事時間にしようとする、お金も時間も労力もかかってしまうのが現実です。学校行事のついでに、子供と生産者の話が聞けるイベント(マルシェや試食会など)があったら参加しやすいです。職場で食育について学べる、コツを教えてくださいといったコンテンツもあるとお母さんたちは効率的で助かるのではないのでしょうか？
44	女性	30代	沖縄のにんじんシリシリは色々な所でレシピを見かけるが他の沖縄でよく食べられる料理のレシピは目にする機会が市販の本以外であまり見かけないので、お盆や清明祭で買ってくる料理をリメイクする方法(コンブイリチーにする等)、をインターネット等で県が発信してくれたら便利になる。動画より文字と写真がいい。

NO.	性別	年代	意見
45	男性	30代	平等に食育を学ぶ機会が与えられている義務教育期間中に食育の取組みを推進することで、幼少期から食の重要性や楽しさを学ぶことができると思う。
46	女性	30代	農林水産物・食品の作り手の説明など、学校の授業等で考える時間を増やす。
47	女性	30代	親子で食育→クッキングなど。に参加する機会がほしい(できれば授業参観などで)。
48	女性	30代	色々な食育の取組みをされているみたいですが、私自身まだ現地へ行って目で見ていないので、どういう取組みをされているのかを見てみたいと思いました！「感想と今後の気持ち」。
49	男性	30代	こども食堂してるので、廃棄する物はもらいたい。協力してくれる所があればおしえてほしい。
50	男性	30代	地産地消の推進、郷土料理の継承は沖縄の観光産業にとっても重要。引き続き取り組んでください！
51	女性	30代	共働きなので、朝も時間がない中ご飯を作っていますが、子供が1歳半なので食べむらがあったりしてうまく食べさせられず心配です。県産の食材を使った簡単な朝食メニューが知りたいです。冷凍食品も最近から使うようになったので、県産の野菜も冷凍食品であれば安心して利用できると思います。
52	女性	30代	県産物、国産物は高く買えない。沖縄は、他県と比べて、食品高いと思う。
53	男性	30代	大阪から引越しをしてきましたが、野菜がとても、金額が高い。県民性なのか？お弁当を買う人が多い。てんがらは、沖縄県は、独特だと思う。てんがらというよりフランクフルトみたいで驚いた。沖縄は食文化が、進んでいない…という味が全て、油っぽい。そして、あまり味がしない。なぜだろう？すみません。(これは、県外から来た人がほとんど口にする言葉。)
54	女性	30代	野菜が高いから、安い物しか買わないので、バランスの取れた食事ができない。
55	女性	30代	学校給食のメニューから学ぶ事が多く、郷土料理をもっと作りたいと思います。
56	男性	30代	個人としての取り組みは、厳しい。簡単(時短)な食物で済ませがち。病気になって気づく人が多い(病院で指導する方が良いかも)。
57	女性	30代	学校現場は「〇〇教育」が多く、多忙なため食育を充分に行えるとはいえないと思う。かと言って、家庭の教育力や食育に対する意識には差があるので、地域が主体となって取り組むのが理想と考えます。実際に食べたり、体験できる五感が生かされる取組であると良いと思います。
58	女性	30代	子供達が学校で習っている、赤・黄・緑の食事は、私が毎日チェックを受けています(笑)家でもおしえてるつもりではありますが、学校で習ってくるのでは全然ちがうのでとても助かります。あと、給食でも県産品を使用しているメニューもあるので、それもちがいます。子供から、「給食とお菓子しか食べない。って言う友達がいる」というのを聞いた事があります。子ども食堂の事を伝えてみたのですが、行きにくいとの事。もっと身近にご飯が食べれる様にできたらな、と感じます。
59	男性	30代	食事で補えない部分をサプリメントで補うのも普通になってきているが、どのサプリが良い悪いというのがあれば勉強したい。
60	女性	30代	学校給食等も地産地消を取り入れたり、無農薬野菜や食品を使用する事を積極的に取り組んで頂きたいです。また添加物等の見直し、生ゴミの肥料化への働きかけを各市町村や県で体験ブース、説明会等を設けて欲しいです。種作りの重要性。(県産の植物・野菜の種の販売や作成、貯蔵)。みつばち育て。(会社ビルの屋上等の、みつばち箱設置)。
61	男性	30代	沖縄の食材、たとえば海藻のアーサやにがうりなど、どんどん食べた方がいいと思う。沖縄の食材はすごく体にいいと思う。
62	女性	30代	食品添加物の危険性など周知した方がいいと思う。エナジードリンクの危険性も気になります。
63	女性	30代	この間、子どもが糸満へ芋堀り遠足へ行ってきました。自ら掘った大きなお芋、家族にも分けて“自分が取ってきたんだよ”と嬉しそう。天ぷらにすると美味しいね！と笑顔あり。畑からとる→自分で調理する→食す。食に興味を持ちやすい、野菜ってこうやって生えてるんだ！などの気付きも良いですね。もっと小さな頃から土に触れ泥んこになりながら農業にふれ、地産地消の関わりを持たせたいですね。こういう取りくみがあれば、是非参加したいです！那覇は建物ばかりで土がない…。
64	女性	30代	農業体験など、取組みを知る機会が少なく、参加することが出来ていない。WEB上だけでなく、日頃よく目にするのが簡単にできるようにしてほしい→スーパーやコンビニなどに掲示するなど。
65	女性	30代	食育の大切さを子どもでも理解しやすいような漫画やアニメなどあれば活用したいです。料理教室などへ参加したくてもできないことも多いので家庭でも親子クッキングが楽しめるような食材セット、クッキングアイテム等あれば配布もしくは貸し出しがあれば嬉しいです。
66	女性	30代	黒糖などの教育プログラムも入れてほしい。白糖とのちがいなど。黒糖になじみのない学生さんが増えている。
67	女性	30代	「みんなで食べたらいいね」と育てられました。「孤食」の子が少しでも減って、楽しく食べられたらいいなと思います。
68	男性	30代	急性期病院で働いていましたが、働きざかりの方の生活習慣から関連する、疾患により命を落とされる方が多い現状を目の当たりにしました。日本、沖縄県は特に運動習慣がないこともそうですが、食主のベースとなるPFCバランスもほとんどしらずただ「健康に良さそうだから」「適当でいいや」などの理由で食生活を送っていると思います。知らないからこそできないのは当たり前なので、学校教育から大切さを伝えていくこと、地域イベントで他の企業と一緒にまつりみたいに行ったりチラシなどで(例えば、体に良いものをのせたり)配布したり、もっと家庭におとしこめる取組をしてほしいです。
69	男性	30代	畜産や農業などを体験する事で子供たちへの食育ができると考えます。収穫だけではなく、初めから最後まで育てることが重要で、一人前に必要な米はどのくらいなのか詳しく教えていきたいなと思っています。

NO.	性別	年代	意見
70	男性	30代	ロスが出そうな生産者、卸屋から県が買い取って各家庭に配って欲しい。
71	男性	30代	何を実施しているか、県としてのビジョンは何か伝わってきていない。教えて欲しい。
72	男性	30代	食育に限らず子どもの為に大人が考えて動ける社会や地域を作らなきゃいけないと思う。
73	女性	30代	生産者からの直売所をもっと増やしてほしい。
74	男性	30代	命の大切さを子供達に伝えたいと考えています。
75	女性	30代	学校給食調理場が学校併設型から共同方式に変わっています。建設維持費の面から仕方ないと思いますが、各学校で調理師や担任や司書が取り組んできた食育の試みを続けて下さい。那覇市内にはファーマーズがありません。そのため、規格外の農産物を応援したいと思っても市外の施設しかなく、車がなければ難しいのが現状です。産業まつりのような大イベントだけでなく、移動ファーマーズの日、出張販売の日、のようなものを日常的につくってほしいです。食品ロスの多さや貧困問題に日頃からとても心を痛めています。スーパーで値引き商品を見つけると、今夜の食事に困っている人にこの場でお届けできたらいいのにと強く思います。たとえば、「この商品が値引きになったら寄付」という仕組みを社協や民生委員のかたがたといっしょになって県主導でつくれませんか。フードバンクの試みが広がっていても、拠点まで持っていく足や時間のない人が多いのです。
76	女性	30代	食育に対する取り組みがあることを初めて知りました。
77	女性	30代	家で郷土料理を作っても見た目が気に入らないと食べてくれないので学校給食、保育園の給食に積極的に郷土料理を食べさせてほしい…お友達となら楽しく食べてくれそうなので(^_^)。
78	男性	30代	沖縄の美味しい農林水産物が食べられる機会が多くあれば嬉しいです。観光客も望んでいることかと思えます。
79	女性	30代	小麦粉を使用した料理より、地元産の肉・魚や野菜や芋に関する食材の歴史と生産～調理まで学んだり体験することを、教える人も学ぶ人も楽しみながらやってほしいと思います。
80	女性	30代	地産地消。地元の美味しいものを食べる。だが、世界経済の影響もあり、農業等の経営が厳しくなっているので、まずは美味しい食材が消費者のもとに届くように、県が生産者をサポートしていかないといけないと思います。
81	女性	30代	沖縄料理を、日常的に家庭で作って食べることが普通になると良いなと思います。
82	男性	30代	県全体で取り組んでいけるように、応援しています。
83	男性	30代	生活習慣病予防のために企業と連携した取り組み強化が必要。
84	男性	30代	スーパーなどで郷土料理のコーナー等を設けたり(すでにある場合はもっと目立たせるよう)、誰もが目に止まるような取り組みを指示しても良いかなと思います。
85	女性	40代	沖縄(県産)にはすごく使いたい気持ちはありますが、もう少し手頃な値段だと毎日でも買って子供達に食べさせたいです。
86	女性	40代	コロナ禍にSNS普及など時代の特色でもありますが…。各県で、給食をオーガニックへ～が、はやっています。しかし、内容や主張、沖縄のオーガニック給食推進協会の方の話を聞いていると、とても情報に偏りがあり、正確な情報もありますが、自分たちの哲学的？根拠のない考えも入っており、本質はこちらを広めたいために活動をしている方もいるように思えます。「子どものため、地球のため～」と、ママたちを誘導していると思います。中には、本気でそう信じて活動されている方もいますが話を聞くと、おかしな点がいくつも出てきます。公的な機関はこういう運動に左右されるのではなく、公的機関が研究し、安全を確認しているのだからそこを正すような指導もしていただきたいです。マーガリンはプラスチックなわけなし、添加物は安全基準が守られているとかなぜ農薬が必要なのか。発達障害の原因と言うのは、ヘイトになると思えます。
87	女性	40代	学校給食で色々取り入れていただいているので、家庭では出来ない所を補っていただき非常に助かっています。
88	男性	40代	塩分をあまりとってはいけない！！の理由がわからない。なので教えて下さい。体重も減らしたい。
89	女性	40代	物価高が続いている為、人参、玉ねぎ、じゃがいもですら買えません。フードバンクや母子家庭支援、他県ではあるとニュースで見ると羨ましく感じます。食事を全員で食べないのは、食費をうかす為です。
90	女性	40代	コロナが落ち着いたら食育のイベントがあるといいなと思います。こどもにも興味をもってもらいたいです。
91	女性	40代	学校給食費の無料を希望します。部活もやっているので普段から食事の量が必要で、そこにお金を使えると助かります。沖縄県全体でそうしてほしいです。
92	女性	40代	全国的にも沖縄県は貧困世帯の子供が多いと聞きました。子供が食事できる場所を増やす事ができればいいなと思います。
93	男性	40代	会社員です。働きながら、妻の介護、育児、家事に追われています。子ども達の食育に時間を割きたいという思いはありますが、現実的には難しいです。時間的にも経済的にも余裕があれば、もう少し食育にも気をつけたいと思います。食育サポートに関するアプリ等の情報がありましたら、共有いただきたいです。
94	女性	40代	沖縄県は成人肥満が多い県民だと聞きます。それを予防するためにも子どもの頃からの食育は重要であると考えます。一番大切なのは「家庭」での食育だと思いますが、家庭で十分な食育を受れない子どもたちにとっては「学校」での食育が必要です。栄養士さんなどの講演会を継続的に学校で行うことなどができるとよいと思います。また子どもだから関係ないと考えずに、子ども達にアルコールの正しい取り方やメリット・デメリットを学ぶ機会を作ってもよいのではないかと考えます。大人よりも子どもたちのほうが、素直な心で学べるのではないのでしょうか。

NO.	性別	年代	意見
95	女性	40代	時折、ニュースで地産地消の取り組みの一環で学校給食で魚や野菜を取りあげた、という話題を見ます。とても良い取組みだと思えます。沖縄は独自の食文化もある為、後世にもしっかり継承して欲しいと思えます。
96	女性	40代	お酒を飲みすぎている人、食べ過ぎで太っている人を多く目にするので、力を入れて行っていただきたいと思えます。
97	女性	40代	私事で恐縮ではございますが、若くで母を亡くし、日頃当たり前のように口にしていた家庭料理を懐かしむ時があります。沖縄の家庭料理は幾つになっても心落ち着く料理の原点だと思えますのでこれからも沖縄の家庭料理が途切れないような食育も取り組んで致したら嬉しいです。
98	女性	40代	子供にも沖縄の食べ物について学んでほしい。学校でその機会があるといいです。
99	女性	40代	琉球料理・沖縄産の食材の活用に興味はあるが、習ったり勉強する機会がない。特に琉球料理は、レトルト・購入した行事食(重箱料理)等、自分で作れないので、「他人が作った料理を食べている」「自分で作れない」ことに劣等感がある。学校や地域で、食育に関する取り組みがあれば、ぜひ参加したい。
100	女性	40代	まだ子どもが小さいため、学校での食育のことなどは具体的にあまり分かりませんが、地元の農産物などを給食で使ってみんなで食べたりする機会があるのはTVで見たことがあります。学校で食事のマナー講習があったり、地域で色々な体験をするイベントがあったり、とても良いことだと思います。心と身体の健康は食事からつくられるものだと思うので、これからも食育について考える機会が増え、みんなが健康な沖縄県になれば良いと思います。
101	女性	40代	ウチナー料理をもっと子供達に食べてほしいが、食べなれていないせいもあって食べてくれない。また自分も上手に作れない。子供達が食べてくれるものばかり作る形になっている。
102	女性	40代	沖縄の食材を生かした料理を、学校でも取り入れ(家庭科等の実習)で子供たちにも興味をもってほしい。
103	女性	40代	学校の給食等の県産のメニューを取り入れていて良いと思うが、毎日の食事を作る親向けの食育講座などを充実させてほしいです！！食品添加物に対しての知識など子供のうちから教育してほしいです。
104	男性	40代	食文化は貴重な観光資源。沖縄の食文化や農水産業を学び、加工・流通を理解することで、観光資源に付加価値をつけることができます。健康増進や文化継承だけの視点で食育を考えるのではなく、観光人育成によって1次・2次産業に経済効果が長期的に派及してゆくような戦略的視点がほしい。
105	女性	40代	取り組みや、自宅での食生活はコロナから仕事が無くなったり仕事に就けても時間を減らされたりしている事が多いので食育などにあまりお金をかけられない。支払い等におわれる現状が早く善くなれば良いと思えます。
106	男性	40代	自分を含め今の50代以下の人達は、沖縄独特の食事を日常の中で子供の頃から口にしていないと思う。洋食や和定食のイメージがうかびやすいと思う。60代~から上の年代の方が子供の頃に家庭で食べていたもの。行事の時はどんなものを食べるのか？体調が悪い時やおやつを食べものはどんなものか？そういうのがわかるような冊子や、講話をもうけるなど、うちな~ぐちで説明をいれたりして、「沖縄のごはん」のイメージが県民の頭にかがぶようなものを、形にしてくれたら、絶対、読みたいと思う。
107	男性	40代	農林・水産業等の子供向けの講習などをふやした方がいい。
108	女性	40代	食育に関するイベントなどをもっと子育て中の家庭が参加しやすい、参加したい！と思えるように(子供も楽しく)開催すると、忙しい親も関心をもてると思う。給食のメニューでパンの日とかおかずが少ない日が気になる。大手スーパーと協力して“県内食材コーナー”のように目にしやすく盛り上げる展示方法で手に取りやすい場を作ると買いやすい。メニューの提案POPなども一緒に。お年寄りに出す食事(老人ホームなどで)をもっとおいしく、楽しくできませんか？
109	女性	40代	県がどのような取組みをしているのか、よくわかりません。「くわっちーさびら」を配布している事も、小学生の子がいますが、このアンケートで初めて知りました。子ども達が、地元の生産者とつながるような取組み(植えつけ、収穫、手入れ体験等)を増やす、地元・県産食材をつかった伝統料理を作る等、実際に自分でやってみることが、一番、考えるきっかけになると思えます。
110	女性	40代	学校で食育に取り組んでいて大変ありがたいが、自分自身はコロナ禍の影響もあり、なかなか“食育”を受ける機会がなかったように思う。そういった機会が増えれば良いと思う。
111	女性	40代	学校や企業で「消味」「消費」期限の違い、体における変化(中毒)等も教えてほしい。TV「仰天ニュース」でコーヒーの消費期限切れを飲んだ人が命にかかわる思いまでしたと知ってビックリした。
112	女性	40代	ヘルシーな食事を心がけていますが一人だとなかなか難しいです。
113	女性	40代	地産地消はもちろんのことですが、農地、農業を守る大切さを子供たちに積極的に伝えていく機会を増やすべきだと思う。無農薬の野菜をもっと増やしていくことはできないだろうか？生産性を追い求めることも大切かも知れないが、沖縄県民である消費者の健康と安全も考えてもらいたいと思う。特に食品加工会社等は、可能な限り添加物を加えず作ってもらえたら、購入できるのにと考えている。今のままでは購入できない。したとしても週に1回程度です。
114	女性	40代	揚げ物や脂質、塩分の多い市販の弁当や伝統料理が多目なので、栄養素についての食育も必要だと思う。
115	女性	40代	「健康的な暮らしができること」を考えた時「食」は大切だと思います。簡易的な「栄養バランス表」などがあれば良いな、と思いました。(市役所に配置の配布されたら、家の冷蔵庫の横に貼って、日々の栄養バランスなどを確認出来る為)。

NO.	性別	年代	意見
116	女性	40代	食は人間形成に繋がると言われているぐらいだが、県が食育に関してどのような活動しているのかわかりません。食育に取り組んでいるのなら、学校給食を充実させ、高校まで給食を提供する必要があるのではないかと思います。そうすれば高校生でも学校に行けばお腹が満たされ、学業に専念でき、将来を担う人材が少しずつ増えて社会の秩序が保たれることに繋がっていくと思います。そして給食費をなくし、家庭の経済力で差を生んではいけないと思っています。そのためにも地産地消が成り立つよう、農家の人材育成、働く環境を変えていくなど、根本的なところにも目を向けてほしいです。沖縄県が長寿の県に再びなれるといいなと思っています。
117	女性	40代	沖縄の郷土料理の講習会などを地域(自宅から近い距離)で受けられたらいいと思う。例えば、お正月とかで出せるおもてなし料理や沖縄のお菓子料理など。簡単に手軽に作れるレシピ。
118	女性	40代	TVCM等、よくがんばっていると思います。学校で調理実習がなくなったのは痛手と思います。
119	男性	40代	TVのCM等でもっと食育についてPRしたほうが良いと思う。電力会社やガス会社と県が協力して、まつり会場などイベントで取り組むなど工夫も必要かも。
120	男性	40代	県がもっと積極的に県産品に投資した方がいい。食品ロス(野菜、果物、乳製品、卵など)を、加工して、提供できる様な場所が増えてほしい。コンビニ、大手スーパーの食品廃棄率や量など、公開できないかな?改善・活用の意見が出やすい様に。
121	女性	40代	特に子どもは敏感です。添加物や残留農薬に反応していたり、体質に合わない物に反応している場合もあります。食べ残しを気にするあまり、食べたくない時や、食べたくない物を無理して食べさせることがないように願います。(3食たべることが体質に合わない人も小食の人もいますから。)安全な食品を食べられるように、生産者や企業の意識改革は大きく影響すると思います。いろいろな人がいることを考慮してアプローチしていくことは大変かと思いますが、関わる子どもや、みんなが無理なくたのしんでやっていければいいですね!がんばってください。
122	女性	40代	子供の頃から給食が大好きでした。母一人、子4名いた為、朝ご飯を食べて通学する事が少く給食だけが楽しみでした。(貧乏でした)食育=子供を食で育てる。給食に力を入れてくれれば良いと思います。
123	女性	40代	沖縄県が食育に取り組んでいることをほとんど知りませんでした。食育という言葉が、テレビなどで、わりと、よく聞かれるなあとこの程度でした。食事は、健康を保つ、うえで、とても大切なので、小さな子供のころから、バランスのとれた、食事や、生活習慣病にならないようにするための、食事の方法や、生活も含めて、教育に力を入れていくことが大切だと思う。最近、主食を少なめにや、食べなくても良いという情報もあって、何が正しいのかわからないことも多い(肉食が大切で、野菜はそえもの程度というDrもいる)。
124	女性	40代	各家庭で菜園等行い食料を補う事が今後、重要!
125	女性	40代	家庭内の教育力の低下が心配。→格差がある。低所得家庭は毎食コンビニ通い。給食で工夫して栄養バランスのとれた献立を立てても食べなれていないため食わずに残す。学校に丸投げするのではなく県として何か対策がとれないものか。(生活体験学校を建設するなど)元気のあるおじい・おばあをまきこんで子どもたちの成長を見守るようにできたらよい。
126	女性	40代	食品ロスがゼロにするためには県民1人1人が理解する事大切だなと思います。自分もいまからでも学んでいきたいと思っています。
127	女性	40代	給食が添加物だらけで気になります。県内のオーガニック野菜や質の良い食べ物を子ども達へ提供して欲しい。市町村によってバラつきがある。(牛乳と給食の組み合わせで本当に栄養はとれるのか、ホルモン剤いっぱい牛乳より、お茶の方が安心ではないか?食育を推進する前に、まずは、添加物のことを学んだ上で取り組んでいただきたい。特に県内の乳牛業者が減り生乳から乳飲料へ変わっているが、果して乳飲料は、体にいいのか。わざわざ品薄状態の牛乳を出す必要があるのか?)
128	女性	40代	子供達が嫌がる為、家庭で郷土料理を作る機会がなく、周りの友達に聞くと同じような意見が多いので、子供達も美味しく食べられるアレンジ郷土料理レシピ等があると有り難いです。
129	女性	40代	もっと地元で採れた野菜などを大手スーパー等が積極的に取り扱ってほしい。
130	女性	40代	県産品が安ければ、たくさん購入したいです。安くなくても、子供がいる家庭に食費の補助があればいいですね。
131	男性	40代	子どもの明るい未来のために地元のものを選び、食を身近に感じられる教育をしていきたい。
132	女性	40代	3歳の娘が野菜を食べないので悩んでいます。野菜を食べない子は多いと思います。スーパーなどで野菜の重要性とか子供にわかるようなイベントなどとして欲しいです。
133	女性	40代	本土からの移住者もいるので、小中学校での郷土料理の学ぶ機会がないと、各家庭では難しいと思う。積極的に教えていかないと沖縄文化(郷土料理)が忘れ去られていくと思う。
134	女性	40代	輸入に頼る日本ですが世界情勢を鑑みると地産地消の良さをもっと普及するような取り組みをしていければいいと感じています。
135	女性	40代	県産品を手に入れやすい価格にするための取組ができると嬉しいです。
136	女性	40代	子どもたちの給食も全て無農薬の食材を利用してほしい。また、それぞれの地域の食材を活用してほしい。農家の方々に手厚い支援をして、担い手不足の改善、農作業の効率化を行なってほしい。日本の食品添加物の恐ろしさをもっと子どもたちをはじめ県民の方々へ周知してほしい。誰でも無農薬の食材を購入、手に入れることができるような仕組みがほしい。
137	女性	40代	学校の教員です。沖縄の郷土料理が給食でよく出てくるのでとても嬉しいです。食育は基本家庭でなされるものだと考えますが、家庭の状況も様々なので、学校給食をとおして食の知識を学ぶことは子どもにとってとても重要だと思います。

NO.	性別	年代	意見
138	女性	40代	食育に関する取り組みは学校でもなされているなど感じますが、以前行っていた健康長寿沖縄を取り戻す取り組みが、最近取り組まれているのか、よくわかりません。小さい頃からの食育はもちろん大切な取り組みですが、日頃食事作りの中心を担っている親世代の食事に対する意識が低いように感じます。また、高校に清涼飲料水の自動販売機が置かれています。簡単に飲める環境を学校が認めているのはどうかと思います。せっかく小学校、中学校で食育の学習してきたのに繋がりが無いのもおかしいと思います。せめて校内に置くとしても甘い清涼飲料水は置くべきではないと考えます。
139	女性	40代	保育園や学校に向けて子供達への直接的な講演や指導地域や保健所等の働きかけが必要かと思う。
140	女性	40代	子ども達への食育は机の上ではなく、実際に畑やスーパーなどに連れていき、体験学習する回数を増やしてほしい。
141	女性	40代	給食に沖縄の食材やデザートを提供してくれるのがすごくありがたいいつも思っています。
142	女性	40代	住居のある那覇市では、手軽で安価な惣菜や弁当が、いつでもどこでも購入する事ができます。主観ではありますが、それらのものが美味しいと感じるかどうかの味覚が大切だと思います。特に幼少期、小さな子供のいる家庭で、食育が必要だと感じますが、経済的に豊かでないとなかなか難しい問題だと思います。沖縄県の食育に関する取り組みについてですが、具体的に何を実行しているのかは、申し訳ないですが、よくわかりません。
143	女性	40代	県産品をもっと購入したい気持ちはあるが、値段が高く、ついつい安価な物を選んでしまうので、県から生産者に対して補助を増やすなど、価格を抑える取り組みがあればうれしいです。
144	女性	40代	県としての取り組みがどのような事があるのか、すみませんがよく分かりません。
145	女性	50代	子供が小さい頃や、孫が遊びに来た時は、食事に気をつけて作っている。小さい頃の食育は重要だと思います。なので、給食メニューなどは特に気をつけてほしいです。
146	男性	50代	近い将来、世界規模の人工増加によって食量の輸入が難しくなると思われるので食量自給率UPとフードロス削減は、早い段階で行う必要があると思います。
147	男性	50代	あまり食材を捨てないよう心がける。
148	女性	50代	沖縄県の食育はとても大切だと思います。私に基礎的な知識がないので、学校給食などで、取り入れてもらえると、とても助かります。
149	女性	50代	学童やその親、またリタイア後の世代には県の取組みに触れる機会はあるかもしれませんが、働く世代は全く触れる機会がありません。食育の大切さを広めたいのであればテレビやイベント、企業への出前などもっと目につく場でアピールしないといけないと思います。また、貧困世帯では食そのものが危ういです。社会全体を良くしていかないといけないと思います。
150	男性	50代	学校、メディア(新聞、ネット、テレビ等)を通して取り組みの情報へのアクセス誘導をうながしながら継続的に伝えていく必要があると思います。
151	女性	50代	食育が大切で大人にも必要と分かった。時間がない時でもサッと調理できて、食べると良い食材を知りたい。長命草や庭で育てられる野菜の活用方法を知りたい。
152	女性	50代	食育は保育園や学校での取り組みは良く聞けど一般の食育は(大学生はありそうですが)市役所とかでも取り組みとかあるのかな?何も知らないのですみません。
153	男性	50代	最近静岡に旅行しました。太っている方が少なくほとんど皆さんスリムでした。空港でも、宿泊所でも、我々県民は、もっと賢くなるべきだと思います。食育は大切です。
154	女性	50代	沖縄そばやタコライスなど、一般的な沖縄料理やアメリカ統治下に入ってきた食文化は広く伝えられているのに、ちんぬくじゅうしいやミヌダルなど、古くからある郷土料理や宮廷料理などはあまり知られてないと感じる。工芸品や芸術文化は継承していくツールがたくさんある一方、食文化に関しては情報も少なく、誰かが伝えていかないと途絶えてしまうかもしれないという県民一人ひとりの意識改革が必要だと思う。
155	女性	50代	マスコミ(テレビ等)を利用して、取組等の様子がわかると、もう少し、興味がわくと思う。現在、県の取組は、わからない。
156	男性	50代	コンビニやスーパーの弁当、惣菜は、味付が濃い。流通業者の健康意識の向上を働き掛けてもらいたい。
157	男性	50代	食育に関する資料があれば、ほしいです。
158	女性	50代	調理師ですが、那覇市はそういった催しが少ないと感じます。
159	男性	50代	学校まかせにせず、基本家庭での取り組みが重要だと思う。
160	女性	50代	昔のような長寿県をとり戻せるよう、沖縄料理の再発見、島野菜の活用などの普及活動が大切だと考える。
161	女性	50代	食育とSDGsへの取り組み、CO2削減、環境問題につながる事を身近な食を通して自然と学べるようにし、プログラムや学校でのゲーム等、イベントがあったらいいと思います。
162	女性	50代	石垣市の小中学校の給食を1ヶ月、ぬきうちで現物のものを実際に見て欲しい。これでは子どもは健全な発育はのぞめない。昭和生まれの親からみてもひどい。
163	女性	50代	物価高騰の折、地産地消で新鮮でおいしく、安い県産品を子供たちがもりもり好き嫌なくいただける食生活を希望します。おじい・おばあたちとコミュニケーションしていくことがやはり大事なのかな?

NO.	性別	年代	意見
164	女性	50代	学校(小・中・高)での取り組みは充分なされていると思います。素晴らしいです。・地域における食生活の改善については、以前は、食改の団体があり、活発な取り組みがされていましたが、現在は全くありませんので、復活する事を強く望みます。食品の安全・安心に関する情報提供や講習会も是非専門家を招聘して各自ごとに実施できたら幸いです。
165	女性	50代	一部の年代(小学校関係の人)の方には情報が届いていると思いますが、一般の人達にあまり食育の取組が伝わっていないような気がする。
166	女性	50代	食育への取組は、とても重要な課題だと感じております。地産地消を、小さな子どもの時から大人やまわりの環境が、育み育てていく事を一番の取組としてほしいです。
167	女性	50代	食事の大切さは、学校で教えるのがいいと思います。家庭では、食育に知識のないお母さん方もいると思いますので、食育の集まり講習会等あっても、どこでやっているのか情報がないのでわかりません。CM等で流すと皆さん情報がわかるのではと思います。
168	男性	50代	コンビニやスーパー等の総菜は弁当を多く利用する人は、提供されているものを購入する以外ないので、これらの業界と協力して安全で健康的な商品を開発する事は有意義だと思う。
169	女性	50代	乏しい家庭が多いので、工作中(昼間)の講習会に参加できる人は余裕のある人達だと思う。そういう人達は政府等の講習会を開かずとも、ネット等で情報を得る事ができると思う。朝ごはんを子ども達にあげたくないのではなく、できない人達をサポートする方にお金を使った方がよい。机上のおいしい食事講習会より、現実の人達におにぎり1コの方がよい。子ども食堂をもっと多く作り、時間の余裕あるシルバーの方に働いていただければ、安くで運営できるのでは？保育専門の人は、言葉かけはできる。実際に、サポートはきびしいので県・政府に頑張ってもらいたい。
170	女性	50代	最近から食品添加物に感心があり、本も購入しました。健康に健やかに食って大事です。力・パワーUPにもなります。やっぱり食は安全性はすごく大事です。もっと添加物を減少する、スーパー、コンビニ、食堂が多くなると良いですね。それを心から願います。もっとたくさんの人が食品添加物に興味があるといいな～！！スーパーコンビニも変わる。
171	女性	50代	栄養学の知識も日々変わってきていて、肉がいいとか悪いとか、糖質がいいとか悪いとかどれが正しいのか。それぞれの業界が、自分とこの都合のよい御用学者をかかえているし。たとえ市役所とかの公的機関が「これが正しい」と言ってもネットとかの情報と違ってたら信用できないなというのが最近の若い人達ではないでしょうか。だから、食育(正しい知識)って難しいですね。地元の、食材を使うことは、とても大事です。自立的経済には不可欠ですが、値段が高いんですよ。とても手が出ない。タマゴだって、鹿児島から運ばれてきたものが安いんですよ。キャベツも、トマトも。宮平牛乳とか飲みたいけど、毎回は高すぎる。時々買ってます。主食・主菜・副菜(特に新鮮な野菜料理)を揃えるのは大変。買い物、保管(保存)、調理、残り物の組み合わせ、廃棄(生ゴミ処理)まで、調理する人の体力・気力に余裕がないと。だけど、共働きだと本当に疲れて、キツイ。
172	女性	50代	食事の大切さを乳幼児の時期から、親が意識して、与えられるように、乳児健診・育児に関わる機関でしっかり伝えられる仕組みがあるといいと思う。沖縄は外食産業が多く、手作りで食事を食べている家庭がどのくらいあるか心配になるが手作りの良さを、伝えられたらいい。子どもの時期に野菜・米・魚等の収穫体験ができると、興味をもってくれるかな。
173	女性	50代	食育はあまり分かりませんが、多少興味はあるのかもしれない。最近の物価高に、食品等の購入に、毎回躊躇してしまい、どうしても(少しでも)安い物に手が出てしまいます。
174	女性	50代	インターネットで見れない使いきれないため、ついていけないです。本で、配布してくれるとありがたいです。今の時代インターネットはかかせないとは思いますが、使いきれない人はどうしたらいいでしょうか。今の時代についていけない私(人たちは)どうしたらいいのでしょうか？！まずはそれかなのでは！！
175	女性	50代	子どもの学校での授業などにおいて、食育についての学びが昔に比べて質が向上しているなあと実感しました。家庭内において食育に関する情報を得る手段についてはあまり知らなく、食品の安全性や調理方法をもっと発信してほしい。郷土料理の継承はとても大切だと思うので、絶やさないような取り組みをしてほしい。
176	男性	50代	沖縄県が食育の取組みをしているのは、正直分りませんでした。どこで、その情報が入手できるのか？分りません。ただやるだけでなく、どこで情報を入手できるのか、告知を徹底してほしい。CMなどでも聞いているが、誰がやっているのかわからないです。
177	男性	50代	スーパーなどで試食や案内があったらハードルは低くなるのでは？野菜より肉が安く、偏りがち。
178	男性	50代	栄養バランスは栄養教諭が教えていますが箸の使い方、食材の選び方や食べ方を教えるのは親の責任です。しかし料理もできなかつたり箸を正しく使えない親が増えているのでその子も外国人と交流などで恥をかくでしょう。子供番組やCMで子供が自然に覚える方法が必要では？沖縄産でも農薬が多いものもあるでしょうし、冷凍でも国産のものであれば技術がとて高くなったのでかえって多くの栄養がとれる場合があることも教えてほしい。
179	女性	50代	食育が身近な、物事になるといいと思ってます。テレビ番組など放送して頂けると身近な事として興味を持って頂けるかなあと思いました。
180	女性	50代	料理教室をやってほしい。
181	女性	50代	一度参考にしたいので給食試食してみたいです。子供達がいつもほめているので。
182	女性	50代	食育は大事だと思いますが、それをするとなると、やっぱりいい素材、品数ってなるような気がします。沖縄県民は所得が低いので、安い食材を求めている人が多く、食育以前の問題も取り組む必要があるのでは。県産品、高くて手が出ません。

NO.	性別	年代	意見
183	男性	50代	自治体の広報紙や、スーパー店頭などでのわかりやすい取り組み紹介をしてください。それらの予算は、マイナカード推進予算に使うぶんを食育に回してください。
184	男性	50代	子どもが社会人になったので、最近の学校の取り組みや地域の取り組みに対してほとんど情報がありませんが、以前から給食や子どもたちに対する教育現場の食に対する取組みはしっかりされていたと思います。今は、年配の母と同居していますが休みの日以外は時間帯も合わずなかなか一緒に食事できない状態です。老人の場合、食も細く1人だと食べないことも増え、ますます弱っていくので配食サービスなど利用するようにしていますが。。。なかなか難しいです。子どもたちの給食の場に近所の老人達と一緒にお昼をできる機会などもあれば外出する機会も食事の機会も増え良いかと思えます。おばあちゃん達の自慢の郷土料理のおかずの一つになると生活にも張りが出るかと思えます。衛生面の点から難しいかもしれませんが、老人の生きがいと食の改善のために御一考いただければと思います。
185	女性	50代	お盆等に用意する重箱料理は、数時間常温保存されていることが多く、食材が傷んでいることがあります。いただき物を食べて食あたりを起こしたことがあります。高齢者は重箱料理に拘る方がいますが、管理方法等を指導した方が良いと思います。貧困家庭の方で周囲の方々から援助があったそうですが、外食が多く、ファーストフードやジャンクフードを頻繁に食べているそうです。作り置き等の保健指導が必要だと思いました。高齢者の方でよその家族に対して、虫歯治療中の子供にチョコを頻繁に勧めていました。治療中だと伝えても理解できないようでした。高血圧や心不全の方にも塩分が多いポーク等を頻繁に勧めていました。自分が好きだから他人にも無理やり勧める方がいるのです。地域での保健指導が必要だと思えます。
186	男性	60代	貧困家庭を無くしていかないと、食育どころではないと思うので支援を充実させて欲しい。
187	男性	60代	沖縄県(国)の食の安全性に特に気を使っていますのでこの店でも安信して利用できます。
188	男性	60代	健康長寿課、みなさんががんばって下さい。
189	女性	60代	食べて育てる、知識、情報は大事であるが、個人の意識の持ち方だと思う。地産地消だと値段も高くなるのもあったり、とって安いアメリカ産、中国産の物は買わないと決めてます。やはり安全重視の為です。家庭では母親の作る食事は、意識、知識で変わらと思うので、これから意識しながら食生活を送って行きたいですね。
190	女性	60代	私は、低年金所得者です。食事にしても何をすることも、金がかかります。まともな食事を取る事はできません。食育は、とても大切な事だとわかってはいますが、私自身生きて行くだけで精一杯です。もう少しまともな食事をしたいなと思っていますが今の所難しいです。
191	男性	60代	孫の好き嫌いがあまりすぎて、給食にいろいろと取り入れてほしい。
192	女性	60代	小学校で月に1度弁当会(沖縄の食材を使用)としまして関心をもたせる方法もいいのでは(特に低学年を対象に)。
193	男性	60代	食べ残しや食品廃棄についての啓蒙活動を強化してほしい。
194	男性	60代	食育より、大人の食生活の改善が優先すると思ます。それのない取り組みに効果は期待できないと思います。
195	男性	60代	「子供の貧困」「子供食堂」に代表される子供の食育は特に取り組むべきだと思うが、その子の親に対しての県の取り組みは力不足だ。
196	女性	60代	このように手元に情報が届いたことで、沖縄県の食育に次世代の健康づくりに副統本が配布されること、「くわっち～さびら」はインターネットに公開されていることを知り、離れて暮らす孫達と食材や作り方食方節句など伝承出来るようになっていきたいとの思い。「くわっち～さびら」はよい副統本だと思います。(本はまだ見たことない)多くの沖縄人(うちなーんちゅ)や、ネットを見る人に知ってほしい。
197	女性	60代	現在、福祉施設にて、介護兼食事作りの仕事にたずさわっています。食育に関する事、学びたいので体験、講習等ありましたら資料郵送していただくと嬉しいです。宜しくお願い致します。
198	女性	60代	健康的な献立レシピ 料理実践講習会 栄養素のお勉強 実践の場があれば参加したいです。
199	女性	60代	今年、自宅で野菜を作りはじめ、ゴーヤーが3株で100コできて自分で育てる楽しさがわかりました。家庭でも子供と一緒にトマトやねぎなど簡単に、できることから食育をすることが大切だと思います。
200	女性	60代	幼児期に食育指導をきちんとすれば、その後の、生活、学力への影響も大きい事を、子育て中のお母さん達にもっとアピールすべきだと思う。
201	女性	60代	Q33の食育推進の取組みについては、あまり知識がなく満足度に関してはどちらでもないにしました。これから自分なりに子や孫たちに食育の大切さを伝えていければと思います。
202	女性	60代	情報の知る機会が少ない。
203	女性	60代	地元産や国産の食材を選ぶように心がけたいです！！健康長寿課のみなさんガンバって下さいね。要望と言われましても、沖縄県がどのような取組みをしているのかを、知りません。新聞を毎日読むことを習慣にしています(隅々まで)。ネットでは、それほどこの分野に関する(沖縄県)情報を得ていません。多方面に行きわたるような情報提供をどうしたらよいかを再考してはいかでしょうか。
204	男性	60代	県産の米、野菜、果物、体に良いたべ物を子供達が、食べる事があたりまえになってほしい。
205	女性	60代	親の介護中で日に日に食が細くなっていく親の食事をどうにかしてロスを少なくしたいと思っています。自分で作れる時には食べる分量を出すのですが、スーパーの総菜やおさしみ、魚、肉とかひとり分のパックがあったら食品ロスを少なくできると思っています。
206	女性	60代	学校には、どこも花はいっぱい植えてありますが、できたら野菜畑を作り、自分達で育てた野菜を給食に使う取り組みができれば、野菜嫌いな子が減るのでは？と思います。
207	女性	60代	

NO.	性別	年代	意見
208	男性	60代	沖縄県が主体の取組みをあまり理解しておらず、情報も少なく、勉強不足でした。まず市の取組みを推進し、県の食育の取組みを理解して、意識して改善して行きたい。
209	女性	60代	私は食育ということばを始めてきました。年をとり、野菜はつねに毎日食べるようにしています。食事も、朝、昼、夜と1日3食とるようにしています。
210	女性	60代	我が家では子供達が成人し、県外に就職で自宅を離れているので、夫と二人暮らしです。スーパーなどに買い物に行くとコロナの為に、子供連れのお母さんをあまり見かけません。野菜や肉などに関して、食卓に出て来る調理された野菜しか見た事の無い子供が増えてくるのでは？と、ふと思う時があります。
211	女性	60代	お盆の重箱料理を若い人が食べなくなっており、だんだん小さな重箱になってしまいました。沖縄の行事でおそなえする料理について食育で取り上げて、もっとみんなが食べる様になってほしいです。
212	女性	60代	味覚障害や偏食に関する情報がほしい。
213	女性	60代	保育園幼稚園、小学校中学校と義務教育の間に食育に力を入れる。家族を大切に（健康面、助け合う心）。ひいては自分を大切に。その基本があって、地域や国を愛する人格が育っていく。それを希望しています。私も残りの時間大切に楽しく健やかに週辺の人々と共に、食の大切さ、長寿の大切さをかみしめ（徳川家康がそうした様に）生きていきます。
214	女性	60代	食生活学習教材「くわっち～さびら」は、とても参考になりました。（問33は視聴前の答えです）自分では「食生活に気をつけている」つもりだったが、知識が伴ってなわず“ひとりよがり”でした。自分が関心がなくて知らなかっただけで、皆さんが熱心に取り組んでおられることを知り頭が下がります。料理に精進して、「おいしくて体に良いもの、おばあさんの伝統の味」を子や孫に伝えていきたいです。
215	女性	60代	時代の移り変わりと共に食育を取りこんでほしい。特に添加物が未来の子供達に影響を与えるので、そういうのは添加物の危険性を教えてほしい。
216	女性	60代	高コレステロール血症の薬をのんでいるが体重をおとすのはむずかしい。食材をむだにしないために、すぐ使える様に切って冷凍し、必要な分だけ使う。すぐ使えるみそ味だしを作っておくとか、食材をすぐ使える様下ごしらえする。（毎食時間をかけ作るのがたいへん）小人数分でもむだなくすぐ作れる様に！いろいろ考えている。食事の量について 病院食を見て初めて日頃の量は多いのだと思った。
217	男性	60代	地産地消をもっとすすめて欲しいです。
218	女性	60代	沖縄の野菜を主に買っています（肉、魚など）いつまでも沖縄の野菜、肉、魚が食べられるように願い消費したいと思います。
219	女性	60代	食育を日常生活に取り入れられる情報等の提供（パンフレット）が、いろいろあればいいと思います。
220	女性	60代	今沖縄県でも、子供や大人でも貧しくて、満身に食事が取れない人もたくさんいると思います。皆さんが、それぞれ健康で豊かな生活が送れるように食事もちゃんととれる社会になればいいと思います。
221	女性	60代	食育はとても大切なことだと思います。年齢にあった講習会、料理実習とか定期的にあるともっと関心をもち、心の健康にもなると思います。
222	女性	60代	高齢者になるにつれ情報が入ってこない。情報の発信を考えて欲しい。
223	男性	60代	食品ロスを減らす取組みをもっと官民協力して、貧しい家庭に行き渡る様にしてほしい。アメリカ等では、路上に冷蔵庫を置いて、みんなで活用しているのをTVで見た事がある。
224	女性	60代	もったいないと思いつつ賞味期限の近い商品を購入はしたものの家族との夕食などに色々だして家族からはブーイングでした。しかし、賞味期限の近い商品を購入することにしたら廃棄を削減になるのではと思うが。
225	女性	60代	学校関係や地域に食育の知識を広める機会を多く設けたらいいと思います。
226	男性	60代	文化的なものも含めて、食習慣を変えないと平均寿命はさらに下がると思います。
227	女性	60代	もっとテレビ等で情報などがあるといいと思います。
228	男性	70代以上	食育に関する情報が少ないので市の広報紙など、保健所だよりなど発表してほしい。食の組み合わせとか、塩分、糖分、カロリーなどの表示も必要。成人とか老人に必要な、食べ方など、料理方法とか。男でも作れる簡単な方法とか。
229	女性	70代以上	私共の幼少時は貧しいというか、贅沢できない家庭が大多数でした。その日その日、大家族（当時昭和20～30年代頃）を食べさせるのが精一杯という状況の中で、伝統料理など知らずに成長してしまい気がつくと（結婚時）他県出身の夫の料理をつくる為、いわゆる日本料理が、我が家の定番となり、郷土（私の）料理を作ったり、することはほとんどありません。子どもの頃が大事ですね。舌に記憶のないものは、作れません。
230	女性	70代以上	高齢者には1食でも配達してほしい。
231	女性	70代以上	食育のチラシがあればいいと思う。
232	女性	70代以上	主に高齢者によるバランスの良い食事方とか習いたいですね。
233	女性	70代以上	県の食育状況が分からないので、何とも言えない。現状がどうなっているか新聞や何かで知る方法を教えてほしい。
234	女性	70代以上	県外から転居して来た為、まだ県内のことはわからない。只県産の野菜は今まで利用したことのない品があるのでそれらの野菜についてもっと勉強したいと思っている。
235	男性	70代以上	低学年の子供達が朝食を取ってない子供が多いと思うので指導してもらいたい。

NO.	性別	年代	意見
236	男性	70代以上	食育の取組みについて、県の取組みがあまりわからなかった。
237	男性	70代以上	11年前まで本土におりましたのでこちらに来て感じた事。スーパーなどの価格が1.5割程お高い気がします。魚、野菜、本土に無いものがあり1、2年は食事を楽しめませんでした。この所沖縄になじんだのでしょうか。おいしく頂いています。
238	女性	70代以上	料理が苦手なので、時短で安くて簡単にできる調理法の情報があればうれしいです。
239	女性	70代以上	野菜・くだもの・魚・肉・牛肉・鳥肉・沖縄で取れたものを沖縄の大手・スーパーに、もっと、力入れてほしいです。ほとんどスーパーで買い物、していたら、ジャガイモ・タマネギとか、ネギ・ヒカは本土産が多いので、沖縄の農業してる方に、たくさん野菜を作ってスーパーに出荷してほしいです。
240	女性	70代以上	シニアの1人暮らしの食、栄養バランス、食材、簡単な調理方法を考慮された、講習会、地域の公民館等を通して多く開催されてもらいたい。パンフも多く(配布)あったらと思います。
241	女性	70代以上	各市町村で出来る限り地産地消のものを使ってほしいし又、使うようにしている。出来る事、(バラダでもよい)家庭菜園で自分で作るよこびをもってほしい。
242	男性	70代以上	県民にもっと広く伝わるように取り組んでほしい。
243	女性	70代以上	地元で気軽に参加できるような地産地消の料理教室、もしくは講習会をやって欲しいです。
244	男性	70代以上	お疲様です。地産地消を推進。
245	女性	70代以上	食品の甘さに日頃から気にしています 果物の甘さやお菓子の甘さは気になりませんが、子供達の学校給食に甘い物にだされたらと思うと非常に心配です。甘さはだんだんエスカレートするような気がします。塩分や糖分のとりすぎは病気の元といわれていますのでこれからは食事には気をつけたいと思います。
246	女性	70代以上	現付は車運転できるから地産食を買いに行けるけど、これからどうなるか？おいしいのが食べられるよう要望します。
247	男性	70代以上	平成24年に那覇市の特定健診課(当時)の指導で栄養士さん(比嘉さん)に生活の仕方を教えてもらいとっても勉強になりました。その時の指導がとても良かったです！
248	女性	70代以上	食は命なりで、基本的に自分の健康は自分で守る以外ないですが、物があふれている今の世の中なので生活習慣病になるリスクが大きい。腹八分目はなかなかで、腹八分目、飲み会など家庭以外の、食事の回数の多い男性などにもっともっと食育をお願いします。家庭ではコロナ禍でとてもきりつめた生活。
249	女性	70代以上	沖縄県内の農産物の入荷が少ないと思われまます。県外産、外国産が多い。スーパーではなるべく沖縄県産を選んで購入しています！
250	女性	70代以上	沖縄県産品は好きですが金額が高いのであきらめることが多くあります。もずくと県産、シークワサージュースをつかってゼリーを、つくっていますが高いので頻繁にはつくれません。
251	女性	70代以上	県産の食材販売時に調理法(例として)等、販売時に表示してあると嬉しい。
252	女性	70代以上	こういうアンケート調査等の取り組みがあることに感謝しています。県も国の政治(法)の下でなされているので、しかたがない(なさない)のでしょうか…。政治家たちが国民の健康を本当に考えているのか「？」を持たざるを得ないのは残念です。食品添加物が世界一多い日本！食品に使われている物に、健康を害するということが世界的にわかった物に対しても、すぐに使用をストップすることなくあまりにもゆるすぎる。(外国ではきびしくやられているものでも)人の健康よりも経済を優先させているのでしょうか？裏社会のユチャクでしょうか？と問いたくなります。健康食品(飲料含)として販売されているものの成分に堂々と健康を害するものが使用されている。それを許可している政府。そういう事を知らないのですか？無知なのでしょうか？それとも何かの為に目をつむっているのでしょうか？
253	女性	70代以上	コンビニの工場に働いていていつも思うのは家庭なら捨てる事のないまだ使えそうな野菜、肉やポーク缶の切り落しが大量に廃棄されるのを見ると子供食堂とかに活用できないかいつも思います。

令和4年度 食育に関するアンケート ご協力のお願い



日頃より食育の推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
沖縄県では、食育基本法に基づき、食育に関する施策を総合的に推進するための指針として、「第3次沖縄県食育推進計画(平成30年度～令和4年度)」を策定し、地域の特性に応じて取り組んでいます。

現行計画が今年度をもって終了することから、令和5年度から新たにスタートする第4次沖縄県食育推進計画を策定することとしております。

つきましては、県民の皆様の食生活の変化や食育に関する意識や現状を把握し、次期計画策定の参考にさせていただきたく、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※本調査は、住民基本台帳から無作為に選ばれた方にお送りしております。

※回答にご協力頂いた方には、抽選で500名にQUOカードを進呈いたします。

令和4年10月
沖縄県保健医療部 健康長寿課

— アンケートの回答方法 —

① 郵送の場合



調査票は三つ折りにし、同封の返信封筒にてポスト投函ください。
(切手不要)

投函×切

11/13(日)



② インターネット/スマホ・タブレットの場合

下記 URL にアクセスしてください。

<https://rsch.jp/546a79799efb9b70/login.php>



WEB回答×切

11/13(日)



【個人情報の取り扱い】

本調査で使用する個人情報は、本調査委託会社である株式会社サーベイリサーチセンターにて「個人情報保護方針」に則り厳重に管理し、本調査の依頼、回収、謝礼等のみで使用させて頂き、収集した個人情報を第三者への提供及び他用途での使用はいたしません。

個人情報の取り扱いについてご理解頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

【アンケート調査内容に関する問い合わせ先】

<協力事業者>

株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務

沖縄県那覇市久茂地 3-21-1 國場ビル 9 階
フリーコール:0120-656-652(平日 10~17時)

問1. あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(○は1つ)

1. 言葉も意味も知っていた
2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
3. 言葉も意味も知らなかった



「食育」は、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることで、

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

問2. あなたは、「食育」に関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある
2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない
4. 関心がない
5. わからない

問3. 今後、あなたはどのようなことを食育として実践したいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい
2. 食事の正しい作法を習得したい
3. 地域性や季節感のある食事をとりたい
4. 地場産物を購入したい
5. 食べ残しや食品の廃棄を削減したい
6. 生産から消費までのプロセスを理解したい
7. 食品の安全性について理解したい
8. 規則正しい食生活を実践したい
9. 栄養バランスのとれた食生活を実践したい
10. 健康に留意した食生活を実践したい
11. 自分で調理する機会を増やしたい
12. 家族と調理する機会を増やしたい
13. 調理方法・保存方法を習得したい
14. おいしさや楽しさなど食の豊かさを大切にしたい
15. 食文化を伝承していきたい
16. その他()
17. わからない

問4. あなたは健康的な食生活についてどのように思いますか。(○は1つ)

1. 関心はない
2. 実行しようとは思いますが、できていない
3. 今すぐに(1ヶ月以内)でも実行したい
4. 実行して6ヶ月未満である
5. 実行して6ヶ月以上である

問5. あなたは、日頃から健全な食生活を実践することを心掛けていますか。(○は1つ)

1. 常に心掛けている
2. 心掛けている
3. あまり心掛けていない
4. まったく心掛けていない
5. わからない

問 6. 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4~5日⇒問7ハ |
| 3. 週に2~3日⇒問7ハ | 4. ほとんどない⇒問7ハ |
| 5. わからない | |

主食:ごはん、パン、麺類
主菜:肉、魚、卵、大豆製品等を使ったメインの料理
副菜:野菜、きのこ、いも、海藻等を使った小鉢・小皿の料理

問7. 問6.で「2.週に4~5日」「3.週に2~3日」「4.ほとんどない」のいずれかを選んだ方
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. 手間がかからないこと | 2. 時間があること |
| 3. 食費に余裕があること | 4. 自分で用意することができること |
| 5. 食欲があること | 6. 3つそろえて食べるメリットを知っていること |
| 7. 家に用意されていること | 8. 外食やコンビニなどで手軽に取ることができる環境があること |
| 9. その他() | 10. わからない |

問8. あなたはふだん朝食を食べますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週に4~5日食べる⇒問9ハ | 3. 週に2~3日食べる⇒問9ハ |
| 4. ほとんど食べない⇒問9ハ | 5. わからない | |

問9. 問8.で「2.週に4~5日食べる」「3.週に2~3日食べる」「4.ほとんど食べない」のいずれかを選んだ方
いつ頃から朝食を食べないことがあるようになりましたか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 小学生の頃から | 2. 中学生の頃から | 3. 高校生の頃から |
| 4. 高校を卒業した頃から | 5. 20~29歳から | 6. 30~39歳から |
| 7. 40~49歳から | 8. 50~59歳から | 9. 60~69歳から |
| 10. 70歳以上から | 11. わからない | |

問10. 地域や所属コミュニティ(職場や模合などを含む)での食事会などの機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。(○は1つ)

※新型コロナウイルス感染症の感染防止策が十分にとられている状況下です。

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------|
| 1. とてもそう思う⇒問11ハ | 2. そう思う⇒問11ハ | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. まったくそう思わない | 6. わからない |

問11. 問10.で「1.とてもそう思う」または「2.そう思う」のいずれかを選んだ方
あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティでの食事会などに参加しましたか。
(○は1つ)

- | | | |
|---------|------------|----------|
| 1. 参加した | 2. 参加していない | 3. わからない |
|---------|------------|----------|

問12. 日頃の利用頻度について、(1)コロナ前 2019年頃(2)コロナ後 2022年現在のそれぞれについて教えてください。(○はそれぞれに1つ)

(1)コロナ前 2019年頃	1. ほぼ毎日	2. 週に2~3日	3. 月に2~3回	4. ほとんど利用しない
① コンビニ、スーパー、惣菜店の弁当や惣菜	1	2	3	4
② ファストフード	1	2	3	4
③ 外食(ファストフード以外)	1	2	3	4
④ テイクアウトやデリバリー	1	2	3	4
⑤ 自宅で調理(インターネットやアプリの料理レシピ等の活用)	1	2	3	4
(2)コロナ後 2022年現在	1. ほぼ毎日	2. 週に2~3日	3. 月に2~3回	4. ほとんど利用しない
① コンビニ、スーパー、惣菜店の弁当や惣菜	1	2	3	4
② ファストフード	1	2	3	4
③ 外食(ファストフード以外)	1	2	3	4
④ テイクアウトやデリバリー	1	2	3	4
⑤ 自宅で調理(インターネットやアプリの料理レシピ等の活用)	1	2	3	4

問13. 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。(○は1つ)

1. いつも気をつけて実践している	2. 気をつけて実践している
3. あまり気をつけて実践していない	4. まったく気をつけて実践していない
5. わからない	

問14. あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。(○は1つ)

1. ゆっくりよく噛んで食べている	2. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
3. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない	4. ゆっくりよく噛んで食べていない
5. わからない	

問15. あなたは自分の健康状態について、どのように感じますか。(○は1つ)

1. とても良い	2. まあ良い	3. どちらともいえない
4. あまり良くない	5. 良くない	

問16. あなたは日々の生活にゆとりを感じますか。(○は1つ)

1. ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. どちらともいえない
4. あまりゆとりはない	5. まったくゆとりはない	

問17. 沖縄県では、次世代に向けた食育事業として、食生活学習教材「くわっち～さびら」を県内の全小学校へ配布し、授業や各家庭などで活用されていることを知っていますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 知らない | 2. 知らないが、関心はある |
| 3. 知っているが、関心はない | 4. 知っており、活用している⇒問18へ |

問18. 問17.で「4.知っており、活用している」を選んだ方
食生活学習教材「くわっち～さびら」の内容についてどう思いますか。(小学校での配布版のほか、電子化したオンライン版も含む)(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. かなり満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 |
| 4. やや不満 | 5. 少し不満 | |

食生活学習教材「くわっち～さびら」

次世代の健康づくり副読本が「デジタルブック」になりました！学校で配布されている教材内容はインターネット上で公開しています。内容もリニューアル！

楽しくてためになる新情報がいっぱいです。

【URLはこちら】

<https://kenko-okinawa21.jp/fukudokuhon/>

QRコードからもアクセス可⇒



問19. あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|-------------|----------|
| 1. 受け継いでいる⇒問20へ | 2. 受け継いでいない | 3. わからない |
|-----------------|-------------|----------|

問20. 問19.で「1.受け継いでいる」を選んだ方
あなたが郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を、地域や次世代(子どもやお孫さんを含む)に対し伝えていきますか。
(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 伝えている | 2. 伝えていない | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

問21. あなたは、郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～5日程度 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. 月に2～3日程度 | 5. 月に1日程度 | 6. 2～3ヶ月に1日程度 |
| 7. それ以下 | 8. まったく食べない | 9. わからない |



問 22. これまであなた、またはあなたの家族の中で農林漁業体験に参加したことのある人はいますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 参加した⇒問 23 へ | 2. 参加していない | 3. わからない |
|----------------|------------|----------|

問 23. 問 22.で「1.参加した」を選んだ方
農林漁業体験に参加して何か変化したことがありますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった |
| 2. 地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった |
| 3. 食べられなかった野菜などが食べられるようになった |
| 4. 地元の生産者等との交流が増えた |
| 5. その他() |
| 6. 変化はなかった |

問 24. あなたは、環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶことは大切だと思いますか。
(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. まったくそう思わない | |

問 25. あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|---------------|
| 1. いつも選んでいる | 2. 時々選んでいる | 3. あまり選んでいない | 4. まったく選んでいない |
|-------------|------------|--------------|---------------|

問 26. あなたは、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいますか。(○は1つ)
※「産地や生産者を意識」とは地元産品や、被災地の産品など自分が応援したい地域の産品や、
応援したい生産者を意識する場合のことをいいます。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. いつも選んでいる | 2. 時々選んでいる |
| 3. あまり選んでいない | 4. まったく選んでいない |

問 27. あなたは地元や沖縄県産の食材(農林水産物)を使用することは重要だと思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 重要だと思う | 2. どちらかといえば重要だと思う |
| 3. どちらかといえば重要と思わない | 4. 重要だと思わない |

問 28. あなたは、沖縄県内の農林水産物をどのくらいの頻度で食べていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3~5日程度 | 3. 週に1~2日程度 |
| 4. 月に2~3日程度 | 5. 月に1日程度 | 6. 2~3ヶ月に1日程度 |
| 7. それ以下 | 8. まったく食べない | |

問 29. 食品産業や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日頃から「もったいない」と感じるがありますか。(○は1つ)

1. いつも感じている	2. しばしば感じている	3. 時々実感している
4. あまり感じていない	5. まったく感じていない	6. わからない

問 30. あなたは、食べ残しを減らすなど、食品ロス削減のために意識して取り組んでいますか。(○は1つ)

1. 取り組んでいる	2. どちらかといえば取り組んでいる	3. どちらかといえば取り組んでいない
4. 取り組んでいない	5. わからない	

問 31. あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識があると思いますか。(○は1つ)

1. 十分にあると思う	2. ある程度あるとおもう	3. あまりないと思う
4. まったくないと思う	5. わからない	

問 32. あなたは、安全な食生活を送ることについて、どの程度判断していますか。(○は1つ)

1. いつも判断している	2. 判断している	3. あまり判断していない
4. まったく判断していない	5. わからない	

問 33. 沖縄県における食育推進に関して、(1)重要度(2)満足度をそれぞれ選んでください。(○はそれぞれに1つ)

	(1)重要度					(2)満足度				
	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	とても満足	やや満足	どちらともいえない	あまり満足ではない	満足ではない
① 家庭における教育推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 学校・保健所等における食育推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 地域における食生活の改善のための取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 企業・産業団体と連携した職場での取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 食品の安全・安心に関する情報提供や講習会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 34. 基本属性について

(1)性別	1. 男性	2. 女性	
(2)年齢	1. 20~29 歳	2. 30~39 歳	3. 40~49 歳
	4. 50~59 歳	5. 60~69 歳	6. 70 歳以上
(3)居住地	市町村名(市・町・村)		

問 35. あなたは現在、どなたと同居していますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 子ども	3. 子どもの配偶者	4. 孫	5. 父母
6. 祖父母	7. 兄弟姉妹	8. その他()	9. 同居者はいない⇒問37へ	

問 36. あなたは、同居者と一緒に食事をするのはどのくらいありますか。(○はそれぞれに1つ)

(1)朝食	1. ほとんど毎日	2. 週に4~5日	3. 週に2~3日
	4. 週に1日程度	5. ほとんどない	
(2)夕食	1. ほとんど毎日	2. 週に4~5日	3. 週に2~3日
	4. 週に1日程度	5. ほとんどない	

Q37. 沖縄県の食育の取組みに関するご意見やご要望がありましたら、自由にご記入してください。

--

食育に関する県民意識調査
—報告書—

令和5年3月
沖縄県保健医療部 健康長寿課